

令和2年度実施事業における
教育に関する事務の管理および
執行の状況の点検および評価等の報告書

令和3年11月

米 原 市 教 育 委 員 会

目 次

1	点検および評価制度の概要	
(1)	背景	1
(2)	目的	1
(3)	対象事業の考え方	1
(4)	評価の方法	1
(5)	学識経験者の知見の活用	2
2	教育委員会の活動状況	
(1)	教育委員	3
(2)	教育委員会の活動状況	3
(ア)	教育委員会議の開催および議決状況	3
(イ)	総合教育会議	4
(ウ)	その他の活動状況	4
(エ)	委員の就任状況	4
3	学識経験者による意見	
(1)	趣旨	5
(2)	学識経験者	5
(3)	米原市教育行政の点検・評価に関する懇話会	5
(4)	学識経験者による意見	7
4	事務の管理および執行状況の点検・評価	
(1)	施策の体系と事務事業一覧	12
(2)	点検および評価等の結果	14
	対象事業の評価一覧	16
	各事業の点検および評価等	
	教育総務課所管事業	18
	学校教育課所管事業	34
	学校給食課所管事業	49
	生涯学習課所管事業	52
	図書館所管事業	74
	スポーツ推進課所管事業	76
	子育て支援課所管事業	81
	保育幼稚園課所管事業	85
(3)	学校等の評価	
	認定こども園運営委員・幼稚園評議員による園評価	87
	小・中学校運営協議会委員・学校評議員による学校評価	92
	図書館内部評価	100
(4)	米原市教育振興基本計画（目標指標）	103

1 点検および評価制度の概要

(1) 背景

平成 18 年 12 月の教育基本法の改正および平成 19 年 3 月の中央教育審議会の答申を踏まえ、平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)が改正され、平成 20 年 4 月に施行されました。

この地教行法の改正目的である、「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、教育委員会が毎年、その権限に属する事務の管理および執行の状況について点検および評価(以下「点検および評価」という。)を行い、その結果を公表することが義務付けられました。

(2) 目的

教育委員会は、首長から独立した中立的・専門的な立場で、学校教育、生涯学習をはじめ文化、スポーツなど幅広い分野に関する施策を展開する合議制による行政機関として設置されています。点検および評価等は、教育委員会が教育行政の事務の執行状況を点検および評価し、市民への説明責任を果たすことにより、市民の意向を踏まえながら、効果的・計画的な教育行政の推進に資することを目的とするものです。

なお、点検および評価の方法、議会への報告の方法などは、教育委員会が実情を踏まえて決定することとされています。

(3) 対象事業の考え方

本年度の点検および評価の対象は、令和 2 年度の事業実績を対象とし、その対象範囲は、地教行法第 21 条に基づく「教育委員会の職務権限」として規定されている事務をはじめ、市長の補助執行として行っている事務を含む全ての事務が対象となります。

事業のまとめ方については、「米原市総合計画」の体系に基づく分類によりまとめることとしました。

(4) 評価の方法

評価の方法については、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 233 条第 5 項の規定に基づく、令和 2 年度における主要施策の成果説明書(以下「主要施策の成果説明書」という。)の主要な施策の実績の事業分類により、客観的な評価を行えるよう「第 2 期米原市教育振興基本計画」の目標指標など数値化された目標がある事業については数値化された達成状況を基に、教育委員会事務局で自己点検および評価を行いました。

(5) 学識経験者の知見の活用

「教育に関する事務の管理および執行の状況の点検および評価等の報告書」の素案をもとに、学識経験者と教育委員との懇話会を開催し、本市教育委員会の主な取組や課題について、様々な観点から議論しました。

『参考』

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」【抜粋】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動状況（期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（1）教育委員（委員定数：5人 任期：4年）

役 職	氏 名	任 期
教育長	山 本 太 一	H29. 8.14～R2. 8.13 R2. 8.14～R3. 3.31
教育長職務代理者	中 川 清 和	H29. 3.28～R3. 3.27 R3. 3.28～R7. 3.27
委 員	本 庄 通 子	H31. 3.25～R5. 3.24
委 員	膽 吹 照 子	H29. 10.1～R3. 9.30
委 員	法 戸 繁 利	H30. 3.25～R4. 3.24
委 員	井 口 英 知	R2. 3.25～R6. 3.24

（2）教育委員会の活動状況

（ア）教育委員会議の開催および議決状況

月 日 (定例・臨時の別)	議 決 事 項							協議 報告 事項 ほか
	条例案	規則	訓令 要綱	委員等 任命・ 委嘱等	予算案	後援等 名義使 用	その他	
令和2年4月21日(定例)		5	1		2		1	10
令和2年5月19日(定例)	2	1		2	1	1	2	2
令和2年6月23日(定例)				3	1	2		3
令和2年7月22日(定例)	1	2			1	5		4
令和2年8月19日(定例)					1	1	3	2
令和2年9月24日(定例)		1		1		1	2	4
令和2年10月20日(定例)						2		4
令和2年11月18日(定例)					1	1	4	4
令和2年12月17日(定例)						2	1	7
令和3年1月26日(定例)						2		1
令和3年2月17日(定例)	3				2	1	1	2
令和3年3月5日(臨時)							1	
令和3年3月18日(定例)		2	3	3		4		4
合 計 (定例12回・臨時1回)	6	11	4	9	9	22	15	47

(イ) 総合教育会議

平成 27 年 4 月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成 27 年度から市長と教育委員会との協議・調整の場である「総合教育会議」を市長が設置するとともに、教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策の大綱を策定することが義務付けられました。市長と市教育委員会が円滑に意思疎通を図り、市の教育の課題および目指す姿を共有しながら、連携して効果的な教育行政を推進するため総合教育会議を 2 回開催しました。

○令和 2 年 4 月 21 日（火）

- ・臨時休業時の学習指導と今後の学習指導について
- ・臨時休業時の臨時登校等について
- ・臨時休業時の家庭学習支援について

○令和 2 年 9 月 30 日（水）

- ・米原市の教育政策の基本的な考え方について
（教育大綱の位置付け、考え方）

(ウ) その他の活動状況

○学校園訪問（各小学校・中学校・幼稚園、保育所および認定こども園）

(エ) 委員の就任状況

- ・米原市青少年育成市民会議
- ・米原市民生委員推薦会委員
- ・米原市奨学金給付審査会委員

3 米原市教育行政の点検・評価に関する懇話会

(1) 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るために、米原市教育行政の点検・評価に関する懇話会を開催し、意見交換を行い、2人の学識経験者から意見をいただきました。

(2) 学識経験者

- 大橋松行(おおはし まつゆき)氏 滋賀県立大学名誉教授、市行財政改革市民会議座長
- 藤塚克則(ふじつか かつのり)氏 前少年センター所長、元市内小学校長、

(3) 懇話会

◆日 時 令和3年10月4日(月) 15時00分から17時15分まで

◆出席者：(学識経験者)大橋松行氏、藤塚克則氏

(教育委員)中川清和、本庄通子、膽吹照子、井口英知

(教育長)馬淵均

(各所属長)教育部長：上村、こども未来局長：口分田、学校教育課：山口、
学校給食課：藤田、生涯学習課：梶田、図書館：梶川、スポーツ
推進課：花部、子育て支援課：石河、保育幼稚園課：小寺
(事務局)教育総務課：西村、武藤

◆意見交換での主な意見

(全般)

- ・成果指標が目標値を下回りながらもコロナ禍の中で対応の変更や実施可能な方法を試みるなど様々な工夫をしながら、事業展開されたことについては、多いに評価したい。
- ・評価方法については、数値目標が示されている場合は、その達成度に応じて評価すべきである。そうすることで、課題や問題点が見えてくるのではないかな。
- ・評価ランクについて、B「初期の目的をおおむね達成できた」とC「ほぼ計画どおり事業を実施できた」のニュアンスの違いがわかりにくい。しっかりと区別できるようなものに変えた方がよい。また、客観性を担保するため、目標達成率を設けるとよい。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な行事が中止となった。今までの考え方をリセットして事業を考える機会である。教育委員会の担っている仕事は人と人とのつながりがベースとなっているため、この視点から事業の見直しや予算の配分等を考えなければならないと思う。
- ・施設の老朽化による修繕や改修があるが、施設の利用者数が指標となっており、利用者数の減少により評価が低い結果となっている。修繕や改修についての指標があれば評価

が上がると思う。

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により社会が大きく変化したけど、10 年前と比較しても変化している。時代の変革を教育にどう反映させていくかが大切だと思う。

(教育総務課)

- ・評価について給付型奨学金の募集結果で、初めて定員を上回る 51 人の申請があり、これは非常に大きな成果ではないかと思う。従って評価 C よりむしろ B の方が適切ではないかと思う。

(学校教育課)

- ・タブレットの端末については、端末を使用したいじめの問題が発生したとのニュースがあった。セキュリティの問題などへの対策を実施し、学校の方で徹底して指導していただく必要がある。
- ・タブレット端末の活用について、家庭環境等も踏まえてできる限り子どもたちに配慮ある指導や体制を考えていただきたい。

(生涯学習課)

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、今までのグループで話し合うハートフルフォーラムの開催が困難になった。ハートフルフォーラムの在り方自体を検討し、様々な方法を検討していく必要がある。

(子育て支援課)

- ・畑を耕すことなどを通して人と関わりを作る体験など、通常業務以外の事業についても記載いただきたい。
- ・中学校を卒業後の学習支援など、現在の業務だけではなく、新たな事業を展開できないかといった視野を持ちながら点検評価をしていくことが大事ではないか。

(4) 学識経験者の意見

滋賀県立大学名誉教授 大橋松行氏 の意見

米原市教育委員会の「令和3年度 教育に関する事務の管理および執行の状況の点検および評価等（令和2年度実績）」について、以下に報告します。

米原市が取り組まれている行財政改革は、持続可能な財政基盤の確立を推進するとともに、効率的で効果的な行政運営および地域経営を実行しようとするものです。教育の分野においても公民連携による事業推進、民間への業務委託などを積極的に推進し、時代の要請に応えていく必要があります。

主にこのような観点から、教育に関する事務の管理および執行の状況について、以下に具体的に意見を提示したいと思います。

まず、全般的には各主管課の事務評価において全32事務事業中A評価が2、B評価が10、C評価が20となっています。昨年度よりB評価が1つ増えています。新型コロナウイルス感染症の拡大で、中止せざるを得なかった事務事業がある中で、拡大防止策を講じ、事業内容に変更や工夫を加えて効果的に実施する機会を確保したケースも多々見受けられました。これらについては担当所管課の努力の跡が見られ高く評価できます。特に教育総務課、学校教育課、学校給食課においては顕著な成果を上げておられます。

評価基準に関しては、新たに「成果指標」が設定されました。目標の数値化がなされ、前年度と比べて評価の客観性が一定高まったように思います。ただ、評価の客観性をより高めるためには、目標を数量的に設置している場合は、「目標達成率」を設けた方がよいのではないかと思います。例えば、A：目標達成率100%超、B：目標達成率80%～100%、C：目標達成率60%～80%未満、D：目標達成率40%～60%未満、E：目標達成率40%未満というふうに。これまでの評価基準と目標達成率を組み合わせることで評価することによって、評価の客観性はより高く担保されると思います。ご検討いただければと思います。

次に、各主管課の事務事業についてみていきます。最初に教育総務課です。特に「小学校施設整備事業」および「中学校施設整備事業」では、国の経済対策による補正予算の交付金等を活用して財源を確保し、安心安全で快適な学習環境を確保するために、各種の整備工事や不具合個所の補修を前倒しで実施されたことは高く評価できます。今後とも長寿命化計画に基づく改修工事や、老朽化に伴う修繕などを計画的に進めていただきたいと思います。「事務局教育振興事業」の給付型奨学金制度については、初めて募集定員（40人）を超える51人から申請があったことは、この制度の認知度が高まってきたことの結果であると思います。あらゆる機会を活用して制度の周知を行っていただきたいと思います。「小学校教育振興事業」および「中学校教育振興事業」では、国の「GIGAスクール構想」に基づいて、生徒1人1台端末の整備をされましたが、セキュリティ対策については万全を期していただきたいと思います。

第2に学校教育課です。前年は全7事務事業でB評価でしたが、今年度は3事務事業でC評価となりました。C評価となった事務事業のうち「教育センター事業」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で予定されていた研修や講座を中止されましたが、動画配信や

少人数での実施といった工夫を施されたことは適切な対応だったと思います。「事務局教育振興事業」では、特に、いじめ問題調査委員会やいじめ問題専門委員会を多数回開催され、いじめの早期発見、未然防止や問題の解決につなげられたことは評価できます。今後とも、いじめにつながる些細な出来事も見逃さず、適切に対応されますことを期待します。「小学校教育振興事業」および「中学校教育振興事業」ですが、学校経営予算制度は各学校の実情に応じた環境改善等に生かされているように思いますので、継続して実施していただくことを望みます。

第3に学校給食課です。「学校給食事業」では、食物アレルギーのある園児・児童・生徒に対してこれまでから適切な対応がなされておりますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業実施にご尽力されたことは高く評価できます。また、コロナ禍でメニューの変更もあった中で、地場産物の活用率が33.8%であったことも担当課の努力の結果と評価したいと思います。引き続き地産地消メニューの開発・推進にご尽力いただくとともに、安心安全な給食を提供していただきたいと思います。

第4に生涯学習課です。昨年度も多くの事業が新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、講座の中止・延期や貸館利用の自粛等により利用者数が大幅に減少しました。しかしながら、事業によっては感染症対策を講じながら、事業内容を変更したり、オンラインによる講座を実施したり、様々な工夫を凝らして事業を実施されたことは評価できると思います。特に、「次代を担う青少年育成事業」ですが、成人式においては例年と会場を変更し、2部制による分散型開催をされたことによって、参加者が前年を上回ったことはその成果の一端を示すものです。

最後に図書館、スポーツ推進課、子育て支援課、保育幼稚園課です。「図書館管理運営事業」では、新型コロナウイルス感染症対策を様々講じながら、利用者の安全性を確保できる環境を整備し、結果、他市の図書館が臨時休館する中、最後まで開館に努められたことは高く評価できます。スポーツ推進課所管の各事業においてもコロナ感染症対策を講じながら適切な管理を行ったり、様々な工夫を凝らしながらスポーツをする機会を確保されたことは評価に値します。子育て支援課の2つの事業ですが、これもコロナ禍によって青少年育成大会やPTA教育講演会などが中止されましたが、従前から実施しておられる青少年の非行防止および犯罪の未然防止のための諸活動を、工夫をしながら実施されたことは評価してよいと思います。「幼稚園管理運営事業」ですが、幼稚園型一時預かり事業でこれまで実施している長期休業期間中に加え、平日午後2時以降の一時預かりを実施されたことによって保護者の多様な保育ニーズに対応できたことは評価できます。

以上、各主管課の主たる事務事業について意見を付してきました。令和2年度の米原市教育委員会は、コロナ禍にあって感染症対策を講じながら、創意工夫を施し多くの事業を実施されました。事業によっては多少の課題はあるものの、概ね十全に機能していると思います。今後とも、市長部局と教育委員会が緊密に意思疎通を図り、連携して効率的で効果的な教育行政を推進するとともに、市民の声を十分に聴き、それらを施策に反映させていただくことを期待します。

米原市教育委員会の令和２年度実施事業における教育行政の点検評価に関して以下に報告します。

まず全般を通して、感じたことを述べさせていただきます。教育の分野は多岐にわたっていますが、その中において綿密で計画的な教育行政が行われていることに敬意を表したいと思います。各課の内部評価では、A評価が２、B評価が１０、C評価が２０、D・E評価が０となっており、どの事業も期待通りの成果でほぼ計画通りの実績であったと自己評価されています。

ただ、当日の懇話会でも指摘があったように、評価基準の曖昧さが見られ、評価の客観性が図られるよう見直しが必要ではないかと思われます。目標達成率を示し、数値化（百分率）することで評価の客観性が担保できるように見直しが必要です。

評価する際には、評価指標をきちんと示し、目標と実績の見える化が図られていることは成果を判断する上で有効であると思います。多くの事業の成果指標として第２期米原市教育振興計画が挙げられていますが、教育行政の内容には、施設や道具などハード面と人の働きが関わっているソフト面があり、ある意味ハード面の評価については達成率が明確化していて評価もしやすいのですが、教育指導・支援などにかかわるソフト面においては評価することがなかなか困難な面があると思います。事業を実施したから、それでよしではなく、その事業の成果が問われるわけです。このような点から、完全な点検評価の方法を見出すことは難しいのですが、点検評価を実施することで課題や問題点を明らかにし、各課の事業の改善やさらには必要な新規事業が提起されることになれば、大変意義のある取組になるのではないかと考えます。評価のための評価ではなく、新たなステップにつながる点検評価になることを期待いたします。

また、令和２年度は新型コロナウイルス感染症の渦中で、いずれの課におかれましても事業の見直しや工夫・改善に苦労されたようです。評価の際にはコロナ禍を考慮して評価されている項目もあるようですが、数値目標を設定した以上、達成できなかった項目についてはそれなりの評価をされることが、課題や問題点がより明確となり新たな方向性が見いだせるのではないかと考えます。さらには、コロナ禍をマイナスに捉えるのではなく、むしろ好機と捉え、真に必要なものは何かを考え精選する機会とすることも大切ではないでしょうか。

以下、各主管課の事業について意見を述べさせていただきます。

<教育総務課>

「小学校施設整備事業」および「中学校施設整備事業」では、児童生徒に安全安心な学習環境確保のため、施設の修繕や改修に計画的に取り組まれ、国の経済対策による補正予算の交付金をうまく活用し、事業を前倒しで実施されたことは高く評価できます。

また、国が進める「GIGAスクール構想」に基づき児童１人１台の端末の整備がな

されたことも評価できます。今後、就学援助が必要な家庭における、WI-FI 環境の整備に係る援助などを視野に入れ支援していただくようお願いします。

<学校教育課>

コロナ禍の中、消毒用アルコールの配布、空気清浄機等の整備などの学習環境の確保には大変苦勞されたと思います。また、地域コーディネーターを中心としたボランティア活動を組織的なものとして、地域の方に消毒ボランティアとして活動していただくなど地域と学校が一体となって子どもへの支援が行われたことは大変評価できることだと思います。

また、米原市は文科省の指定を受け本市独自の教育課程による小学校1年生からの英語教育の充実に向けた取組も大きな成果であり、英語教育の重要性が高まってきている今日、保護者からも好感を持っていただけるのではないのでしょうか。

「子どもサポート事業」における不登校児童数が小中学校合わせて現状が49人であり、本市においても大きな課題となっています。現状値が小中学校ともに、目標値を大きく下回っています。不登校は根深い問題で早期に解決することは困難ですので、目標値として挙げることは難しいかもしれません。不登校児童生徒に対しての個別対応を具体的に充実させていくとともに、これ以上不登校児童生徒を出さない、楽しい学校づくりが展開されることを祈念いたします。

1人1台のタブレット導入とあわせて、先生方の研修の充実に努めていただきますようお願いいたします。

<学校給食課>

昨年度まで、学校給食運営委員を務めさせていただきましたので、地産地消メニューの積極的な導入や多岐にわたるアレルギー食への適切な対応等日常にご苦勞が多いことは承知しております。また、季節の行事食、セレクト給食、ニュージーランドン給食、郷土料理など随所に工夫が見られ子どもたちも給食を楽しみにしていることが想像できます。地場産物の活用率も高く大きく評価できます。今後とも安全安心な給食を提供していただきますようよろしくお願いいたします。

<生涯学習課>

新型コロナウイルス感染症対策による施設の臨時休業、活動の自粛により、様々な事業で参加者は目標値を下回っていますが、利用者の安全性や利便性を高め、市民のニーズを捉えた事業を展開しておられ、評価することができます。

成人式についても新成人の有志による実行委員会を立ち上げ、コロナ禍の開催に向けて例年とは違った形の2部制で行い、令和元年度を上回る参加率(81.5%)で実施できたことは大きな成果だと評価できます。

「人権教育推進事業」では、コロナ禍においてハートフルフォーラムの実施率が目標値を大きく下回ったことは仕方のないことですが、こうした状況下での新たな研修の在

り方を今後模索していただきたいと思います。施設の老朽化が課題としてとして挙げられていますので、随時計画的な対応をよろしくお願いいたします。

図書館については、ウェブサイトの機能の更新、インターネットサービスの周知により利用者の利便性を向上する取組がなされ、コロナ禍においてより安全に利用できる環境整備にも努められたことは、評価できると思います。特に、他市の図書館が臨時休館される中、最後まで開館に努められたことは大きく評価できると思います。

「文化財施設管理運営事業」では、講座の中止や延期が余儀なくされる中で、各館の特徴を生かした企画展を開催するなど工夫した取組がなされています。発掘調査も順調に進められ、成果報告、紹介などの情報発信にも努められました。

<スポーツ推進課>

多様化する市民のスポーツニーズを把握し、生涯スポーツや競技スポーツの推進を図ることは、活気ある米原の創造にも大きく関わっていると思います。各スポーツ団体の活動の工夫、感染予防に努められました。今後とも、親子や家族でスポーツに親しめる機会づくりに努めていただきたいと思います。

<子育て支援課>

コロナ禍において、一定の成果を上げておられるところは評価できると思います。少年センター事業において、無職少年対策としての具体的な取組についても明記されたほうが良いと思います。

今後とも実態把握に努めるとともに、各関係機関との連携を密にして無職少年たちの自立への支援が、更に充実しますようお願いいたします。

<保育幼稚園課>

市内唯一の幼稚園、毎年定員充足率の低さが指摘されています。その一つの対策として、令和2年度においては、平日午後2時以降の一時預かりを実施し、利用延べ人数が前年度241人から1,479人に飛躍的に増加したことは大きく評価できます。山東幼稚園は利用定員と比較して現在子どもの数が少ないことが課題です。しかし、大変自然に恵まれた、静寂で素晴らしい環境のなかで保育が展開されています。山東幼稚園の他園にはない少人数できめ細かい特色のある保育が展開されていることなどをアピールしていただきたいと思います。

以上、点検・評価懇話会に出席させていただき、色々思うところを述べさせていただきましたが、平成2年度の米原市の教育行政はおおむね一定の成果を上げられ、十分に機能していると思われます。

今後とも米原市の未来を見据え、市民のニーズや願いを生かした効率的で効果的な教育行政が計画的に展開されることを大いに期待しています。

4 事務の管理および執行状況の点検・評価

(1) 総合計画の政策施策の体系と事務事業一覧

総合計画上の事業の位置付けを示しています。

政策	基本施策	単位施策	事務事業(成果表に準じた分類)	主管課	備考
			2. ともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり		
			1. 心豊かで多様な未来を切り拓く子どもが育つまち		
			①就学前保育・教育、学校教育の充実		
			②就学前保育・教育、教育環境の充実		
			1. 事務局総務事業	教育総務課	
			2. 事務局教育振興事業	教育総務課	校外活動等バス管理
			3. 小学校管理運営事業	教育総務課	小学校施設管理・バス通学補助
			4. 小学校教育振興事業	教育総務課	要保護準要保護児童修学援助 (小)特別支援教育就学奨励
			5. 小学校施設整備事業	教育総務課	
			6. 中学校管理運営事業	教育総務課	
			7. 中学校教育振興事業	教育総務課	要保護準要保護児童修学援助 (中)特別支援教育就学奨励
			8. 中学校施設整備事業	教育総務課	
			16. 学校給食事業	学校給食課	学校給食施設維持管理・運営事業
			32. 幼稚園管理運営事業	保育幼稚園課	
			2. 地域全体で子どもを守り育てるまち		
			①地域の特性に応じた学校運営の推進		
			②家庭・地域の教育力の強化		
			9. 事務局教育振興事業	学校教育課	就学指導委員会、通級指導教室
			10. 教育センター事業	学校教育課	免許外指導等解消講師派遣・学力 状況調査
			11. 子どもサポート事業	学校教育課	子どもケアサポーター・教育相 談・心の教育相談
			12. 小学校管理運営事業	学校教育課	
			13. 小学校教育振興事業	学校教育課	
			14. 中学校管理運営事業	学校教育課	
			15. 中学校教育振興事業	学校教育課	
			17. 社会教育総務事業	生涯学習課	まなびサポーター、出前講座
			30. 次代を担う青少年育成事業	子育て支援課	
			31. 少年センター事業	子育て支援課	

政策	基本施策	単位施策	事務事業(成果表に準じた分類)	主管課	備考
	3. 人と地域を豊かにする学び合いと育ち合いのまち				
		①学びの場づくりの推進			
		②学びを生かした人材育成の推進			
		③図書館機能の整備・充実			
		19. 地域人材育成事業	生涯学習課	ルッチ大学運営事業	
		22. 伊吹薬草の里文化センター管理運営事業	生涯学習課		
		23. 次代を担う青少年育成事業	生涯学習課	成人式	
		24. 公民館管理運営事業	生涯学習課		
		27. 図書館管理運営事業	図書館		
	4. 誇りと愛着のある地域文化を守り生かし伝えるまち				
		①文化・芸術の振興			
		②歴史文化遺産の保存活用			
		20. 文化のまちづくり事業	生涯学習課	米原市芸術展覧会	
		21. 市民交流プラザ管理運営事業	生涯学習課		
		25. 文化財保護事業	生涯学習課		
		26. 文化財施設管理運営事業	生涯学習課		
		5. スポーツによって、人と人、地域と地域がつながるまち			
		①米原らしさを生かしたスポーツの推進			
		②子どものスポーツ活動の推進			
		③地域スポーツ活動の推進			
		④スポーツを身近に楽しめる環境づくり			
		28. 体育施設管理運営事業	スポーツ推進課		
		29. スポーツ推進事業	スポーツ推進課	ホストタウン事業、 ホッケー競技普及推進事業	
	6. 一人一人が尊重され平和を大切にするまち				
		①人権文化・人権教育の推進			
		18. 人権教育推進事業	生涯学習課	人権教育啓発推進事業	

(2) 点検および評価等の結果

主要施策の成果説明書の事業に基づき、教育委員会に関連する事務を 32 に分類し、事業ごとに点検および評価を行いました。

○事業評価資料の見方

事業名	令和 2 年度主要事業説明書に記載した事業区分としました。
主管課	令和 3 年 4 月 1 日現在の事業主管部課名で表記しました。
予算額	決算時の予算額（当初予算に補正予算と前年度からの繰越額を加減した総額）を表記しました。 下段には、前年度からの繰越額を再掲しました。
決算額	事業に要した経費の合計額を表記しました。 下段には、前年度からの繰越額を再掲しました。
執行率	決算額を予算額で除した数値を百分率で表記しました。 ①80%以下の事業については、その理由を表記しました。
増減率	当年度決算額を前年度決算額で除し、1（100%）を引いた数値を百分率で表記しました。 ②50%以上の増減がある事業については、その理由を表記しました。
財源内訳	決算額の財源内訳を表記しました。 その他については、内訳を表記しました。
事業コスト	決算額を年度末の人口（38,455 人）で除し、市民 1 人当たりのコストを掲載しました。その他参考となる測定指標がある場合は、その下欄に表記しました。
人件費	一般会計については、事業主管課における各事業の従事職員数を「〇. 〇〇人役」で表し、当該職員数に令和 2 年度決算における平均人件費を乗じることで算出しました（令和 2 年度平均人件費：7,052 千円）。
事業の実績	主な事業の実績を数値で示すなど具体的に記載しています。 事業の経費については、主な事業の経費を記載しているため、決算額と同額にならないことがあります。

成 果 指 標	評価を実施するに当たり、評価の基となる成果指標を記載しています。
評 価	事業の実施状況および成果指標に基づく評価を行い、対象事業の達成度を、次の５段階の評価ランクで評価しています。

【評価ランク】

A	期待以上に達成できた	<ul style="list-style-type: none"> ・当該年度の当該計画以上に成果が上げられた。 ・当初計画以上に早く事業が完了した。
B	期待をやや上回る程度に達成できた	<ul style="list-style-type: none"> ・所期の目的をおおむね達成でき、変更は生じたが、期待をやや上回る成果があった。
C	期待どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ計画どおり事業を実施でき、期待どおりの成果があった。
D	やや不十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・事業は実施できたが、成果についてはやや課題が残った。
E	不十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・当該年度の計画が実施できなかった。

【対象事業の評価一覧】

対象事業の主管課別評価を基に懇話会での意見を踏まえた評価結果は以下のとおりとなりました。

番 号	事 務 事 業 名	評 価	主 管 課
1	事務局総務事業	C	教育総務課
2	事務局教育振興事業	B	〃
3	小学校管理運営事業	C	〃
4	小学校教育振興事業	B	〃
5	小学校施設整備事業	A	〃
6	中学校管理運営事業	C	〃
7	中学校教育振興事業	B	〃
8	中学校施設整備事業	A	〃
9	事務局教育振興事業	B	学校教育課
10	教育センター事業	C	〃
11	子どもサポート事業	B	〃
12	小学校管理運営事業	C	〃
13	小学校教育振興事業	B	〃
14	中学校管理運営事業	C	〃
15	中学校教育振興事業	B	〃
16	学校給食事業	B	学校給食課
17	社会教育総務事業	C	生涯学習課
18	人権教育推進事業	C	〃
19	地域人材育成事業	C	〃
20	文化のまちづくり事業	C	〃
21	市民交流プラザ管理運営事業	C	〃
22	伊吹薬草の里文化センター管理運営事業	C	〃
23	次代を担う青少年育成事業	B	〃
24	公民館管理運営事業	C	〃
25	文化財保護事業	B	〃
26	文化財施設管理運営事業	C	〃
27	図書館管理運営事業	C	図 書 館
28	体育施設管理運営事業	C	スポーツ推進課

29	スポーツ推進事業	C	スポーツ推進課
30	次代を担う青少年育成事業	C	子育て支援課
31	少年センター事業	C	〃
32	幼稚園管理運営事業	C	保育幼稚園課

【課別対象事業評価集計表】

主管課名	A	B	C	D	E	対象事業数
教育総務課	2	3	3			8
学校教育課		4	3			7
学校給食課		1				1
生涯学習課		2	8			10
図書館			1			1
スポーツ推進課			2			2
子育て支援課			2			2
保育幼稚園課			1			1
計	2	10	20	0	0	32

事業番号		1					
款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	主管課	教育委員会 教育総務課
事業名	継続	事務局総務事業					
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	3,992,000		630,000		国 費	0	0
うち繰越	0		0		県 費	117,000	126,000
決算額	3,426,437		471,416		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	0	0
執行率(%)/増減率(%)	85.8	+626.8	74.8		一般財源	3,309,437	345,416
①執行率80%以下/②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
②第3期米原市教育振興基本計画策定に係る委託料の増のため。							
事業コスト		事業費		人件費(0.50人役)		計	
決算額		3,426 千円		3,526 千円		6,952 千円	
市民1人当たり(38,455人)		89 円		92 円		181 円	
事業の目的および内容							
第2期教育振興基本計画に基づき、更なる教育施策の推進に努めます。 第3期教育振興基本計画の策定のため、審議会への諮問および計画策定を行います。							
事業の実績							
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、令和元年度の教育委員会の権限に属する事務の管理および執行の状況について点検および評価等を行い、報告書を公表しました。							
【点検および評価の目的】 教育委員会は、首長から独立した中立的かつ専門的な立場で、学校教育、生涯学習、文化・スポーツなど幅広い分野に関する施策を展開する行政機関として設置しています。教育委員会が教育行政の事務の執行状況を点検および評価し、効果的かつ計画的な教育行政の推進に資することを目的としています。							
【点検および評価の方法】 令和元年度主要施策の成果説明書を基に、外部評価者2人と教育委員会で自己点検および評価を行いました。							
【教育事務事業の評価】 計 34事業							
評 価 ラ ン ク						対 象 事業数	
A	期待以上に達成できた	①当該年度の当該計画以上に成果が上げられた ②当初計画以上に早く事業が完了した				2	
B	期待をやや上回る程度に達成できた	①変更は生じたが、期待をやや上回る成果があった ②初期の目的をおおむね達成できた				11	
C	期待どおり	①前年度と同様の実績であった ②ほぼ計画どおりの事業を実施できた				21	
D	やや不十分である	①期待を下回る実績であった ②事業は実施できたが、成果についてはやや課題が残った				0	
E	不十分である	①当該年度の計画が実施できなかった				0	
第2期教育振興基本計画の計画期間が令和3年度末に終了するため、教育振興基本計画審議회를設置し、計画策定に係る諮問のほか、市民、児童生徒のアンケート調査等の実施、これまでの事業の成果検証や基礎資料の収集、課題の整理を行いました。							
第3期米原市教育振興基本計画策定業務 令和2年度 3,007,400円 (令和3年度 債務負担行為)							

事業番号		1	
款	10 教育費	項	1 教育総務費
目	2 事務局費		
事業名	継続	事務局総務事業	
主管課		教育委員会 教育総務課	
事業の成果			
教育事務の点検および評価に関し、外部評価者2人と教育委員会委員5人で、11月に意見交換を行い、今後のより良い教育行政に役立てることができました。			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値 (3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育振興基本計画	市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度	78%	令和2年度 — 令和3年度 85.5%
(参考)	教育事務事業の評価について、「期待をやや上回る程度に達成できた」以上の達成ができた事業の割合	30%	38%
評価	評価の理由		
C	令和2年度に実施しました教育委員会の権限に属する事務の管理および執行の状況について点検および評価から、事業の課題と今後の取組について記載することとし、成果と課題の両面から点検と評価をできるようにしたことから、評価を「C」としました。		
事業の課題と今後の取組			
教育事務の点検および評価に関し、昨年度の事業の成果に基づき評価を行いました。内部評価に客観的根拠が欠けていることから、今後は成果指標を設定し、目標と実績の見える化を図ります。			

事業番号		2					
款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育振興費	主管課	教育委員会 教育総務課
事業名	継続	事務局教育振興事業					
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	65,606,000		26,776,000		国 費	18,785,000	0
うち繰越	0		0		県 費	0	0
決算額	63,384,989		25,596,111		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	0	0
執行率(%) / 増減率(%)	96.6	+147.6	95.6		一般財源	44,599,989	25,596,111
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
② スクールバス運行経費の予算計上事業の変更 および就学・奨学支援臨時給付金の給付のため。							
事業コスト		事業費		人件費(1.05 人 役)		計	
決 算 額		63,385 千円		7,405 千円		70,790 千円	
市民1人当たり (38,455 人)		1,648 円		193 円		1,841 円	
児童生徒1人当たり (3,080 人)		20,579 円		2,404 円		22,983 円	
事業の目的および内容							
(1) 子どもたちが総合的な学習を通じて幅広い体験をできるよう、各学校の校外活動の充実や学校間の交流の促進に向けて、バスを運行します。 (2) 給付型奨学金制度により、修学上必要な学資金の給付を行うことで、将来を担う人材の育成および市への定住を促進します。 (3) 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が著しく減少した世帯への緊急支援として、就学・奨学支援臨時給付金を給付します。							
事業の実績		※小学校児童数 2,088人、中学校生徒数 992人 (令和2年5月1日現在…学校基本調査基準日)					
(1) バス事業者へ委託し学校支援バスを運行しました。また、伊吹地域スクールバス3台、山東小学校および河南小学校のスクールバス各1台を通学および校外活動等のために運行しました。 スクールバス運行管理経費(燃料費、運転手給料等) 14,050,149 円 校外活動バス借上料(延べ36台) 2,564,870 円							
(2) 将来を担う人材の育成および市への定住促進を図るため、令和2年度分の奨学金の給付を行いました。また、令和3年度分の奨学生を募集し、審査を行いました。 《平成30年度分》 申請者:37人 奨学生決定者:29人 7,920,000 円 《令和元年度分》 申請者:32人 奨学生決定者:26人 8,640,000 円 《令和2年度分》 申請者:37人 奨学生決定者:32人 11,370,000 円 《令和3年度分》 申請者:51人 奨学生給付審査会決定者:40人							
(3) 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が著しく減少した世帯への緊急支援として、就学・奨学支援臨時給付金を給付し、就学および奨学の保障を行いました。 給付人数:99人 18,785,000 円							



事業番号		2	
款	10 教育費	項	1 教育総務費
目	3 教育振興費		
事業名		事務局教育振興事業	
継続			
主管課		教育委員会 教育総務課	
事業の成果			
<p>(1) 市内外への校外活動の実施により、日常の学校生活では得ることのできない体験学習および環境学習、創作活動などの様々な体験を通じて、子どもたちの社会性を養う一助となりました。</p> <p>(2) 給付型奨学金の給付を行うことにより、市への愛着と誇りを持った意欲のある若者に対し、進学へのバックアップが図れました。</p> <p>(3) 就学・奨学支援臨時給付金の給付により、小学生から大学生までの学びの保障が図れました。</p>			
指標を示している資料名		成果指標名	目標値 (3年度)
第2期米原市教育振興基本計画		市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度	78%
			令和2年度 ー 令和3年度 85.5%
評価		評価の理由	
B		<p>就学・奨学支援臨時給付金の給付を行うことにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受け所得が減少した世帯を支援し、学びの保障を図りました。また、給付型奨学金の募集を行った結果、初めて定員を超える51人の申請があったことから、評価を「B」としました。</p>	
事業の課題と今後の取組			
<p>児童数の減少や保護者の就労により、少人数で下校する地域が増えています。また、米原市内小中学校における通学に関する基本方針を定めてから5年が経過していることから、基本方針の見直しを行っていきます。</p>			

事業番号		3					
款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	主管課	教育委員会 教育総務課
事業名	継続	小学校管理運営事業					
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	41,805,000		51,176,000		国 費	0	0
うち繰越	0		0		県 費	0	0
決算額	37,613,970		48,607,652		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	3,700,000	0
執行率(%) / 増減率(%)	90.0	▲ 22.6	95.0		一般財源	33,913,970	48,607,652
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
				教育施設整備基金繰入金 3,700,000円			
事業コスト		事業費		人件費(0.70 人 役)		計	
決 算 額		37,613 千円		4,936 千円		42,549 千円	
市民1人当たり(38,455 人)		978 円		128 円		1,106 円	
児童1人当たり(2,088 人)		18,013 円		2,364 円		20,377 円	
事業の目的および内容							
(1) 小学校施設の適切な維持管理を行い、安心安全な学習環境を確保します。							
(2) 徒歩通学が困難な児童のため、路線バスなどによる通学に対して支援を行い、通学環境の充実を図ります。							
事業の実績		※小学校児童数 2,088人(令和2年5月1日現在…学校基本調査基準日)					
(1) 小学校施設や設備を適切に維持管理するため、各種設備等の管理業務を委託しました。 警備保障業務、設備保守点検業務等 18,569,028 円							
(2) 事務機器等のリース契約を継続して行い、情報学習や学校事務に活用しました。 事務機器リース料等 2,056,467 円							
(3) 施設の運営等に必要な備品を購入しました。 事務用備品、施設管理用備品、児童用机・椅子ほか 10,149,018 円							
(4) 安全な通学環境を確保するため、バス通学者への助成を行いました。(69人) 3,758,030 円							
バス等利用延べ児童数 (単位:人)							
学校名	湖国バス	まいちゃん号	合計				
柏原小学校	33	1	34				
山東小学校	0	5	5				
米原小学校	0	12	12				
河南小学校	0	6	6				
息長小学校	6	6	12				
合計	39	30	69				
※息長小学校は、登校に湖国バス、下校にまいちゃん号を利用しています。							

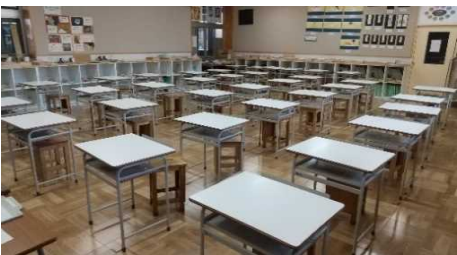
事業番号		3	
款	10 教育費	項	2 小学校費
目	1 学校管理費		
事業名	継続	小学校管理運営事業	
事業の成果		主管課 教育委員会 教育総務課	
(1) 各種管理業務委託の実施や事務機器等のリース、施設に必要な備品の購入により、適切な学習環境の確保を図ることができました。 (2) 小学校児童の遠距離通学に対して、路線バス等の定期券購入による支援を行い、安全な通学環境の確保につなげることができました。			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値 (3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育振興基本計画	市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度	78%	令和2年度 — 令和3年度 85.5%
評価	評価の理由		
C	市民意識調査は隔年実施であり、令和2年度は実施されなかったことから、令和3年度の結果を使用しました。また、施設の維持管理を例年と同様に実施したことから、評価を「C」としました。		
事業の課題と今後の取組			
安全安心な学習環境を確保するため、各種設備の管理を行うとともに、施設の運営等に必要な備品を計画的に更新、配備していく必要があります。			

事業番号		4	
款	10 教育費	項	2 小学校費
目	2 教育振興費		
事業名	継続	小学校教育振興事業	
主管課		教育委員会 教育総務課	
事業費(円)	2 年度	元年度	財源内訳(円)
予算額	280,769,000	131,118,000	国 費
うち繰越	115,000,000	0	県 費
決算額	239,457,884	14,722,604	市 債
うち繰越	75,147,400	0	そ の 他
執行率(%) / 増減率(%)	85.3 / +1,526.5	11.2	一般財源
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)		その他の内訳(2年度)	
② GIGAスクール構想に基づく学校ICT環境整備のため。		繰越事業費等充当財源繰越金 14,733,000円	
事業コスト	事業費	人件費(0.55人役)	計
決 算 額	239,457 千円	3,879 千円	243,336 千円
市民1人当たり(38,455人)	6,226 円	101 円	6,327 円
児童1人当たり(2,088人)	114,682 円	1,858 円	116,540 円
事業の目的および内容			
(1) 経済的、身体的な理由により、就学が困難な児童への援助を行い、安心して学習できる環境に向けて支援します。 (2) 文部科学省が示す「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」に基づき、市内小中学校のICT環境整備を計画的に実施しています。特に、国が進める「GIGAスクール構想」においては、児童1人1台端末の整備と高速大容量の通信ネットワークを整備します。			
事業の実績			
(1) 経済的、身体的な理由により、就学が困難な児童が安心して学習できる環境を確保するため、学用品費や給食費等の一部を援助しました。併せて、新入学児童学用品費を入学準備金として支給しました。			
要保護準要保護児童就学援助費		12,945,053 円	
(うち 令和3年度入学準備金)		1,021,200 円)	
特別支援教育就学奨励費		1,816,038 円	
支給対象者の5年間の推移		(単位：人)	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
令和元年度	令和2年度		
要保護児童就学援助	2	0	2
準要保護児童就学援助	166	161 (24)	196 (23)
特別支援教育就学奨励	41	44	48
			47
			59
※平成29年度から令和2年度までの準要保護児童就学援助の()の数値は、入学準備金支給対象者数			
(2) 国が進める「GIGAスクール構想」に基づき、国の補助金を受けて校内ネットワーク環境の整備および一人一台端末の購入を行いました。			
学習用タブレット端末購入	2,200 台	125,544,093 円	
充電保管庫購入	92 台	24,005,300 円	
ネットワーク整備		75,147,400 円	

事業番号		4	
款	10 教育費	項	2 小学校費
目	2 教育振興費		
事業名	継続	小学校教育振興事業	
事業の成果		<p>(1) 経済的、身体的な理由により就学が困難な児童を援助することで、学習環境の確保と義務教育の円滑な実施に寄与することができました。特に、入学準備金については、時機に合わせて支給することで、より有益な援助につながりました。</p> <p>(2) 市内全小学校のネットワーク環境の整備および端末の購入を行うことで、ICT学習環境の向上につながりました。</p>	
指標を示している資料名	成果指標名	目標値 (3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育振興基本計画	市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度	78%	令和2年度 ー 令和3年度 85.5%
評価	評価の理由		
B	<p>市民意識調査は隔年実施であり、令和2年度は実施されなかったことから、令和3年度の結果を使用しました。また、一人1台タブレット端末の配備を行ったことや、ネットワークの整備を実施したことから、評価を「B」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>就学援助については、経済的な支援を必要とする世帯に支援が届くよう、入学前、児童扶養手当受給決定時など様々な機会を捉えて、周知を行う必要があります。</p>			

事業番号		5					
款	10 教育費	項	2 小学校費	目	3 施設整備費	主管課	教育委員会 教育総務課
事業名	継続	小学校施設整備事業					
事業費(円)	2年度		元年度		財源内訳(円)	2年度	元年度
予算額	244,000,000		121,620,000		国 費	17,569,000	5,842,000
うち繰越	70,000,000		18,800,000		県 費	0	0
決算額	96,794,371		48,823,751		市 債	46,100,000	10,200,000
うち繰越	69,874,200		16,072,560		そ の 他	18,705,200	30,560
執行率(%) / 増減率(%)	39.7	+98.3	40.1		一般財源	14,420,171	32,751,191
①執行率80%以下/②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
① 国の補正予算に伴う事業実施により、米原小学校特別支援教室他改修工事外2件を令和3年度へ繰り越したため。 ＜令和3年度への繰越額＞ 144,500,000円				繰越事業費等充当財源繰越金 13,205,200円 教育施設整備基金繰入金 5,500,000円			
② 施設改修工事費が増加したため。							
事業コスト		事業費		人件費(0.60 人 役)		計	
決 算 額		96,794 千円		4,231 千円		101,025 千円	
市民1人当たり(38,455 人)		2,517 円		110 円		2,627 円	
児童1人当たり(2,088 人)		46,357 円		2,026 円		48,383 円	
事業の目的および内容							
安心安全で快適な学習環境を確保するため、施設の修繕や改修など緊急性の高いものから順次計画的に整備します。また、予防保全型の維持管理へ転換し、計画的に施設の点検等を行い、不具合を未然に防止します。							
事業の実績							
(1) 米原小学校放送卓改修工事 快適な学習環境を確保するため、放送卓を改修しました。 工事費： 1,672,000 円							
(2) 米原小学校体育館照明LED改修工事 快適な学習環境を確保するため、体育館照明をLEDに改修しました。 工事費： 6,801,300 円							
(3) 春照小学校グラウンド改修工事（繰越） 快適な学習環境を確保するため、グラウンドの拡張および改修をしました。 工事費： 69,874,200 円							
							
【春照小学校グラウンド改修工事】				【米原小学校体育館照明改修工事】			

事業番号		5	
款	10 教育費	項	2 小学校費
		目	3 施設整備費
事業名		継続 小学校施設整備事業	
		主管課	教育委員会 教育総務課
事業の成果			
各種の整備工事や不具合箇所の補修により、安心安全で快適な学習環境の確保を図ることができました。			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値 (3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育振興基本計画	市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度	78%	令和2年度 ー 令和3年度 85.5%
評価	評価の理由		
A	市民意識調査は隔年実施であり、令和2年度は実施されなかったことから、令和3年度の結果を使用しました。また、国の経済対策による補正予算の交付金等を活用し財源の確保に取り組み、事業を前倒しにできたことから、評価を「A」としました。		
事業の課題と今後の取組			
米原市学校施設長寿命化計画に基づく改修工事や、老朽化に伴う修繕などを計画的に進めるとともに、交付金等の財源確保に努める必要があります。 今後は、長寿命化の対象とならない学校施設の予防保全も実施していく必要があります。			



事業番号		6	
款	10 教育費	項	3 中学校費
目	1 学校管理費		
事業名	継続	中学校管理運営事業	
		主管課	
		教育委員会 教育総務課	
事業費(円)	2 年度	元年度	財源内訳(円)
予算額	28,266,000	28,618,000	国 費
うち繰越	0	0	県 費
決算額	26,433,948	27,170,766	市 債
うち繰越	0	0	そ の 他
執行率(%) / 増減率(%)	93.5 ▲ 2.7	94.9	一般財源
		17,533,948 27,170,766	
①執行率80%以下/②増減率±50%以上の理由(2年度)		その他の内訳(2年度)	
		教育施設整備基金繰入金 8,900,000円	
事業コスト		事業費	人件費(0.60 人 役)
決 算 額		27,171 千円	4,231 千円
市民 1 人当たり (38,455 人)		701 円	110 円
生徒 1 人当たり (992 人)		26,849 円	4,265 円
計		31,402 千円	
事業の目的および内容			
中学校施設の適切な維持管理を行い、安心安全な学習環境を確保します。			
事業の実績 ※中学校生徒数 992人 (令和2年5月1日現在…学校基本調査基準日)			
(1) 中学校施設や設備を適切に維持管理するため、各種設備等の管理業務を委託しました。			
警備保障業務、設備保守点検業務等			12,936,826 円
(2) 事務機器等のリース契約を継続して行い、情報学習や学校事務に活用しました。			
事務機器リース料等			1,297,205 円
(3) 施設の運営等に必要な備品を購入しました。			
事務用備品、施設管理用備品、生徒用机・椅子ほか			10,607,374 円
			
【双葉中学校美術室 (美術机更新)】			

【双葉中学校美術室（美術机更新）】




事業番号		6	
款	10 教育費	項	3 中学校費
目	1 学校管理費		
事業名	継続	中学校管理運営事業	
事業の成果		各種管理業務委託の実施や事務機器等のリース、施設に必要な備品の購入により、適切な学習環境の確保を図ることができました。	
指標を示している資料名	成果指標名	目標値 (3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育振興基本計画	市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度	78%	令和2年度 — 令和3年度 85.5%
評価	評価の理由		
C	市民意識調査は隔年実施であり、令和2年度は実施されなかったことから、令和3年度の結果を使用しました。また、施設の維持管理を例年と同様に実施したことから、評価を「C」としました。		
事業の課題と今後の取組			
安全安心な学習環境を確保するため、各種設備の管理を行うとともに、施設の運営等に必要な備品を計画的に更新、配備していく必要があります。			

事業番号		7					
款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費	主管課	教育委員会 教育総務課
事業名	継続	中学校教育振興事業					
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	160,039,000		79,327,000		国 費	86,865,000	522,000
うち繰越	60,000,000		0		県 費	0	0
決算額	141,997,712		17,784,034		市 債	15,100,000	0
うち繰越	45,739,100		0		そ の 他	24,130,100	0
執行率(%) / 増減率(%)	88.7	+698.5	22.4		一般財源	15,902,612	17,262,034
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
② GIGAスクール構想に基づく学校ICT環境整備のため。				繰越事業費等充当財源繰越金 15,530,100円 教育施設整備基金繰入金 8,600,000円			
事業コスト			事業費		人件費(0.50 人 役)		計
決 算 額			141,997 千円		3,526 千円		145,523 千円
市民1人当たり(38,455 人)			3,692 円		92 円		3,784 円
生徒1人当たり(992 人)			143,142 円		3,554 円		146,696 円
事業の目的および内容							
(1) 中学校パソコン教室の機器を更新し、ICTを活用した教育の充実を図ります。 (2) 経済的、身体的な理由により就学が困難な生徒への援助を行い、安心して学習できる環境に向けて支援します。 (3) 文部科学省が示す「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」に基づき、市内小中学校のICT環境整備を計画的に実施しています。特に、国が進める「GIGAスクール構想」においては、生徒1人1台端末の整備と高速大容量の通信ネットワークを整備します。							
事業の実績							
(1) 情報学習の強化を図るため、パソコン機器の更新を行いました。 パソコン教室パソコン更新 8,668,000 円 (2) 経済的、身体的な理由により、就学が困難な生徒が安心して学習できる環境を確保するため、学用品費や給食費等の一部を援助しました。併せて、新入学生徒学用品費を入学準備金として支給しました。 要保護準要保護生徒就学援助費 9,837,021 円 (うち 令和3年度入学準備金 2,100,000 円) 特別支援教育就学奨励費 814,451 円 支給対象者の5年間の推移 (単位：人)							
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
要保護生徒就学援助		2	0	0	0	0	
準要保護生徒就学援助		105	100 (27)	105 (31)	106 (30)	106 (35)	
特別支援教育就学奨励		28	22	23	21	19	
※平成29年度から令和2年度までの準要保護生徒就学援助の()の数値は、入学準備金支給対象者数							
(3) 国が進める「GIGAスクール構想」に基づき、国の補助金を受けて校内ネットワーク環境の整備および一人一台端末の購入を行いました。 学習用タブレット端末購入 1,055 台 60,199,498 円 充電保管庫購入 41 台 11,084,700 円 ネットワーク整備 45,739,100 円							


事業番号		7	
款	10 教育費	項	3 中学校費
目	2 教育振興費		
事業名	継続	中学校教育振興事業	
事業の成果		主管課 教育委員会 教育総務課	
(1) パソコン教室の機器の更新や、端末の購入、市内全中学校のネットワーク環境の整備により、適切な学習環境の確保につなげることができ、情報学習の強化を図ることができました。 (2) 経済的、身体的な理由により就学が困難な生徒を援助することで、学習環境の確保と義務教育の円滑な実施に寄与することができました。特に、入学準備金については、時機に合わせて支給することで、より有益な援助につながりました。			
指標を示している 指標名	成果指標名	目標値 (3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育 振興基本計画	市民意識調査「教育内容、施設の充 実」の満足度	78%	令和2年度 — 令和3年度 85.5%
評価	評価の理由		
B	市民意識調査は隔年実施であり、令和2年度は実施されなかったことから、令和3年度の結果を使用しました。また、一人1台タブレット端末の配備を行ったことや、ネットワークの整備を実施したことから、評価を「B」としました。		
事業の課題と今後の取組			
就学援助については、経済的な支援を必要とする世帯に支援が届くよう、入学前、児童扶養手当受給決定時など様々な機会を捉えて、周知を行う必要があります。			

事業番号		8					
款	10 教育費	項	3 中学校費	目	3 施設整備費	主管課	教育委員会 教育総務課
事業名	継続	中学校施設整備事業					
事業費(円)	2 年度	元年度	財源内訳(円)	2 年度	元年度		
予算額	558,900,000	666,800,000	国 費	66,578,000	80,250,000		
うち繰越	275,200,000	349,300,000	県 費	1,937,000	0		
決算額	298,650,899	331,828,862	市 債	191,900,000	225,900,000		
うち繰越	269,397,700	290,916,940	そ の 他	31,219,700	166,940		
執行率(%) / 増減率(%)	53.4	▲ 10.0	49.8	一般財源	7,016,199	25,511,922	
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
① 国の補正予算に伴う事業実施により、米原中学校校舎照明改修工事、双葉中学校長寿命化改良工事を令和3年度へ繰り越したため。 ＜令和3年度への繰越額＞ 252,900,000円				繰越事業費等充当財源繰越金 18,419,700円 教育施設整備基金繰入金 12,800,000円			
事業コスト		事業費	人件費(0.65 人 役)	計			
決 算 額		298,650 千円	4,584 千円	303,234 千円			
市民1人当たり(38,455 人)		7,766 円	119 円	7,885 円			
生徒1人当たり(992 人)		301,058 円	4,621 円	305,679 円			
事業の目的および内容							
安心安全で快適な学習環境を確保するため、施設の修繕や改修など緊急性の高いものから順次計画的に整備します。また、予防保全型の維持管理へ転換し、計画的に施設の点検等を行い、不具合を未然に防止します。							
事業の実績							
(1) 伊吹山中学校体育館照明LED改修工事 快適な学習環境を確保するため、体育館照明をLEDに改修しました。 工事費： 7,216,000 円							
(2) 大東中学校体育館照明LED改修工事(繰越) 快適な学習環境を確保するため、体育館照明をLEDに改修しました。 工事費： 17,655,000 円							
(3) 双葉中学校長寿命化改良工事(Ⅱ期)(繰越) 安心安全で快適な学習環境を確保するため、学校施設長寿命化計画に基づき、双葉中学校長寿命化改良工事を行いました。 監理委託費：8,580,000円、工事費：243,065,900円 251,645,900 円							
							
【双葉中学校長寿命化改良工事(Ⅱ期)】				【大東中学校体育館照明LED改修工事】			

事業番号		8	
款	10 教育費	項	3 中学校費
目	3 施設整備費		
事業名	継続	中学校施設整備事業	
事業の成果		各種の整備工事や不具合箇所の補修により、安心安全で快適な学習環境の確保を図ることができました。	
指標を示している資料名	成果指標名	目標値 (3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育振興基本計画	市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度	78%	令和2年度 — 令和3年度 85.5%
評価	評価の理由		
A	市民意識調査は隔年実施であり、令和2年度は実施されなかったことから、令和3年度の結果を使用しました。また、国の経済対策による補正予算の交付金等を活用し財源の確保に取り組み、事業を前倒しにできたことから、評価を「A」としました。		
事業の課題と今後の取組			
米原市学校施設長寿命化計画に基づく改修工事や、老朽化に伴う修繕などを計画的に進めるとともに、交付金等の財源確保に努める必要があります。 今後は、長寿命化の対象とならない学校施設の予防保全も実施していく必要があります。			

事業番号		9					
款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育振興費	主管課	教育委員会 学校教育課
事業名	継続	事務局教育振興事業					
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	125,064,000		61,994,000		国 費	34,617,000	75,000
うち繰越	0		0		県 費	5,957,600	3,367,000
決算額	102,740,289		57,366,970		市 債		0
うち繰越	0		0		そ の 他	5,304,000	5,666,000
執行率(%) / 増減率(%)	82.2	+79.1	92.5		一般財源	56,861,689	48,258,970
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
②新型コロナウイルス感染症対策に係る物品購入、消毒ボランティア経費等の増加による。				地域の絆でまちづくり基金繰入金 5,304,000円			
事業コスト			事業費		人件費(2.80 人 役)		計
決 算 額			102,740 千円		19,746 千円		122,486 千円
市民1人当たり(38,455 人)			2,672 円		513 円		3,185 円
児童生徒1人当たり(3,080 人)			33,357 円		6,411 円		39,768 円
事業の目的および内容							
<p>(1) コミュニティ・スクール推進事業、地域学校協働活動推進事業に取り組み、地域住民の参画により、地域とともにある学校づくりを進めます。</p> <p>(2) いじめの防止、早期解決のための体制の強化に向けて、いじめ等対応支援員を配置するとともに、いじめ問題専門委員会、いじめ問題調査委員会の設置を行います。</p> <p>(3) 特別支援教育支援委員会を設け、障がいのある幼児、児童、生徒の適切な就学先等の協議を行います。</p> <p>(4) 通常学級在籍の障がいのある児童生徒に対して、週1時間程度指導を行う通級指導教室を開設し、児童生徒の個々の状況に応じた指導を行います。</p> <p>(5) 特別支援教育総合推進事業を実施し、相談員が市内保育所、幼稚園、認定こども園、小中学校を巡回し、障がいのある子どもたちへの支援の方法等の助言や相談を行います。</p> <p>(6) 免許外指導等を解消するため、中学校へ専門教科を指導する非常勤講師を派遣します。</p> <p>(7) 学校図書館に問題解決的な学習を支援する図書館司書を配置し、学習センターとしての機能を強化します。</p> <p>(8) スクール・サポート・スタッフを配置し、教職員が健康で生き生きと仕事に取り組むための働き方改革を推進します。</p> <p>(9) 基礎学力の確かな定着と生活困窮世帯の子どもたちの学習規律や学習習慣の定着を図るため、小学3年生を対象とした学びっこ事業(放課後補充教室)を実施します。</p> <p>(10) 外国語指導助手の活用により、本市独自の教育課程による小学校1年生からの英語教育の充実に努めます。</p>							
事業の実績							
<p>(1) コミュニティ・スクール推進事業、地域学校協働活動推進事業</p> <p>保護者や地域の人々の持つ豊かで専門的な力を取り入れ、地域に根ざしたコミュニティ・スクール推進事業を全小中学校で進めました。また、全ての中学校区で地域学校協働本部を運営し、地域コーディネーターを中心に学校のニーズに応じた支援を行いました。</p> <p>コミュニティ・スクール推進事業 8,811,376円</p> <p>地域学校協働活動推進事業 2,476,462円</p>							
							
【はびろウォーク(柏原小学校)】		【地域学習(河南中学校)】		【ふるさと自然学習(双葉中学校)】			

事業番号		9					
款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育振興費	主管課	教育委員会
事業名	継続	事務局教育振興事業					学校教育課
事業の実績							
(2) いじめ対策関係事業 いじめ等対応支援員の配置やいじめ問題専門委員会等を開催し、いじめの早期発見、早期対応策や未然防止策などを検討し、各校に発信しました。また、いじめ問題調査委員会を開催し、調査事案について調査審議を行いました。 ※いじめ事案報告件数130件（令和元年度：141件） いじめ等対応支援員報酬等（1人） 789,540円 いじめ問題調査委員会（16回） 1,655,100円 いじめ問題専門委員会（9回）							
(3) 特別支援教育支援委員会（11回） 医師や専門的識見者等20人が委員となる特別支援教育支援委員会を開催し、障がいのある66人(令和元年度：76人)の幼児や児童生徒について調査、審議を行い、適切な就学先等を答申しました。 委員報酬 85,000円							
(4) 通級指導教室（かしわばら教室、まいばら教室、おおはら教室、さかた教室、だいとう教室） 110人（令和元年度：98人）の対象児童生徒に対し、発音や発達障がいに関わる支援等、児童生徒の個々の状況に応じた指導を行いました。また、発達検査や教育相談を実施しました。 通級指導教室（事務費） 1,112,213円							
(5) 特別支援教育総合推進事業 市内保育所、幼稚園、認定こども園、小中学校の支援が必要な子どもたちへの支援方法などについて、相談員が延べ101回（令和元年度：56回）の巡回による助言・相談等を行いました。 就学相談等 58,560円							
(6) 小中学校非常勤講師派遣 教科を指導する非常勤講師を派遣し、学習指導の充実に努めました。 小中学校非常勤講師報酬等（23人） 16,661,222円							
(7) 学校図書館司書配置事業 児童生徒が図書に親しむことや、読解力の向上を目指し、学校図書館司書を全校に配置しました。 臨時学校司書報酬（14人） 4,239,950円							
(8) スクール・サポート・スタッフの配置 教職員の働き方改革を推進し、学校教育活動の充実を図るため、スクール・サポート・スタッフを全校に配置しました。 スクール・サポート・スタッフ報酬（22人） 5,538,500円							
(9) 学びっこ事業 基礎学力の確かな定着と生活困窮世帯の子どもの学習規律や学習習慣の定着を図るため、小学3年生を対象に、全ての小学校で週1回、年間22回を基準に実施しました。 学びっこ指導員報酬等（11人） 2,580,059円							
(10) 外国語指導助手配置事業 中学校に外国語指導助手（6人）を配置し、英語学習の推進を図りました。また、ALTによる英語レッスン動画の作成と配信を行いました。 外国語指導助手配置事業 26,247,559円							
(11) 新型コロナウイルス感染症対策 新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品を各学校の必要に応じ購入しました。また、緊急事態宣言に伴う夏休みの授業実施に係る熱中症予防物品購入や、授業動画の作成と配信を行いました。 消耗品費 16,428,084円 備品購入費 13,602,703円							



【英語レッスン動画】



【英語レッスン動画】

事業番号		9	
款	10 教育費	項	1 教育総務費
目	3 教育振興費		
事業名		継続	事務局教育振興事業
		主管課	教育委員会 学校教育課
事業の成果			
<p>(1) コミュニティ・スクール推進事業の取組により、保護者や地域住民と、子どもたちに付けたい力を共有、熟議し、地域で子どもを育てる礎となりました。また、学校支援地域本部事業では、地域コーディネーターを各学校に配置し、それぞれの学校で行われているボランティア活動を組織的なものとする事で、地域とともにある学校づくりを推進することができました。</p> <p>(2) いじめ等対応支援員の配置、いじめ問題専門委員会、いじめ問題調査委員会の実施等により、いじめの早期発見、未然防止や問題の解決につなげることができました。</p> <p>(3) 特別支援教育支援委員会や相談員による巡回相談により、特別な支援が必要な児童生徒の個々の状況に応じた指導や支援を行いました。</p> <p>(4) 中学校への専門教科を指導する非常勤講師の派遣、少人数指導、学びっ子事業を実施し、教員が児童生徒一人一人に接する時間を増やすなど、細やかで充実した生活指導や学習指導の実施に努め、学力向上につなげました。</p> <p>(5) 学校司書の配置により、児童生徒が図書への親しみを持つとともに、児童生徒の問題解決的な学習を支援し、学校図書館の学習センターとしての機能強化を図ることができました。</p> <p>(6) 外国語指導助手の配置により、児童生徒の外国語や異文化に対する理解を深めることができました。また、ALTによる英語レッスンの動画配信により、英語に触れる機会が確保できました。</p> <p>(7) 新型コロナウイルス感染症対策に係る環境整備により、安全な学習環境が確保できました。また、授業動画の配信により、学習の機会を補填することができました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値(3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育振興基本計画	地域学校協働活動登録ボランティア数	500人	794人
	地域学校協働活動事業設置率	100%	100%
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合 (全国学力学習状況調査)	小学校 45% 中学校 35%	小学校 49.4% 中学校 35.7%
	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合 (全国学力学習状況調査)	小学校 100% 中学校 100%	小学校 96.9% 中学校 97.0%
	長期欠席率(年間30日以上)	小学校 0.5% 中学校 2.4%	小学校 0.77% 中学校 3.33%
	スクールソーシャルワーカー活用実績	14校	13校
評価	評価の理由		
B	<p>コロナ禍の中、消毒用アルコールなどの消耗品の配布や空気清浄機やサーモグラフィーなどの必要な備品を配備するなど、感染症対策を行い学習環境の確保に努めました。また、各校では地域コーディネーターを中心にボランティア活動を組織的なものとし、地域の方に消毒ボランティアとして活動いただくことができました。</p> <p>さらに、非常勤講師の派遣、学びっ子事業の実施、教員やALTによる動画の作成と配信、特別な支援を要する児童生徒への支援等により、臨時休業による学習の遅れを取り戻すことができましたことから、評価を「B」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>子どもたちの感染症に対する知識を習得させ、引き続き感染症対策を講じながら、子どもたちの学びを保障していきます。</p>			

事業番号		10	
款	10 教育費	項	1 教育総務費
目	3 教育振興費		
事業名	継続	教育センター事業	
主管課		教育委員会 学校教育課	
事業費(円)	2 年度	元年度	財源内訳(円)
予算額	2,311,000	1,693,000	国 費
うち繰越	0	0	県 費
決算額	1,894,273	1,435,215	市 債
うち繰越	0	0	そ の 他
執行率(%) / 増減率(%)	82.0 +32.0	84.8	一般財源
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)		その他の内訳(2年度)	
事業コスト		事業費	人件費(1.00 人 役)
決 算 額		1,894 千円	7,052 千円
市民1人当たり (38,455 人)		49 円	183 円
児童生徒1人当たり (3,080 人)		615 円	2,290 円
計			
8,946 千円			
事業の目的および内容			
<p>(1) 幼稚園、認定こども園、小中学校の教職員を対象にした研修を実施し、指導力の向上に努めます。</p> <p>(2) 児童生徒の学力状況調査を行い、その結果を踏まえて主体的・対話的で深い学びにつなげる授業改善を進めます。また、プログラミング教育に関する調査研究、郷土愛に関する調査研究を行います。</p>			
事業の実績			
<p>(1) 幼稚園、認定こども園の保育士および教諭を対象とした研修や、小中学校の教職員を対象とした全職員研修は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で中止しましたが、教育センター主催の調査研究発表大会は、動画配信で行いました。職員へのアンケート調査では、84%の参加者から動画配信に肯定的な回答を得ました。また、市の初任者研修や教頭研修、教育法規講座、ICT活用研修会、チームまいばら先生の会など9回の研修および講座を実施しました。さらに、小学校におけるプログラミング教育に関する調査研究を行い、モデル指導案と年間指導計画を作成し、各学校に配布しました。</p> <p>調査研究発表大会：令和3年2月13日 動画配信 教育センターおよび各部研修会講師謝礼 40,550円</p> <p>(2) 児童の学力状況調査を8月～9月に実施し、その分析結果を基に、指導法の工夫改善に関する実践研究を行いました。</p> <p>学力状況調査委託料 401,265円</p> <p>(3) 教育資料の作成に関する事業 教育センターだより「はぐくみ」、研究紀要「米原教育」、研究論文集の発刊、小学校社会科副読本「わたしたちの米原」の改訂 小学校社会科副読本のデータ作成、印刷等 883,800円</p> <p>(4) その他 各教育関係部会補助金および負担金 205,520円</p>			



【教育法規講座】

事業番号		10	
款	10 教育費	項	1 教育総務費
		目	3 教育振興費
事業名		継続	教育センター事業
		主管課	教育委員会 学校教育課
事業の成果			
<p>(1) 小中学校の教職員対象に各種研修および講座を開催し、指導力の向上につなげることができました。</p> <p>(2) 学力状況調査は、基礎的な学力の定着と主体的・対話的で深い学びを視点とする授業改善のための基礎資料として活用し、より良い授業につなげることができました。</p> <p>(3) 教職員の専門性、指導力の向上を目標に、調査研究部会（2部会）を開催し、小学校プログラミング教育に関する部会と郷土愛に関する部会において調査研究を進めました。各教科での学びをより確実なものとするプログラミング教育のモデル指導案を作成し、各校に示すことができました。また、小学校社会科副読本「わたしたちの米原市」の3回目の改訂を行い、デジタル版として各校に配布しました。</p> <p>(4) 教育研究奨励事業として52点の研究論文（個人、グループ）の応募があり、教職員の自主的な教育研究、自己研鑽により指導力向上につながりました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（2年度）
第2期米原市教育振興基本計画	教育センター開講講座・研修会のべ受講人数	1,000人	426人
第2期米原市教育振興基本計画	全国学力学習状況調査の「読む能力」の正答率	小学校 70% 中学校 65%	小学校 78.9% (R1) 中学校 70.9% (R1)
評価	評価の理由		
C	<p>コロナ禍により、予定していた研修や講座を大幅に中止せざるを得なかったが、動画の配信や少人数での実施等により対応しました。</p> <p>また、「わたしたちの米原市」は内容の検討を重ね、デジタル版として第三版を発行しました。プログラミング教育についても、全小学校で20回以上の授業実践を重ね、モデル指導案を作成しました。このようなことから、評価を「C」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>コロナ禍においては、動画配信やオンライン等、研修・講座の実施方法を工夫する必要があります。一律に中止するというのではなく、感染状況に応じた効果的な研修・講座を実施していきます。</p>			

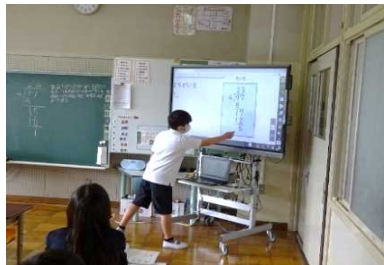
事業番号		11					
款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育振興費	主管課	教育委員会 学校教育課
事業名	継続	子どもサポート事業					
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	55,327,000		41,510,000		国 費	461,000	0
うち繰越	0		0		県 費	1,548,000	1,385,000
決算額	50,075,839		38,435,392		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	0	0
執行率(%) / 増減率(%)	90.5	+30.3	92.6		一般財源	48,066,839	37,050,392
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
事業コスト		事業費		人件費(1.10 人 役)		計	
決 算 額		50,076 千円		7,757 千円		57,833 千円	
市民 1 人当たり (38,455 人)		1,302 円		202 円		1,504 円	
児童生徒 1 人当たり (3,080 人)		16,258 円		2,519 円		18,777 円	
事業の目的および内容							
市内小中学校における子どもケアサポーターやスクーリングケアサポーターの配置、教育支援センターの開設、教育相談の充実により、特別な支援が必要な児童生徒の個々の状況に応じた対応を行うとともに、不登校児童生徒の学校、学級復帰に向けた支援を行います。							
事業の実績							
(1) 学校への子どもケアサポーター派遣 (子どもケアサポーター報酬等 47,056,442円) 子どもケアサポーター23人を市内9小学校、6中学校に年間210日派遣しました。2人のスクーリングケアサポーターを小中学校に年間220回(880時間)派遣しました。 ①特別な支援が必要な児童生徒424人(平成元年度:414人)に個々の状況に応じた、きめ細かな指導支援を行いました。 ②不登校傾向のある児童生徒に対して、学力や生活力の向上に向けての支援を行いました。							
(2) 不登校児童生徒に対する教育支援センターの運営 (指導員報酬等 2,897,217円) 教育支援センターでは、7人(年度当初3人途中入級4人)の入級児童生徒を2人の指導員が週5回、年間226回の指導を行いました。そのうち、1人が学校復帰しています。また、教育支援センターへの通級希望者のため体験見学の機会を設けました。							
(3) 児童生徒の心の安定を図る教育相談 こころの教育相談事業では、心理判定員(臨床心理士)1人が4会場(セラピールーム:山東庁舎と3公民館)のいずれかの会場において、年間相談延べ回数21回、9件(平成元年度:33回、15件)の児童生徒や保護者、関係する教職員の相談を受けました。							

事業番号		11	
款	10 教育費	項	1 教育総務費
		目	3 教育振興費
事業名	継続	子どもサポート事業	
		主管課	教育委員会 学校教育課
事業の成果			
<p>(1) 特別な支援を必要とする児童生徒や不登校による別室登校の児童生徒への個別支援をすることにより、心の安定を図り、学習課題に意欲を持って取り組む姿が見られるようになりました。</p> <p>(2) 不登校傾向の児童生徒の保護者と学校、適応指導教室指導員、心理判定員との連携や相談を密にすることにより、教育支援センターへの通所や在籍校への復帰、放課後登校等の成果が見られました。また、教育支援センターにおける体験や見学は、児童生徒の自立を助けるための有効な活動となりました。</p> <p>(3) 児童生徒の不登校、うつ状態や学校不適応等の様々な心配について相談対応し、ひきこもりの改善、再登校、症状の緩和、保護者の安定といった成果が見られました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値 (3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育振興基本計画	子どもケアサポーター派遣人数	50人	26人
第2期米原市教育振興基本計画	不登校児童生徒数	小学校 8人 中学校 21人	小学校 16人 中学校 33人
評価	評価の理由		
B	<p>特別な支援が必要な児童生徒や、別室登校の児童生徒の個々の実態に応じた支援を行いました。このことにより、落ち着いて学習に取り組めたり、学習内容を理解できるようになったりする児童生徒の姿が見られたという結果から、評価を「B」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>特別な支援を必要とする児童生徒は増加しており、各校の実態に応じてサポーターを派遣するとともに、より有効な支援方法について学校と十分な連携を図っていきます。</p>			

事業番号		12					
款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	主管課	教育委員会 学校教育課
事業名	継続	小学校管理運営事業					
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	67,154,000		60,125,000		国 費	0	0
うち繰越	0		0		県 費	0	0
決算額	63,817,936		58,259,473		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	1,113,600	1,159,020
執行率(%) / 増減率(%)	95.0	+9.5	96.9		一般財源	62,704,336	57,100,453
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
				小学校共済掛金保護者負担金 861,580円			
				要保護児童生徒共済掛金補助金 9,170円			
				小学校施設使用料 242,850円			
事業コスト			事業費		人件費(0.60 人 役)	計	
決 算 額			63,818 千円		4,231 千円	68,049 千円	
市民1人当たり(38,455 人)			1,660 円		110 円	1,770 円	
児童1人当たり(2,088 人)			30,564 円		2,026 円	32,590 円	
事業の目的および内容							
(1) 市内9小学校の児童が安全安心で質の高い教育を受けられるよう、適切な学校管理を行います。また、児童が健やかに学校生活を過ごせるように、児童および教職員の健康管理を行います。							
(2) 開かれた学校づくりを一層推進するために、学校運営協議会委員からの意見や学校経営の評価等により、地域の意向を反映し、地域とともにある学校づくりを進めます。							
事業の実績							
(1) 一般管理							
小学校の児童が安全安心で質の高い教育を受け入れられるよう、適切な学校管理を行いました。							
①学校運営協議会委員 (56人) 560,000 円							
②光熱水費 26,796,122 円							
③通信運搬費 2,994,166 円							
④葉刈り、剪定、雪つりなどの委託料 613,204 円							
⑤事務機器使用料 1,504,998 円							
⑥臨時学校校務員給料、手当 14,595,111 円							
(正規学校校務員の配置のない小学校8校に配置)							
(2) 健康管理							
小学校の児童が健やかに学校生活を過ごせるように、児童および教職員の健康管理を行いました。							
①児童、教職員健康診断業務委託料 3,625,006 円							
②校医、歯科医、薬剤師報酬 3,927,770 円							
③日本スポーツ振興センター共済掛金 1,956,020 円							
④結核、心臓精密検査手数料 42,218 円							
⑤飲料水検査委託料 (年1回) 94,050 円							

事業番号		12	
款	10 教育費	項	2 小学校費
目	1 学校管理費		
事業名	継続	小学校管理運営事業	
事業の成果		主管課 教育委員会 学校教育課	
(1) 各学校施設、設備の適切な管理運営に努めました。 (2) 児童の健やかな学校生活の基礎となる健康診断を児童および教職員に実施し、健康管理に努めることができました。 (3) 学校運営協議会を開き、学校と家庭、地域との連携の在り方について協議を行いました。また、学校運営協議会委員からの意見や学校経営の評価等により、地域の声を的確に把握しながら、学校経営を行うことができました。			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値(3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育振興基本計画	市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度	78%	令和2年度 — 令和3年度 85.5%
評価	評価の理由		
C	学校施設、設備の適切な管理運営に努めた。児童生徒の健康診断については、学校医と学校歯科医と連携し、感染症対策を行った上で実施することができました。 また、学校運営協議会での意見や地域の声を反映した学校経営を行うことができたことなどから、評価を「C」としました。		
事業の課題と今後の取組			
開かれた学校づくりを推進するために、学校運営協議会の意見や学校経営の評価等により、地域の意向を把握し、地域とともにある学校づくりをより一層進める必要があります。 コロナ禍の中ではありますが、学校運営協議会委員研修会等の学校と家庭・地域との連携の在り方について協議を重ねる場を設定する必要があります。			

事業番号		13					
款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費	主管課	教育委員会 学校教育課
事業名	継続	小学校教育振興事業					
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	30,239,000		56,402,000		国 費	781,000	123,000
うち繰越	0		0		県 費	0	0
決算額	28,444,091		55,934,578		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	11,000,000	3,200,000
執行率(%) / 増減率(%)	94.1	▲ 49.1	99.2		一般財源	16,663,091	52,611,578
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
				教育施設整備基金繰入金 11,000,000円			
事業コスト			事業費		人件費(1.40 人 役)	計	
決 算 額			28,444 千円		9,873 千円	38,317 千円	
市民1人当たり(38,455 人)			740 円		257 円	997 円	
児童1人当たり(2,088 人)			13,623 円		4,728 円	18,351 円	
事業の目的および内容							
<p>(1) 市内9小学校の児童に対して、地域の人材を活用した教育活動や修学旅行、校外活動などの様々な体験活動の充実を図り、心豊かでたくましく生きる力を育む教育を推進します。</p> <p>(2) 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成を目指して、より良い学習環境を整えるため、教材の整備に努めます。</p>							
事業の実績							
<p>(1) 修学旅行や校外活動に対する補助等を行い、教育の振興に努めました。コロナ禍における修学旅行の実施については、計画変更に伴う経費に対し補助額を増額し、実施に向けた支援を行いました。</p> <p>修学旅行、校外活動補助金 1,661,956 円</p> <p>(2) より良い学習環境を整えるため教材備品を購入しました。ICT機器の充実のため、小学校2年生の全ての教室にテレビ型電子黒板を配備し、デジタル教科書とともに活用できるようにしました。また、理科備品については、国庫補助を受け充実を図りました。</p> <p>理科教材備品 233,390 円 電子黒板、パソコン(14台) 9,369,822 円 デジタル教科書(算数、理科) 1,831,500 円</p> <p>(3) 各学校の教育目標を達成するために、校長に一定の予算執行権限を設けた学校経営予算制度を実施し、学校の状況に応じた執行を行いました。授業力向上を目的としたプログラミング教材の購入や、体力向上を目的とした体育備品整備など、各校の実状や教育目標に合わせた取組を全ての小学校で実施しました。</p> <p>学校経営予算制度 1,752,018 円</p> <p>(4) 各小学校教育振興費</p> <p>校内研究会、総合学習、スキー教室など講師謝礼 61,000 円 教材プリント用印刷用紙等 7,613,658 円</p>							



【ICTを活用した授業】




事業番号		13					
款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費	主管課	教育委員会
事業名	継続	小学校教育振興事業					学校教育課
事業の成果							
<p>(1) 教育活動の充実のために必要な経費の支出や補助を行うことで、各校の教育目標の実現に向けた取組を展開することができました。また、校長に一定の予算執行権限を設ける学校経営予算制度により、各校の実状に応じた環境改善や、校長の思いに沿った学校経営を支援することができました。</p> <p>(2) ICT機器の充実により、学ぶ意欲を高め、確かな学力を育む授業改善を推進することができました。</p> <p>(3) 修学旅行について、行先変更等の工夫により、コロナ禍においても実施することができました。</p>							
指標を示している資料名		成果指標名		目標値(3年度)		現状値(2年度)	
第2期米原市教育振興基本計画		市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度		78%		令和2年度 ー 令和3年度 85.5%	
		地域学校協働活動登録ボランティア数		500人		794人	
		地域学校協働活動事業設置率		100%		100%	
		地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童の割合(全国学力学習状況調査)		小学校 45%		小学校 49.4%	
		いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童の割合(全国学力学習状況調査)		小学校 100%		小学校 96.9%	
		長期欠席率(年間30日以上)		小学校 0.5%		小学校 0.77%	
		スクールソーシャルワーカー活用実績		14校		13校	
		子どもケアサポーター派遣人数		50人		26人	
		不登校児童数		小学校 8人		小学校 16人	
		子ども(小学5年生)の体力・運動能力テストの体力合計点		全国平均を上回る		令和2年度 ー 令和元年度 男子52.84 女子54.07	
		体力・運動能力調査「持久走」の県平均を上回った学年数		男子：4学年 女子：6学年		令和2年度 ー 令和元年度 男子1学年 女子4学年	
		「ふるさと3事業」実施校園率		100%		小学校 63%	
		総合学力調査「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」児童生徒の割合		小学校 45%		小学校 49.4%	
		学力・学習状況調査「地域の行事に参加している」児童の割合		小学校 88%		小学校 78.6%	
		学力・学習状況調査「学校に行くのは楽しいと思う」児童の割合		小学校 88%		令和2年度 ー 令和元年度 91.2%	
評価	評価の理由						
B	電子黒板やデジタル教科書、一人一台タブレット等を導入し、ICT機器を活用できる環境を整えることができました。 学校経営予算制度により、校長が描く学校経営を支援することができたことなどから、評価を「B」としました。						
事業の課題と今後の取組							
<p>市の学校教育情報化推進計画に沿って、引き続きICT機器の充実に努めます。さらに、機器を有効活用した授業実践ができるよう、子どもたちのタブレット端末の操作指導をはじめ、指導教員の研修を充実する必要があります。</p> <p>また、子どもたちに対し情報モラル教育を行うとともに、必要に応じてセキュリティの強化を図っていききたいと思います。</p>							


事業番号		14					
款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	主管課	教育委員会 学校教育課
事業名	継続	中学校管理運営事業					
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	43,953,000		42,314,000		国 費	0	0
うち繰越	0		0		県 費	0	0
決算額	42,165,234		39,606,261		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	907,780	960,440
執行率(%) / 増減率(%)	95.9	+6.5	93.6		一般財源	41,257,454	38,645,821
①執行率80%以下/②増減率±50%以上の理由(2年度)					その他の内訳(2年度)		
					中学校共済掛金保護者負担金 407,560円		
					要保護児童生徒共済掛金補助金 4,420円		
					中学校施設使用料 495,800円		
事業コスト			事業費		人件費(0.60 人 役)	計	
決 算 額			42,165 千円		4,231 千円	46,396 千円	
市民1人当たり(38,455 人)			1,096 円		110 円	1,206 円	
生徒1人当たり(992 人)			42,505 円		4,265 円	46,770 円	
事業の目的および内容							
(1) 市内6中学校の生徒が安全安心で質の高い教育が受けられるよう、適切な学校管理を行います。また、生徒が健やかに学校生活を過ごせるよう、生徒および教職員の健康管理を行います。							
(2) 開かれた学校づくりを一層推進するために、学校運営協議会委員からの意見や学校経営の評価等により、地域の意向を反映し、地域とともにある学校づくりを進めます。							
事業の実績							
(1) 一般管理							
中学校の生徒が安全安心で質の高い教育を受けられるよう、適切な学校管理を行いました。							
①学校運営協議会委員報酬(35人) 350,000 円							
②光熱水費 19,752,989 円							
③通信運搬費 1,849,263 円							
④葉刈り、剪定などの委託料 577,738 円							
⑤事務機器使用料 1,238,217 円							
⑥臨時学校校務員給料、手当 7,526,924 円							
(正規学校校務員の配置のない中学校5校に配置)							
(2) 健康管理							
中学校の生徒が健やかに学校生活を過ごせるように、生徒および教職員の健康管理を行いました。							
①生徒、教職員健康診断業務委託料 2,940,564 円							
②校医、歯科医、薬剤師報酬 2,151,670 円							
③日本スポーツ振興センター共済掛金 926,695 円							
④結核、心臓精密検査手数料 40,909 円							
⑤飲料水検査委託料(年1回) 62,700 円							

事業番号		14	
款	10 教育費	項	3 中学校費
目	1 学校管理費		
事業名	継続	中学校管理運営事業	
事業の成果		主管課 教育委員会 学校教育課	
(1) 各学校施設、設備の適切な管理運営に努めました。 (2) 生徒の健やかな学校生活の基礎となる健康診断を生徒および教職員に実施し、健康管理に努めることができました。 (3) 学校運営協議会を開き、学校と家庭、地域との連携の在り方について協議を行いました。また、学校運営協議会委員からの意見や学校経営の評価等により、地域の声を的確に把握しながら、学校経営を行うことができました。			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値(3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育振興基本計画	市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度	78%	令和2年度 ー 令和3年度 85.5%
評価	評価の理由		
C	学校施設、設備の適切な管理運営に努めた。児童生徒の健康診断については、学校医と学校歯科医と連携し、感染症対策を行った上で実施することができました。 また、学校運営協議会での意見や地域の声を反映した学校経営を行うことができたことなどから、評価を「C」としました。		
事業の課題と今後の取組			
開かれた学校づくりを推進するために、学校運営協議会の意見や学校経営の評価等により、地域の意向を把握し、地域とともにある学校づくりをより一層進める必要があります。 コロナ禍の中ではありますが、学校運営協議会委員研修会等の学校と家庭・地域との連携の在り方について協議を重ねる場を設定する必要があります。			

事業番号		15					
款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費	主管課	教育委員会
事業名	継続	中学校教育振興事業					学校教育課
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	40,734,000		27,639,000		国 費	1,097,000	34,000
うち繰越	0		0		県 費	1,247,000	1,114,000
決算額	38,746,008		26,669,212		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	11,121,000	6,853,000
執行率(%) / 増減率(%)	95.1	+45.3	96.5		一般財源	25,281,008	18,668,212
①執行率80%以下/②増減率±50%以上の理由(2年度)					その他の内訳(2年度)		
					教育施設整備基金繰入金 9,300,000円		
					米原ガンバレ！ふるさと応援寄付基金繰入金 1,821,000円		
事業コスト			事業費		人件費(1.00 人 役)	計	
決 算 額			38,746 千円		7,052 千円	45,798 千円	
市民1人当たり(38,455 人)			1,008 円		183 円	1,191 円	
生徒1人当たり(992 人)			39,058 円		7,109 円	46,167 円	
事業の目的および内容							
(1) 市内6中学校の生徒に対して、地域の人材を活用した教育活動や修学旅行、校外活動などの体験活動、部活動の公式大会参加への補助等を行い、心豊かでたくましく生きる力を育む教育を推進します。							
(2) 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成に向けた学習環境を整えるため、教材の整備に努めます。							
事業の実績							
(1) 修学旅行、校外活動および部活動の公式大会参加に対する補助等を行い、教育の振興に努めました。修学旅行については、計画変更に伴う経費に対し補助額を増額し、コロナ禍における実施に向けた支援を行いました。							
修学旅行、校外活動補助金、生徒派遣補助金 1,866,200 円							
(2) より良い学習環境を整えるため教材備品を購入しました。ICT機器の充実のため、テレビ型電子黒板を中学校2、3年生の未設置であった13学級に配置し、数学、理科、英語のデジタル教科書を配備しました。また、理科備品については、国庫補助を受け、充実を図りました。							
理科教材備品 131,016 円							
電子黒板、パソコン(13台) 8,700,549 円							
デジタル教科書(3教科) 974,600 円							
(3) 各学校の教育目標を達成するために、校長に一定の予算執行権限を設けた学校経営予算制度を実施し、学校の状況に応じた執行を行いました。熱中症対策用屋外テントの導入など、各学校独自の取組や、各校の実状、教育目標に合わせた取組を全ての中学校で実施しました。							
学校経営予算制度 1,037,678 円							
(4) 各中学校教育振興費							
総合学習、校内研究会など講師謝礼 43,100 円							
教材プリント用印刷用紙等 5,658,852 円							
生徒用図書 921,138 円							
(5) 教科書の採択替えに係る教師用教科書および指導書の購入							
教師用教科書、指導書 13,337,548 円							
(6) その他							
部活動指導員報酬 1,520,800 円							
学びの礎ネットワーク推進事業(米原、河南学区) 280,000 円							
中学2年生職場体験活動キャリア教育経費 262,256 円							



【ICTを活用した授業】



【職場体験学習(河南中学校)】



【ICTを活用した授業】



【職場体験学習(河南中学校)】

事業番号		15					
款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費	主管課	教育委員会
事業名	継続	中学校教育振興事業					学校教育課
事業の成果							
<p>(1) 教育活動の充実のために必要な経費の支出や補助を行うことで、各校の教育目標の実現に向けた取組を展開することができました。また、校長に一定の予算執行権限を設ける学校経営予算制度により、各校の実状に応じた環境改善や、校長の思いに沿った学校経営を支援することができました。</p> <p>(2) ICT機器の充実を図り、学ぶ意欲を高め、確かな学力を育む授業改善を推進しました。</p> <p>(3) 修学旅行について、行先変更等の工夫により、コロナ禍においても実施することができました。</p>							
指標を示している資料名		成果指標名		目標値(3年度)		現状値(2年度)	
第2期米原市教育振興基本計画		市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度		78%		令和2年度 ー 令和3年度 85.5%	
		地域学校協働活動登録ボランティア数		500人		794人	
		地域学校協働活動事業設置率		100%		100%	
		地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある生徒の割合 (全国学力学習状況調査)		中学校 35%		中学校 35.7%	
		いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う生徒の割合 (全国学力学習状況調査)		中学校 100%		中学校 97.0%	
		長期欠席率(年間30日以上)		中学校 2.4%		中学校 3.33%	
		スクールソーシャルワーカー活用実績		14校		13校	
		子どもケアサポーター派遣人数		50人		26人	
		不登校生徒数		中学校 21人		中学校 33人	
		体力・運動能力調査「持久走」の県平均を上回った学年数		中学校 全学年		令和2年度 ー 令和元年度 男子4学年 女子6学年	
		「ふるさと3事業」実施校園率		100%		63.0%	
		総合学力調査「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」生徒の割合		中学校 35%		中学校 35.7%	
		学力・学習状況調査「地域の行事に参加している」生徒の割合		中学校 65%		中学校 56.8%	
		学力・学習状況調査「学校に行くのは楽しいと思う」生徒の割合		中学校 93%		令和2年度 ー 令和元年度 85.0%	
評価	評価の理由						
B	電子黒板やデジタル教科書、一人一台タブレット等を導入し、ICT機器を活用できる環境を整えることができました。 学校経営予算制度により、校長が描く学校経営を支援することができたことなどから、評価を「B」としました。						
事業の課題と今後の取組							
<p>市の学校教育情報化推進計画に沿って、引き続きICT機器の充実に努めます。さらに、機器を有効活用した授業実践ができるよう、子どもたちのタブレット端末の操作指導をはじめ、指導教員の研修を充実する必要があります。</p> <p>また、子どもたちに対し情報モラル教育を行うとともに、必要に応じてセキュリティの強化を図っていきしたいと思います。</p>							

事業番号		16									
款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	4 学校給食費	主管課	教育委員会				
事業名	継続	学校給食事業					学校給食課				
事業費(円)		2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度			
予算額		337,303,000		328,689,000		国 費	8,429,327	0			
うち繰越		0		0		県 費	3,568,000	0			
決算額		332,464,350		309,256,778		市 債	0	0			
うち繰越		0		0		そ の 他	168,573,370	164,770,626			
執行率(%) / 増減率(%)		98.6	+7.5	94.1		一般財源	151,893,653	144,486,152			
①執行率80%以下/②増減率±50%以上の理由(2年度)					その他の内訳(2年度)						
					学校臨時休業対策費補助金 1,048,000円						
					学校給食費保護者等負担金 145,703,322円						
					特定教育・保育施設給食費利用者負担金 10,086,048円						
					教育施設整備基金繰入金 11,736,000円						
事業コスト			事業費		人件費(9.00 人 役)		計				
決 算 額			332,464 千円		63,468 千円		395,932 千円				
市民1人当たり(38,455 人)			8,646 円		1,650 円		10,296 円				
事業の目的および内容											
生活の多様化が進み、食生活を取り巻く社会環境も大きく変化する中、米原市の将来を担う子どもたちにバランスの取れた安心安全な学校給食を提供するため、適正な施設の維持管理および業務の運営を行います。											
事業の実績											
学校および園に安心安全な給食を提供するため、学校給食衛生管理基準に基づく衛生面への配慮など給食センターの適正な管理運営に努めるとともに、食物アレルギーへの対応や、地元の食材の積極的な活用を行いました。											
なお、令和2年4月14日から5月31日までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための小中学校の臨時休業に伴い、給食を停止しました。また、長期休業期間を短縮し学習補充等を行った際の給食費については、市が負担しました。											
(1) 食物アレルギー対応人数											
東部給食センター分 78人、西部給食センター分 58人 計136人 (令和元年度：136人)											
(内訳：延べ数) (単位：人)											
項目	卵	牛乳	乳製品	甲殻類	魚介類	種実類	大豆	果物	野菜	小麦	その他 (牛、豚肉)
東部	22	16	7	15	13	16	3	38	5	2	0
西部	18	12	10	16	9	12	0	18	5	0	2
(2) 給食提供数 (職員を含む。)									令和3年3月現在		
区 分	東部給食センター			西部給食センター			計				
	校園数	食数 (1回当たり)		校園数	食数 (1回当たり)		校園数	食数 (1回当たり)			
幼稚園・認定園	4	525 食		1	217 食		5	742 食			
小学校	6	1,128 食		3	1,178 食		9	2,306 食			
中学校	4	571 食		2	551 食		6	1,122 食			
合 計	14	2,224 食		6	1,946 食		20	4,170 食			
(3) 給食回数と主食の内容											
項 目	東部給食センター			西部給食センター							
米飯給食	148 回			148 回							
パン給食	20 回			20 回							
麺給食	19 回			19 回							
合 計	187 回			187 回							

事業番号		16	
款	10 教育費	項	6 保健体育費
目	4 学校給食費		
事業名		継続	学校給食事業
主管課		教育委員会 学校給食課	
事業の実績			
(4) 賄材料費 168,301,183円 (東部: 88,184,657円、西部: 80,116,526円)			
(5) 学校給食費保護者等負担金徴収状況			
現年度分		調定額 145,837,990円	未納額 134,668円
		収入額 145,703,322円	収納率 99.91%
過年度分		調定額 2,180,916円	未納額 2,087,003円
		収入額 93,913円	収納率 4.31%
(6) 東部・西部給食センターにおける食育推進事業			
食に関する指導体験学習等を通じて、子どもの食育の推進に取り組みました。			
①収穫体験			
白ねぎ収穫: 山東小(3年)24人、春照小(3年)28人、 ブロッコリー収穫: 米原小(2年)74人			
②食育に関する情報発信			
給食日よりなどでレシピや食育の実践の様子などを紹介しました。			
(7) 特色ある給食			
項 目		実施回数	
季節の行事食		各月1回	
お誕生日給食			
カミカミメニュー			
日本型食生活の日			
ふるさと滋賀給食の日			
セレクト給食(給食週間中)		1回(全校)	
郷土料理		随時	
地元食材の使用			
食べ物の旅給食		月1回	
ニュージーランド給食		2回(7月、1月)	
<p>県の学校給食提供推進事業を活用し、滋賀県産の食材を使った給食を実施しました。</p> <p>湖魚(あまご、びわます等): 6回、近江しゃも: 2回、近江牛: 6回</p>			
(8) 施設の主な運営経費			
①会計年度任用職員を配置して直営による調理業務を実施しました。			
会計年度任用職員給料、報酬(栄養士、配膳員含む。)			
東部給食センター(常勤: 17人 非常勤: 6人)		26,765,578円	
西部給食センター(常勤: 12人 非常勤: 5人)		18,568,241円	
②給食の配送については、市シルバー人材センターに配送業務を委託しました。			
配送業務委託料		東部給食センター 9,801,480円	
		西部給食センター 2,958,015円	
(9) 給食センター施設改修等			
両給食センターの厨房機器等の適正な維持管理と改修、給食配送車の更新を行いました。			
修繕料(厨房機器、施設修繕)		6,480,079円	
東部給食センター蒸気発生器蓄熱槽交換工事		7,272,100円	
西部給食センター給食配送車購入		8,132,654円	



【白ねぎの収穫体験】



【食に関する指導】



【湖魚を活用した給食】

事業番号		16	
款	10 教育費	項	6 保健体育費
		目	4 学校給食費
事業名	継続	学校給食事業	
		主管課	教育委員会 学校給食課
事業の成果			
<p>(1) 給食の食材については、レーク伊吹農協と連携し地元の食材を積極的に取り入れました。</p> <p>(2) 給食メニューの多様化を図るため、月間目標を定めて郷土料理や市内の行事に合わせたメニューを取り入れたことなどにより、子どもたちの食への関心を高めることができました。</p> <p>(3) 毎月の食に関する指導、出前授業、収穫体験等を通して食べ物の大切さを知ってもらうことができました。</p> <p>(4) 食物アレルギーのある子どもたちの給食については、代替食・除去食の対応を徹底し、保護者、学校、給食センターが情報を共有し連携することにより、安全な学校給食を提供することができました。</p> <p>(5) 施設の適正な保守管理と衛生基準に基づく徹底した衛生管理を行い、安心安全な給食を提供することができました。</p> <p>(6) 老朽化（21年間使用）していた配送車の更新を行い、配送体制の安定化を図りました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（2年度）
第2期米原市教育振興基本計画	学校給食に地場産物を使用する割合（食材数ベース）	35%	39%
第2期米原市教育振興基本計画	給食センターにおける収穫体験実施校数	3校	3校
学校給食実施基準	残菜率	6%	5.75%
評価	評価の理由		
B	<p>コロナ禍の中、学校給食を実施するに当たっては、「学校給食衛生管理基準」に基づいた調理作業や配食等を徹底して行いました。また、食物アレルギーへの適切な対応を行い、アレルギーのある子どもへ安心安全な学校給食を提供することができたことから、評価を「B」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>両給食センターの厨房機器等の定期的な保守点検と施設の適切な維持管理を実施し、年次計画に基づき改修または更新を行い、調理業務に支障をきたさないように努めます。</p>			

事業番号		17					
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	1 社会教育総務費	主管課	教育委員会 生涯学習課
事業名	継続	社会教育総務事業					
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	487,000		895,000		国 費	0	0
うち繰越	0		0		県 費	0	0
決算額	281,303		686,765		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	0	0
執行率(%) / 増減率(%)	57.8	▲ 59.0	76.7		一般財源	281,303	686,765
①執行率80%以下/②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
① 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、会議の縮小や研修会等の中止のため。							
② 予算の一部を所管替えしたため。							
事業コスト		事業費		人件費(0.65 人 役)		計	
決 算 額		281 千円		4,584 千円		4,865 千円	
市民1人当たり(38,455 人)		7 円		119 円		126 円	
事業の目的および内容							
(1) 社会教育行政に対して専門家や市民の意見を取り入れるため、社会教育委員会議を開催します。 (2) 市民の生涯学習活動を支援するとともに、学んだ成果を生かして活動できる場の提供を行い、地域人材(講師)と市民をつなぐコーディネーターの役割を果たします。							
事業の実績							
(1) 社会教育委員会議 (社会教育委員 12人) 報酬 150,000円 社会教育委員会議を開催し、地域と学校の関わりや次世代の育成に関する課題検討を行いました。 ①定例会議の開催(2回) テーマ: コミュニティ・スクール ②市内コミュニティ・スクール視察(2回): 伊吹山中学校・河南中学校							
(2) 出前講座事業 市民の依頼に応じて市職員等が講師となり、市民のくらしや生涯学習の推進に役立つ情報について学ぶ機会を提供しました。 利用実績: 94回 (令和元年度 236回 対前年度増減率▲60.2%) メニュー数: 152講座							
(3) まなびサポーター事業 学んだ成果を生かし、市民が指導者としてまちづくりや人づくりに取り組む制度の運用を行いました。 まなびサポーター登録総数: 164人 利用実績: 5回 (令和元年度 70回 対前年度増減率▲92.9%)							



【出前講座】



事業番号		17	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	1 社会教育総務費		
事業名	継続	社会教育総務事業	主管課 教育委員会 生涯学習課
事業の成果 (1) 社会教育委員会では、昨年度に引き続きコミュニティ・スクールの現状と課題について議論し、社会教育の側面から調査研究し、活動報告書を提出しました。 (2) 出前講座、まなびサポーター事業を展開し、市民の学びの機会の提供を図ることができました。			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（2年度）
第2期米原市教育振興基本計画	まなびサポーター登録者数	145人	164人
第2期米原市教育振興基本計画	生涯学習まちづくり出前講座年間実施回数	300回	110回
評価	評価の理由		
C	コロナ禍の影響により出前講座の実施回数は減少しましたが、市民の生涯学習活動を支援するとともに、学んだ成果を生かして、地域課題の解決や、豊かなまちづくりに取り組むための支援を行うことができたことから、評価を「C」としました。		
事業の課題と今後の取組 市民の学びの機会の充実を図るため、出前講座のメニューの更新等を行い、新たに魅力ある講座を取り入れていきます。 まなびサポーターが高齢化等により減少しており、サポーターの育成や制度周知による登録者の増加を行う必要があります。			

事業番号		18	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	1 社会教育総務費		
事業名	継続	人権教育推進事業	
主管課		教育委員会 生涯学習課	
事業費(円)	2 年度	元年度	財源内訳(円)
予算額	3,778,000	1,377,000	国 費
うち繰越	0	0	県 費
決算額	3,656,107	1,306,562	市 債
うち繰越	0	0	そ の 他
執行率(%) / 増減率(%)	96.8 +179.8	94.9	一般財源
		2 年度	元年度
		0	0
		0	0
		0	0
		221,000	221,000
		3,435,107	1,085,562
①執行率80%以下/②増減率±50%以上の理由(2年度)		その他の内訳(2年度)	
② 会計年度任用職員に係る人件費の予算計上による事業費の変更のため。		人権教育推進協議会等事業助成金 221,000円	
事業コスト		事業費	人件費(0.05 人 役)
決 算 額		3,656 千円	353 千円
市民1人当たり(38,455 人)		95 円	104 円
事業の目的および内容			
(1) 人権尊重、人権擁護が確立された明るく住み良いまちづくりの実現を目指し、米原市人権教育推進協議会と連携しながら、各種研修会、人権講座を実施します。 (2) 地域の人権課題の早期解決のため、ハートフル・フォーラム(地区別懇談会)を推進します。			
事業の実績			
(1) 人権教育推進協議会の活動支援および事業推進を行いました。 ①活動事業費に対する補助 1,242,426円 ②地域人権リーダー研修会 開催日：令和2年7月3日、8月28日 場所：市民交流プラザ 参加人数：174人(令和元年度263人) 内容：ハートフル・フォーラムの実施方法の説明、令和2年度テーマに関する人権啓発教材視聴 ③きらめき人権講座の開催(4回) 開催日：令和2年8月25日、9月20日、10月20日、11月19日 場所：市民交流プラザ 参加人数：291人(令和元年度248人) 内容：人権文化豊かなまちづくり、多文化共生のまちづくり、子どもと人権 など ④ハートフル・フォーラムの自治会での開催 令和2年度推奨テーマ「子ども・若者の人権」 52自治会で開催 実施率48.6%(令和元年度76.6%) ⑤2020人権を考えるつどい米原(人権政策課と共催) 開催日：令和2年12月 伊吹山テレビ、市公式ウェブサイトほか 内容：啓発DVDの作成および放送、人権作文の発表等 (2) 同和教育推進本部研修会 開催日：令和3年2月5日 場所：市民交流プラザ 参加人数：52人(令和元年度25人) 内容：「部落差別は今」～部落差別の実態と部落差別解消法～ 講師：丸本千悟さん			

事業番号		18	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
		目	1 社会教育総務費
事業名	継続	人権教育推進事業	
		主管課	教育委員会 生涯学習課
事業の成果			
<p>(1) 地域人権リーダー研修会やきらめき人権講座等を開催し、特に子ども、若者の理解など人権意識の向上や、それぞれの立場で活躍する人権リーダーの育成を行うことができました。</p> <p>(2) 主体的な学習の場であるハートフル・フォーラムを推進し、市民に人権学習の機会を提供することができました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（2年度）
第2期米原市教育振興基本計画	地域人権リーダー研修会の参加者数	250人	174人
第2期米原市教育振興基本計画	ハートフル・フォーラムの実施率	85%以上	48.6%
評価	評価の理由		
C	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の中、感染症対策を講じながら、各種研修会、人権講座を開催しました。ハートフル・フォーラムについても、フォーラムの実施のほかに、DV教材の各戸回覧や人権啓発教材の配布等により工夫をしながら、人権学習の機会の提供に努めることができたことから、評価を「C」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>ハートフル・フォーラムの実施方法を工夫するとともに、各自治会での開催を促す必要があります。</p> <p>身近な課題や問題をテーマとした学習会や人権落語、出前講座等様々な学習方法を提案していきます。</p>			

事業番号		19	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
		目	1 社会教育総務費
事業名	継続	地域人材育成事業	
		主管課	
		教育委員会 生涯学習課	
事業費(円)	2年度	元年度	財源内訳(円)
予算額	730,000	744,000	国 費
うち繰越	0	0	県 費
決算額	414,676	382,629	市 債
うち繰越	0	0	そ の 他
執行率(%) / 増減率(%)	56.8 / +8.4	51.4	一般財源
①執行率80%以下/②増減率±50%以上の理由(2年度)		その他の内訳(2年度)	
①新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に伴い、予定していた講義等を中止または延期したため。		社会教育事業関係受講料 180,000円	
事業コスト		事業費	人件費(0.60 人 役)
決 算 額		415 千円	4,231 千円
市民1人当たり(38,455 人)		11 円	110 円
学生1人当たり(20 人)		20,750 円	211,550 円
計			
4,646 千円			
市民1人当たり(38,455 人)			
121 円			
学生1人当たり(20 人)			
232,300 円			
事業の目的および内容			
<p>ルッチまちづくり大学は「地域に根ざす。幸せになる。」をコアコンセプトに人を育てる市民カレッジです。市民の自発的に学び続ける意欲に応え、楽しく学びながら、自ら考え、話し合い、それを踏まえて力強く行動できる“人財”を3年間で育成します。</p> <p>また、市民立大学(地域の教育の主体者として市民がつくる学びの場という意味)を目指し、ルッチ大卒業生と行政が対等な立場で協働運営するルッチみらい会議において講座の内容等を検討し、多様な主体と連携しながら事業効果を高めていきます。</p>			
事業の実績			
<p>(1) ルッチまちづくり大学(9期生:20人)【18回開講】(令和元年度21回)</p> <p>コロナ禍のため、座学を中心に事例研究を行い、下半期は地域課題の解決に向けたグループワークを進めました。</p> <p>(2) 公開講座の開催【2回開催】(令和元年度4回)</p> <p>ルッチまちづくり大学の広報、成果の市民還元を目的に開催しました。</p> <p>11月の講座については、講師(県外)と会場をオンラインで接続して実施しました。</p>			
開催日	講師		テーマ
8月23日	吉田 尚子さん	1級家事セラピスト	五感にひびく今ここにある日常を味わう ～家族で家のコト～
11月29日	西條 辰義さん	高知工科大学 フューチャーデザイン 研究所所長	将来世代の視点から空家問題について考えてみよう!
		参加人数	
		13人	
		30人	

事業番号		19	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
		目	1 社会教育総務費
事業名	継続	地域人材育成事業	
事業の成果		主管課 教育委員会 生涯学習課	
(1) ルッチまちづくり大学での2年間の学びの過程を踏まえた、少人数講義による自発的な学習や実践活動を促すことができました。 (2) 地域学習を通して、地域課題の解決に向けて事例研究を行い、学生同士の連携が進展しました。			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（2年度）
第2期米原市教育振興基本計画	米原市民意識調査「生涯学習の推進」の満足度	85%	R2年度：－ R3年度：85.7%
評価	評価の理由		
C	新型コロナウイルス感染症拡大においても、ルッチ大学のグループによる研究活動が進展したほか、オンラインによる講座の実施等、感染症対策を講じながら授業を展開することができたことから、評価を「C」としました。		
事業の課題と今後の取組			
コロナウイルス禍で、感染対策を講じながら授業展開を図っていく必要があります。また、ルッチみらい会議等と連携し、大学のカリキュラム構成に工夫を凝らして、卒業後、より円滑な市民活動につながる仕組みに変えるなど、より良い大学の運営に努めます。			

事業番号		20	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
		目	1 社会教育総務費
事業名		文化のまちづくり事業	
継続		教育委員会 生涯学習課	
事業費(円)		2 年度	元年度
予算額		4,467,000	4,733,000
うち繰越		0	0
決算額		4,370,239	4,377,832
うち繰越		0	0
執行率(%) / 増減率(%)		97.8 ▲ 0.2	92.5 /
		財源内訳(円)	2 年度 元年度
		国 費	0 0
		県 費	0 0
		市 債	0 0
		そ の 他	2,204,000 4,369,000
		一般財源	2,166,239 8,832
①執行率80%以下/②増減率±50%以上の理由(2年度)		その他の内訳(2年度) 米原ガンバレ！ふるさと応援寄付基金繰入金 2,204,000円	
事業コスト		事業費	人件費(0.25 人 役) 計
決 算 額		4,370 千円	1,763 千円 6,133 千円
市民1人当たり(38,455 人)		114 円	46 円 160 円
事業の目的および内容			
(1) 芸術を創造し、鑑賞する喜びを享受し、文化の薫り高いまちづくりを目指して、芸術展覧会を開催します。 (2) 市民の芸術文化の振興を図るため、米原市文化協会の活動事業に対する支援を行います。			
事業の実績			
(1) 米原市芸術展覧会の開催 会期：令和2年7月15日～18日 場所：近江はにわ館 来場者数：560人 出品数：絵画部門 63点（うち入選数50点） 彫刻・工芸部門 14点（うち入選数14点） 書部門 33点（うち入選数33点） 写真部門 87点（うち入選数72点） 合 計 197点（令和元年度 269点）		 【第15回云術展覧会】	
(2) 米原市文化協会事業補助金 2,204,319円 ①米原市文化協会 会員数：871人、団体数：75団体（令和3年3月31日現在） ②作品展、企画展の開催 4支部の活動に対する補助を行い、作品展や盆梅展、菊花展などの企画展を開催しました。 ③部会交流事業 団体間の横連携を図り、文化活動の活性化を図るために、多様なサークルが合同で行う発表会「小さな発表会」を開催しました。		 【おうち作品展】	

事業番号		20	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	1 社会教育総務費		
事業名		継続	文化のまちづくり事業
		主管課	教育委員会 生涯学習課
事業の成果			
<p>(1) 当初5月に予定していた市芸術展覧会については、緊急事態宣言などの状況を考慮し、7月に会期を変更して開催しました。出品数については例年を下回ったものの、入選率は8割を超え、レベルの高い展覧会となりました。新型コロナウイルス感染症の対策を万全に行い、来場者に作品を鑑賞する機会を提供することができました。</p> <p>(2) 文化協会では、文化祭や芸能発表会の開催を予定していましたが、事業内容を変更し、個々のサークルを中心に、コロナ禍においても継続して活動を行いました。おうち作品展や文化展示など、自宅での時間を活用し、広く作品を募集することで、市全体の文化芸術活動の推進に寄与することができました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（2年度）
第2期米原市教育振興基本計画	米原市芸術展覧会への市民作品数	220点	52点
第2期米原市教育振興基本計画	米原市文化協会事業への参加団体数	165団体	58団体
第2期米原市教育振興基本計画	文化協会員数	1,500人	896人
評価	評価の理由		
C	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により中止した事業もあり、いずれの指標も目標値を大きく下回る結果となりました。その中で、感染症対策を講じながら、芸術展覧会を開催しました。また、文化協会においては、おうち作品展の開催等コロナ禍に対応した事業に内容に変更しながら文化芸術活動の推進に取り組むことができたことから、評価を「C」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>芸術展覧会において、出品数は増加傾向にありますが、市民の出品数が横ばい状況にあることから、市民の創作意欲を高めるため、魅力ある展覧会の開催に努めます。</p> <p>文化協会においては、会員数の減少や高齢化が進んでおり協会の活動に対する情報の発信等、会員数の増加や組織の活性化に向けた支援を行い、文化の振興に努めます。</p>			

事業番号		21					
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	1 社会教育総務費	主管課	教育委員会
事業名	継続	市民交流プラザ管理運営事業					生涯学習課
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	69,170,000		50,547,000		国 費	1,877,000	0
うち繰越	0		0		県 費	4,516,000	0
決算額	64,549,282		48,167,152		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	17,049,353	10,150,738
執行率(%) / 増減率(%)	93.3	+34.0	95.3		一般財源	41,106,929	38,016,414
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
				教育施設整備基金繰入金 6,700,000円			
				米原ガンバレ！ふるさと応援寄付基金繰入金 2,748,000円			
				市民交流プラザ施設等使用料 1,531,800円			
				市民交流プラザラウンジ共益費 120,000円			
				市民交流プラザ管理経費負担金 4,376,153円			
				市民交流プラザ自主事業入場料 1,371,700円			
				私用消耗品・印刷等諸収入 132,700円			
				りれーピアノ参加者負担金 69,000円			
事業コスト		事業費		人件費(0.90 人 役)		計	
決 算 額		64,549 千円		6,347 千円		70,896 千円	
市民1人当たり(38,455 人)		1,679 円		165 円		1,844 円	
事業の目的および内容							
(1) 市民交流プラザ(ルッチプラザ)は、市民の文化活動、生涯学習、健康福祉サービスを通じて様々な交流ができる市民協働活動の拠点施設としての機能の充実を目指し、自主事業および貸館業務の質的向上に努めます。							
(2) ベルホール310は、県内屈指の音楽専門ホールという特徴から、文化情報の発信拠点として重要な地域資源であるという認識の下、地域の音楽文化の向上を目指し、りれーピアノ発表会や自主公演などを企画、実施します。							
(3) 市民交流プラザの施設や設備の適切な維持管理に努め、経年劣化に伴う設備の改修や修繕を行い、利用者の利便性の向上を図ります。							
事業の実績							
市民交流プラザの管理運営および自主企画事業を実施しました。							
(1) 管理運営							
①会計年度任用職員報酬等(4人分)						6,597,338 円	
②燃料費、光熱水費(電気、ガス、水道、下水道代)						14,093,573 円	
③管理委託料(清掃、機械設備保守点検、夜間管理代行)						10,890,558 円	
④公演委託料						7,325,700 円	
⑤施設改修費(グランドピアノ、ホールスピーカー、バルク貯槽、トイレ等)						18,324,558 円	
⑥備品購入費(業務用食器洗浄機、サーモグラフィー発熱測定器等)						1,330,010 円	
⑦その他(通信運搬費、使用料、補助金等)						5,987,545 円	
(2) 自主事業(公演事業)							
①年間10回の事業実施(令和元年度15回)							
入場者数 1,378人(令和元年度3,475人 対前年度増減率▲60.3%)							
②入場料収入 1,371,700円(令和元年度2,001,420円)							
No.	開催日	イベント名					入場者数(人)
1	10月17日	グランドピアノリニューアル記念コンサート					135
2	10月31日	こどもオペラ(ホールサポーター企画事業)					165
3	11月14日	人形劇「ひょっこりひょうたん島」					117
4	11月21日	ジェイコブ・コーラーピアノコンサート					141

事業番号		21	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
		目	1 社会教育総務費
事業名	継続	市民交流プラザ管理運営事業	
事業の実績		主管課	教育委員会 生涯学習課

5	1月31日	月亭一門による落語会	160
6	2月28日	まいばら音楽祭	145
7	3月7日	東儀秀樹トーク&ライブ	120
8	3月20日	ヒビキpianoピアノコンサート	120
9	3月21日	内村周子講演会	50
10	3月27日、28日	第40回りれーピアノ発表会	270

(3) 貸館事業
 令和2年度ホール利用件数（貸館）147回 利用者数（貸館）9,362人
 （令和元年度ホール利用件数（貸館）218回 利用者数（貸館）16,591人 対前年度増減率▲43.6%）

(4) ベルホール310、スタジオ稼働率

	開館 日数	ホール		スタジオ	
		稼働日数	稼働率（%）	稼働日数	稼働率（%）
4月	15	4	26.7	3	20.0
5月	11	0	0.0	0	0.0
6月	25	4	16.0	9	36.0
7月	27	7	25.9	12	44.4
8月	26	11	42.3	14	53.8
9月	26	14	53.8	17	65.4
10月	27	24	88.9	19	70.4
11月	25	17	68.0	18	72.0
12月	24	20	83.3	18	75.0
1月	24	14	58.3	11	45.8
2月	24	20	83.3	14	58.3
3月	26	12	46.2	15	57.7
合計	280	147	52.5	150	53.6

令和元年度	309	218	70.6	223	72.2
-------	-----	-----	------	-----	------

(5) ベルホール310サポーターミーティング活動事業補助 700,000円
 ①自主事業公演の運営協力
 ②サポーター企画、こどもオペラの実施

(6) グランドピアノオーバーホール
 グランドピアノ（スタインウェイ）のオーバーホールを実施し、リニューアルされたグランドピアノの記念コンサートを開催しました。



【グランドピアノオーバーホール】

(7) 第1回まいばら音楽祭開催 入場者145人
 ジャンルの垣根を超えて、合唱や楽器の演奏など、市内外から13組52人の参加がありました。


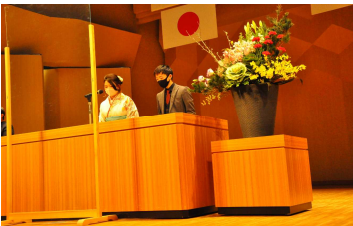


【第1回まいばら音楽祭】



事業番号		21	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
		目	1 社会教育総務費
事業名		継続	市民交流プラザ管理運営事業
		主管課	教育委員会 生涯学習課
事業の成果			
<p>(1) 検温、手指の消毒、換気の励行、ソーシャルディスタンスに配慮した座席数の制限(183席)等の新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、年間10回の自主企画事業を実施し、文化振興を図りました。また、初めての試みとして、まいばら音楽祭を開催し、市内外の多くの参加者と、音楽を通じて交流を深めることができました。</p> <p>(2) 開館から20年間使用してきたグランドピアノ(スタインウェイ)のオーバーホールやバルク貯槽(ガス設備)を更新し、また、利用者の利便性や安全性の向上を図ることができました。</p> <p>(3) サーモグラフィー発熱測定器の購入や、トイレの非接触型への改修工事により、施設の新型コロナウイルス感染症の対策強化を図りました。</p>			
指標を示している資料名		成果指標名	目標値(3年度)
第2期米原市教育振興基本計画		米原市市民意識調査「生涯学習の推進」の満足度	85%
			現状値(2年度)
			R2年度: — R3年度: 85.7%
評価		評価の理由	
C		<p>新型コロナウイルス感染症拡大の中、施設の臨時休館や活動の自粛等がありましたが、感染症対策を講じながら、各種事業を開催することができました。また、施設や設備の改修・修繕を行い、利用者の利便性や安全性を高めることができたことから、評価を「C」としました。</p>	
事業の課題と今後の取組			
<p>施設等の老朽化が進み、計画的な施設・設備の改修・更新が必要になっており、長寿命化計画に基づき、適切な施設の維持管理に努めて行きます。</p> <p>市民の文化活動、生涯学習、健康福祉サービスを通じて様々な交流ができるよう市民協働活動の拠点施設としての機能の充実を目指し、自主事業および貸館業務の質的向上に努めます。</p>			

事業番号		22	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	1 社会教育総務費		
事業名	継続	伊吹薬草の里文化センター管理運営事業	
主管課		教育委員会 生涯学習課	
事業費(円)	2年度	元年度	財源内訳(円)
予算額	113,456,000	58,392,000	国 費
うち繰越	0	0	県 費
決算額	98,555,679	57,118,870	市 債
うち繰越	0	0	そ の 他
執行率(%) / 増減率(%)	86.9 +72.5	97.8	一般財源
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)		その他の内訳(2年度)	
②照明設備の改修など、大規模な施設改修を行ったため。			
事業コスト		事業費	人件費(0.35 人 役)
決 算 額		98,556 千円	2,468 千円
市民1人当たり (38,455 人)		2,563 円	64 円
利用者1人当たり (39,727 人)		2,481 円	62 円
計			
101,024 千円			
市民1人当たり (38,455 人)			
2,627 円			
利用者1人当たり (39,727 人)			
2,543 円			
事業の目的および内容			
<p>市民の生涯学習やサークル活動を支援するために、研修室、図書室、薬草風呂、ジョイホールなどを備えた伊吹薬草の里文化センターの管理運営について、市民等がより利用しやすい施設運営を目指し、指定管理者による施設の運営を行います。</p>			
事業の実績			
<p>(1) 指定管理者により、施設の管理および各種事業の展開を行いました。 緊急事態宣言下での休館や新型コロナウイルス感染症対策のため、講座、薬草風呂の営業中止や貸館利用の自粛により利用者数が減少しました。 伊吹薬草の里文化センター指定管理委託料 53,338,000円 指定管理者：(公財)伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 利用者数：25,539人(令和元年度 53,309人 対前年度増減率 ▲52.1%) 公民館講座 30種類 延べ82回開講 薬草風呂、いぶき図書室の管理運営 薬草風呂利用者：14,188人(令和元年度 23,885人 対前年度増減率 ▲40.6%)</p>			
<p>(2) 施設設備改修事業 設計監理委託料 1,109,900円 (照明改修、スロープ設置、トイレ改修設計) 照明設備改修工事 33,597,300円 スロープ設置工事 4,615,380円 トイレ改修工事 4,905,120円</p>			
<p>(3) 施設備品購入 サーモグラフィー発熱測定器 342,760円</p>			
 <p>【車椅子対応スロープ】</p>			

事業番号		22	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
		目	1 社会教育総務費
事業名	継続	伊吹薬草の里文化センター管理運営事業	
		主管課	教育委員会 生涯学習課
事業の成果			
<p>(1) 指定管理者による施設管理運営により、地域の特色を生かした文化振興、健康づくりの促進、生涯学習の推進が図れました。</p> <p>(2) トイレの非接触型への改修、サーモグラフィー発熱測定器の設置等の新型コロナウイルス感染症の対策を行い、コロナ禍でも講座等を行えるよう工夫し、事業運営を行うことができました。</p> <p>(3) ホールのスロープ改修工事により、利用者の利便性が向上しました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（2年度）
第2期米原市教育振興基本計画	米原市民意識調査「生涯学習の推進」の満足度	85%	R2年度：－ R3年度：85.7%
第2期米原市教育振興基本計画	公民館・生涯学習センター利用者数	166,500人	83,302人
評価	評価の理由		
C	<p>新型コロナウイルス感染症対策による施設の臨時休館や活動の自粛等により、利用者は目標値を下回る結果となりましたが、施設や設備の改修・修繕を行い、利用者の利便性や安全性を高めることができたこと、地域の実情、時代のニーズを的確に捉えた幅広い事業を実施することで、地域文化の振興や生涯学習の機会を提供することができたことから、評価を「C」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>施設等の老朽化が進み、計画的な施設・設備の改修・更新が必要になっており、長寿命化計画に基づき、適切な施設の維持管理に努める必要があります。</p> <p>令和3年度から学びあいステーションに変更しており、各施設の機能を生かした取組を展開するなど、より使いやすい、親しみやすい施設運営を行います。</p>			

事業番号		23	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	2 青少年育成費		
事業名		次代を担う青少年育成事業	
継続		主管課	
		教育委員会 生涯学習課	
事業費(円)	2 年度	元年度	財源内訳(円)
予算額	803,000	806,000	国 費
うち繰越	0	0	県 費
決算額	339,458	698,603	市 債
うち繰越	0	0	そ の 他
執行率(%) / 増減率(%)	42.3 ▲ 51.4	86.7	一般財源
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)		その他の内訳(2年度)	
①② 成人式について、県立文化産業交流会館から会場を変更し、市民交流プラザで行ったため。			
事業コスト		事業費	人件費(0.30 人役)
決 算 額		339 千円	2,116 千円
市民1人当たり(38,455 人)		9 円	55 円
新成人1人当たり(437 人)		776 円	4,842 円
計			
2,455 千円			
64 円			
5,618 円			
事業の目的および内容			
新成人の明るい未来と新しい門出を祝福する場として成人式を開催します。			
事業の実績			
<p>新成人の新しい門出を祝福する場として、今後の人生への希望や決意とともに、大人としての責任感や社会貢献について認識してもらう場として、成人式を開催しました。</p> <p>新成人者の有志により実行委員会を組織し、企画運営を行いました。コロナ禍での開催に向けて例年と内容を変更し、2部制で行うとともに、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、集合写真撮影や交歓会については中止し、代わりに記念品を作成しました。</p> <p>①実行委員会の開催 2回(実行委員22人) 日時：令和3年1月10日(午後からの2部制) 場所：市民交流プラザ 対象者数：437人(令和元年度426人) 参加人数：356人(令和元年度333人) (うち1部 178人、2部 178人) 参 加 率：81.5%(令和元年度78.2%)</p> <p>②成人式の開催</p> <p>【式典内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> オープニングアトラクション(ピアノ演奏) 市長式辞 来賓祝辞 二十歳のメッセージ(新成人代表) 思い出アルバムの上映 			
			
【感染防止対策を講じた会場】		【二十歳のメッセージ】	

事業番号		23	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	2 青少年育成費		
事業名	継続	次代を担う青少年育成事業	
事業の成果		主管課	教育委員会 生涯学習課
<p>(1) 例年と会場を変更し、2部制による分散型開催やソーシャルディスタンスに配慮した会場の設営、マスク着用などの新型コロナウイルス感染症の対策を行うなど、コロナ禍における成人式の開催に向けて工夫を行い、昨年を上回る新成人に参加していただくことができました。</p> <p>(2) 新成人の有志による企画会議を行い、新成人主体の成人式を開催することができました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（2年度）
第2期米原市教育振興基本計画	米原市民意識調査「生涯学習の推進」の満足度	85%	R2年度：－ R3年度：85.7%
評価	評価の理由		
B	<p>成人式については、企画運営では新成人の有志による実行委員会が主体となって開催することができたことや、新型コロナウイルス感染症の拡大の中、会場や運営方法を見直し、感染症対策を講じながら安全に開催することができたことから、評価を「B」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>式典では、手話通訳、要約筆記、託児支援など合理的配慮を行いながら、誰もが参加しやすい成人式とする工夫が必要です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症下においては、新成人の意見を取り入れ、引き続き感染症対策を講じながら事業を進めます。</p>			

事業番号		24					
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	3 公民館費	主管課	教育委員会
事業名	継続	公民館管理運営事業					生涯学習課
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	136,520,000		102,660,000		国 費	9,007,000	0
うち繰越	0		0		県 費	0	0
決算額	112,200,356		102,411,135		市 債	300,000	0
うち繰越	0		0		そ の 他	0	0
執行率(%) / 増減率(%)	82.2	+9.6	99.8		一般財源	102,893,356	102,411,135
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
事業コスト			事業費		人件費(0.75 人 役)	計	
決 算 額			112,200 千円		5,289 千円	117,489 千円	
市民1人当たり(38,455 人)			2,918 円		138 円	3,056 円	
利用者1人当たり(57,763 人)			1,942 円		92 円	2,034 円	
事業の目的および内容							
(1) 公民館は、地域住民の身近な学びの場として、生涯を通じて学び続ける意欲に応え、地域づくりやコミュニティ活動の拠点としての役割も果たしながら、地域の活性化を図っています。							
(2) 指定管理者制度を導入し、地域性を生かした使いやすい施設とするため、地域に密着した団体に管理運営を委託します。							
事業の実績							
(1) 指定管理者により、各施設の管理および各種事業の展開を行いました。緊急事態宣言下での休館や新型コロナウイルス感染症防止対策のため、貸館利用の自粛等により利用者数が減少しました。							
①米原公民館 指定管理委託料 29,848,000円 指定管理者：NPO法人FIELD 利用者数：20,761人（令和元年度 40,651人 対前年度増減率▲48.9%） 事業：こども造形教室、英語教室、民俗学講座、着付け教室、認知症予防講座 ほか 【実績】講座：23種類 延べ232回開講							
②近江公民館 指定管理委託料 36,086,000円 指定管理者：NPO法人おうみ地域人権・文化・スポーツ振興会 利用者数：26,306人（令和元年度 34,567人 対前年度増減率▲23.9%） 事業：硬筆講座、フラワーアレンジメント講座、脳トレ講座、和太鼓教室、地域の伝統料理教室 ほか 【実績】講座：16種類 延べ227回開講							
③山東公民館 指定管理委託料 30,421,000円 指定管理者：NPO法人カモンスポーツクラブ 利用者数：10,696人（令和元年度17,698人 対前年度増減率 ▲39.6%） 事業：子ども将棋教室、料理教室、パソコン講座、写真教室、寄せ植え講座ほか 【実績】講座：15種類 延べ297回開講							
(2) 施設設備修繕 9,774,400円 トイレ改修工事（近江、山東） 6,676,800円 近江公民館可動席修繕工事 1,463,000円 山東公民館照明設備改修工事 1,634,600円							
(3) 施設備品購入 2,513,280円 山東公民館除雪機 1,485,000円 サーモグラフィー発熱測定器 1,028,280円							
							
				【サーモグラフィー発熱測定器】		【トイレ改修】	

事業番号		24	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	3 公民館費		
事業名	継続	公民館管理運営事業	
主管課		教育委員会 生涯学習課	
事業の成果			
<p>(1) 指定管理者による施設管理運営により、地域の団体や事業者など多様な主体と連携しながら、ニーズを的確に捉え、各公民館の特色を生かした学習機会を提供できました。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の対策を行い、コロナ禍でも講座等を行えるよう工夫し、事業運営を行うことができました。</p> <p>(3) サーモグラフィー発熱測定器の購入や、トイレの非接触型への改修工事により、施設の新型コロナウイルス感染症の対策を強化しました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（2年度）
第2期米原市教育振興基本計画	米原市民意識調査「生涯学習の推進」の満足度	85%	R2年度：－ R3年度：85.7%
第2期米原市教育振興基本計画	公民館・生涯学習センター利用者数	166,500人	83,302人
評価	評価の理由		
C	<p>新型コロナウイルス感染症対策による施設の臨時休館や活動の自粛等により、利用者は目標値を下回る結果となりましたが、施設や設備の改修・修繕を行い、利用者の利便性や安全性を高めることができました。地域の実情、時代のニーズを的確に捉えた幅広い事業を実施することで、地域文化の振興や生涯学習の機会を提供することができたことから、評価を「C」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>施設等の老朽化が進み、計画的な施設・設備の改修・更新が必要になっており、適切な施設の維持管理に努める必要があります。</p> <p>令和3年度から学びあいステーションに変更しており、各施設の機能を生かした取組を展開するなどより使いやすい、親しみやすい施設運営を行います。</p>			

事業番号		25									
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	5 文化財保護費	主管課	教育委員会				
事業名	継続	文化財保護事業					生涯学習課				
事業費(円)		2 年度		元年度		財源内訳(円)		2 年度		元年度	
予算額		35,023,000		30,289,000		国 費		5,211,000		3,901,364	
うち繰越		0		3,000,000		県 費		125,000		121,000	
決算額		32,389,130		28,044,750		市 債		0		0	
うち繰越		0		3,000,000		そ の 他		16,794,600		11,391,500	
執行率(%) / 増減率(%)		92.5 +15.5		92.6		一般財源		10,258,530		12,630,886	
①執行率80%以下/②増減率±50%以上の理由(2年度)						その他の内訳(2年度)					
						社会教育事業関係受講料 112,900円					
						地域の絆でまちづくり基金繰入金 14,450,000円					
						米原ガンバレ！ふるさと応援寄付基金繰入金 1,320,000円					
						伊吹山山頂植物群落整備事業協力金 911,700円					
事業コスト				事業費		人件費(3.30 人 役)		計			
決 算 額				32,389 千円		23,272 千円		55,661 千円			
市民1人当たり(38,455 人)				842 円		605 円		1,447 円			
事業の目的および内容											
各種文化財調査、指定文化財の維持管理や修理などを実施することで、米原市に伝わる数多くの文化財の保護および活用を図ります。											
事業の実績											
(1) 萬留帳翻刻調査事業 2,443,236円											
江戸時代から約300年間にわたり柏原宿などの様々な出来事を記録した貴重な資料である萬留帳(よろずとめちょう)について、保存と活用を図るため翻刻調査を実施しました(原本69冊全巻をデータベース化済)。											
萬留帳翻刻調査報告書 第4巻刊行：400部											
(2) 文化財保護保存活動補助金 14,450,000円											
まちの歴史や文化を次代に引き継ぐため、国・県・市指定文化財の維持管理、伝承活動、修理等に係る事業費に対し、関係団体に補助金を交付しました(米原曳山祭保存会 外21団体)。											
(単位：円)											
団体名				事業名				金額			
米原曳山祭保存会				曳山祭保存会の伝承活動				900,000			
				米原曳山祭壽山の山車修理				920,000			
青岸寺				国名勝青岸寺庭園の保護活用				200,000			
鴨と蛸の里づくりグループ				ゲンジボタルおよび三島池のカモの調査研究事業				200,000			
上平寺推進委員会京極氏戦国浪漫倶楽部				上平寺城跡参道整備事業				150,000			
弥高さつま会				弥高寺跡維持管理事業				150,000			
湿原を考える会				山室湿原整備、活用事業				95,000			
徳源院				徳源院三重塔および庭園の保護活用				98,000			
筑摩自治会				鍋冠祭保存会の伝承活動				80,000			
大久保の史跡を守る会				市史跡長尾寺跡の保護活用				60,000			
観音寺				重要文化財観音寺の保護活用				60,000			
				市指定観音寺本坊緊急保存修理				711,000			
福田寺				国名勝福田寺庭園の保護活用				42,000			
				県指定福田寺御殿の保存修理				9,209,000			
流星保存会				流星打上げの維持管理活動				38,000			
番場の歴史を知り明日を考える会				国史跡鎌刃城跡の保護活用				30,000			

事業番号		25	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	5 文化財保護費		
事業名		継続	文化財保護事業
主管課		教育委員会 生涯学習課	
事業の実績			
			(単位：円)
団体名	事業名	金額	
井之口自治会	井之口太鼓踊保存会の伝承活動	34,000	
柏原学区史跡保存会	国史跡北畠具行卿墓の保護活用	15,000	
志賀谷自治会	華の頭のオコナイの伝承活動	15,000	
清滝自治会	清滝の大松明の伝承活動	30,000	
来照寺	県名勝来照寺庭園の保存活用	12,000	
松浦家	市指定松浦家住宅屋根修理	1,002,000	
西山自治会	市指定八幡神社杉並木の保存措置	104,000	
成光寺	成光寺自動火災報知設備取替工事	55,000	
伊吹山奉納太鼓踊保存会	伊吹山奉納太鼓踊の鉦の新調	240,000	
<p>(3) 文化財保存活用地域計画策定事業等 1,651,876円</p> <p>市内に所在する文化財およびその周辺の総合的な保存・活用等を図るため、3か年をかけて文化財保存活用地域計画の策定を行います。(1年目)</p> <p>①策定委員会の開催 2回(7月30日、3月2日)</p> <p>②調査事業</p> <p>米原・近江地域における文化財の把握調査を行い、美術工芸品や建造物など、米原地域にて405件、近江地域にて913件のデータ化を実施しました。</p> <p>市内自治会宛に歴史・文化・自然に関するアンケートを実施し、63自治会から、計973件の情報提供がありました。</p> <p>③シンポジウムの開催</p> <p>鎌刃城まつりの開催(12月6日) 参加者：50人</p> <p>文化財シンポジウム「息長氏の黎明」の開催(3月13日)</p> <p>(場所：近江公民館 参加者数：102人)</p> <p>(4) 文化財発掘調査事業 3,787,960円</p> <p>市内史跡等の調査</p> <p>①国史跡指定を目指して長比城跡・須川山砦跡の立体地図の作成を行いました。また、須川山砦跡の発掘調査等を行いました。京極氏館跡については、6月に濫掘を受けたため、その復旧に伴って測量調査を実施しました。</p> <p>京極氏館跡庭園測量調査</p> <p>須川山砦跡発掘調査説明会 7月26日</p> <p>須川山砦跡発掘調査速報展 9月12日～10月25日</p> <p>(場所：近江はにわ館 入場者数：51人)</p> <p>②市道顔戸八田羽織線新設改良工事に伴う顔戸遺跡の発掘調査を実施しました。</p> <p>(5) 旧常喜医院耐震診断等調査業務 1,320,000円</p>			



【須川山砦跡発掘現場】

事業番号		25	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	5 文化財保護費		
事業名		継続	文化財保護事業
		主管課	教育委員会 生涯学習課
事業の成果			
<p>(1) 萬留帳翻刻調査事業は、保存と活用に向けてのデータ保存や内容把握などの基礎資料の蓄積と、報告書の刊行を実施し、市内外に向けて柏原宿の持つ歴史や魅力を発信することができました。</p> <p>(2) 文化財保護保存活動を支援することにより、貴重な指定文化財等を次代に引き継ぐための維持管理、伝承、修理活動に対する一助となりました。</p> <p>(3) 市内に所在する文化財およびその周辺の総合的な保存・活用等を図るため、文化財保存活用地域計画の策定を行い、米原・近江地域を中心とした文化財に関する把握を行いました。また、シンポジウムを開催し、計画策定の周知と、文化財に関する情報発信に努めました。</p> <p>(4) 長比城跡の赤色立体図の作成を行い、現況を把握するとともに、須川山砦跡の発掘調査を実施しました。須川山砦の調査成果として、須川山砦跡発掘調査説明会および須川山砦跡発掘調査速報展を開催し、遺跡の価値と発掘調査の成果について市内外へ向けて周知を行いました。また、市道顔戸八田羽織線新設改良工事に伴う顔戸遺跡の発掘調査では、堅穴建物や溝等を検出し、貴重な発掘となりました。</p> <p>(5) 旧常喜医院の保存と公開を実施するため、耐震診断等調査を行い、今後の利活用に向けて検討を進めました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（2年度）
第2期米原市教育振興基本計画	文化財補助事業申請件数	25件	28件
第2期米原市教育振興基本計画	米原市市民意識調査「歴史・文化の継承と活用」	88%	R2年度：－ R3年度：87.7%
評価	評価の理由		
B	<p>歴史文化を次代に引き継ぐための各種事業の適切な運用や支援等を行うことができました。また、市内にある様々な文化財の把握に努め、それらを活用するための計画策定の周知を図るとともに、新たな文化財の利活用に向けた取組が実施できました。さらに、各種調査、発掘調査を進めることができ、その成果報告や紹介など情報発信ができたことから、評価を「B」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>数多くの文化財を次代に引き継ぐため修理等を進めています。今後、破損等が進行しているものもあるため、現地調査などで現状を把握した上で、所有者（管理者）と協議・調整しながら、早期の保存修理に努めます。</p>			

事業番号		26					
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	5 文化財保護費	主管課	教育委員会
事業名	継続	文化財施設管理運営事業					生涯学習課
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	23,378,000		23,544,000		国 費	0	0
うち繰越	0		0		県 費	0	0
決算額	22,652,752		22,924,020		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	623,557	815,925
執行率(%) / 増減率(%)	96.9	▲ 1.2	97.4		一般財源	22,029,195	22,108,095
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
				柏原宿歴史館入館料・使用料 249,480円			
				柏原宿歴史館施設管理経費負担金 133,607円			
				公衆・私用電話使用料等 2,870円			
				社会教育事業関係受講料 237,600円			
事業コスト		事業費		人件費(1.50 人 役)		計	
決 算 額		22,653 千円		10,578 千円		33,231 千円	
市民1人当たり(38,455 人)		589 円		275 円		864 円	
利用者1人当たり(7,582 人)		2,988 円		1,395 円		4,383 円	
事業の目的および内容							
市民が気軽に歴史に親しむことができる場を提供するため、各館の特徴を生かしながら管理運営を行います。							
事業の実績							
(1) 指定管理者に管理運営を委託しました。							
① 醒井宿資料館 4,484,061円							
(うち指定管理委託料 3,245,910円)							
指定管理者：醒井自治会							
年間施設入館者数 676人(令和元年度 919人)							
② 伊吹山文化資料館(一部指定管理) 9,469,062円							
(うち指定管理委託料 9,140,000円)							
指定管理者：公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団							
年間施設入館者数 5,542人(令和元年度 5,946人)							
企画展 7回、歴史アカデミー 11回、							
【自主事業】古文書講座 8回、体験教室 15回							
(2) 直営により管理運営を実施しました。							
柏原宿歴史館 5,683,979円							
(会計年度任用職員報酬等 3,756,172円、その他運営費 806,057円)							
年間施設入館者数 1,364人(令和元年度 2,248人)							
常設展示、関連事業の開催							
旧常喜医院伝来の至宝展Ⅱ(9月13日～10月11日)							
場所：近江はにわ館 入場者数：379人							
旧常喜医院一般公開(11月21日) 来館者数：37人							
(3) 柏原宿歴史館照明設備および空調改修工事 2,488,750円							
シアター室、展示室1、2階の改修および、喫茶「柏」空調設備の改修							



【伊吹山文化資料館体験教室】



【旧常喜医院一般公開】



【伊吹山文化資料館体験教室】



【旧常喜医院一般公開】

事業番号		26	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
		目	5 文化財保護費
事業名		継続	文化財施設管理運営事業
		主管課	教育委員会 生涯学習課
事業の成果			
<p>(1) 各館の特徴を生かした事業を中心に、歴史に親しんでもらう場を提供できました。</p> <p>(2) 柏原宿歴史館では柏原宿関連の古文書や歴史資料などの解説や展示、伊吹山文化資料館では伊吹山地とその山麓の自然と文化、醒井宿資料館では醒井宿関連の絵図を展示するなど、米原とのつながりをテーマにした企画展等を開催し、市内外へ米原の魅力を発信することができました。</p> <p>(3) 調査を進めている旧常喜医院伝来の資料について、近江はにわ館を会場として企画展の開催を行うとともに、旧常喜医院の公開を実施し、旧常喜医院についての情報発信に努めました。</p> <p>(4) 柏原宿歴史館の照明設備改修工事等の実施により、入館者の利用環境の改善を図りました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（2年度）
第2期米原市教育振興基本計画	歴史講座受講者数	70人	48人
第2期米原市教育振興基本計画	歴史イベント開催回数	15回	9回
評価	評価の理由		
C	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、講座の中止や延期などが余儀なくされ、目標値を下回る結果となりました。その中で、感染症対策を講じながら、各館の特徴を生かした企画展を開催するなど歴史を親しむ機会を提供することができました。また、施設や設備の改修等の実施により、施設環境の改善および利用環境の改善を図ることができたことから評価を「C」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>施設等の老朽化が進み、計画的な施設・設備の改修・修繕等が必要であり、各館の環境整備に努めます。また、米原市の魅力を更に広く発信し、歴史に親しむことができる場の提供に努めます。</p>			

事業番号		27					
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費	主管課	教育委員会 生涯学習課
事業名	継続	図書館管理運営事業					
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	58,730,000		52,630,000		国 費	2,655,000	0
うち繰越	0		0		県 費	0	0
決算額	56,511,135		50,775,145		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	24,410	54,972
執行率(%) / 増減率(%)	96.2	+11.3	96.5		一般財源	53,831,725	50,720,173
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)					その他の内訳(2年度)		
					私用消耗品・印刷・地図等収入 22,350円		
					公衆・私用電話使用料等 2,060円		
事業コスト			事業費		人件費(4.50 人 役)	計	
決 算 額			56,511 千円		31,734 千円	88,245 千円	
市民1人当たり(38,455 人)			1,470 円		825 円	2,295 円	
事業の目的および内容							
(1) 図書館サービス基本理念に基づき、誰もが身近に利用できる文化および情報拠点としての図書館運営に努めるとともに、幼少期からの本との出会いを大切に「家族みんなで読書」の推進に努めます。							
(2) 子どもの読書活動推進のため、子ども読書活動推進計画(第3次)の策定に向けて検討、協議するとともに、市民力のある図書館として、ボランティアと連携するなど市民との協働に努めます。							
事業の実績							
(1) 山東・近江図書館管理運営事業							
		山東図書館			近江図書館		
図書購入費		4,899,813円			4,297,930円		
会計年度任用職員給料等		14,341,911円			13,560,098円		
貸出冊数		134,433冊 (対前年度増減率 ▲31.5%)			123,963冊 (対前年度増減率 ▲31.3%)		
蔵書冊数(令和3年3月末現在)	図書	146,615冊			142,020冊		
	視聴覚資料	2,105点			—		
除籍冊数	図書	3,834冊			3,136冊		
	視聴覚資料	9点			—		
利用者数		2,844人 (対前年度増減率 ▲29.5%)			2,558人 (対前年度増減率 ▲25.5%)		
予約・リクエスト件数		7,682件			11,575件		
レファレンス件数		1,564件			620件		
その他		蔵書点検実施(1月、2月)、ブックスタート(毎月)、各種イベントなど					
(2) 子ども読書活動推進計画(第3次)について図書館協議会等で検討および協議し、令和3年1月に策定しました。							
(3) 図書館サービス基本計画(第2次)の策定に向け、利用者アンケート等の結果から、現状の課題などの整理を行い、図書館協議会で検討および協議を行いました。							
(4) 市民が求める資料を提供するため、貸出しとレファレンスに力を入れ、蔵書管理等を行う図書館システムについて、クラウド方式を導入しました。							

事業番号		27	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	4 図書館費		
事業名		継続	図書館管理運営事業
		主管課	教育委員会 生涯学習課
事業の実績			
<p>(5) 新型コロナウイルス感染症対策として、図書消毒機やサーモグラフィー発熱測定器の設置をはじめ、返却本の消毒や定期的な館内の消毒、返却ポストの24時間利用可、電話での貸出延長可などの対策を講じ、安心して利用ができるよう取り組みました。</p> <p>(6) スティホームを促し、おうち時間を楽しむための本を紹介するなど、コロナ禍の暮らしに寄り添う資料の提供に努めました。</p>			
			
【図書消毒機】		【おうち時間応援特集】	
事業の成果			
<p>(1) 図書館システムの更新により、より安全に蔵書や利用者情報等を管理できるようになりました。また、ウェブサイトの機能を更新し、インターネットサービスについて周知したことで利用者の利便性が向上しました。</p> <p>(2) 計画的に資料の購入と除籍を行い、利用者に魅力のある蔵書を構築することができました。 蔵書更新率：4.6% （前年度：3.2%）</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症防止の観点から、図書消毒機とサーモグラフィー発熱測定器の設置や、返却本の消毒、定期的な館内の消毒等を行うなどの対策を講じ、より安全に図書館を利用できる環境を整備しました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（2年度）
第2期米原市教育振興基本計画	市民1人当たり図書館貸出冊数	12冊	6.7冊
第2期米原市教育振興基本計画	図書館の児童書貸出冊数	171,000冊	99,975冊
米原市立図書館サービス基本計画	職員対応満足度	90%	67.1%
評価	評価の理由		
C	<p>図書館システムのおうみ自治体クラウドへの移行により、蔵書や利用者情報等を安全に管理できるようにしたことや、ウェブサイトの機能を更新し、インターネットサービスの周知により利用者の利便性を向上することができました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の中、感染症対策を講じ利用者の安全性を高めることができ、他市の図書館が臨時休館する中、最後まで開館に努めたことから、評価を「C」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>図書館サービス基本計画（第2次）を策定し、より誰もが身近に利用できる文化および情報拠点としての図書館運営に努めます。</p> <p>子どもの読書について、家庭、学校・園、図書館等が連携し、家族みんなで読書の推進を図る必要があります。</p>			

事業番号		28					
款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	2 体育施設費	主管課	教育委員会
事業名	継続	体育施設管理運営事業					スポーツ推進課
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	174,345,000		66,385,000		国 費	2,529,000	0
うち繰越	0		0		県 費	0	0
決算額	71,449,136		64,952,617		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	5,303,800	54,100
執行率(%) / 増減率(%)	41.0	+10.0	97.8		一般財源	63,616,336	64,898,517
①執行率80%以下/②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
① 国の補正予算に伴う事業実施により、市民体育館改修工事を令和3年度に繰り越したため。 ＜令和3年度への繰越額＞ 100,600,000円				ウッドピアいぶき使用料 11,400円 番場多目的広場使用料 92,400円 教育施設整備基金繰入金 5,200,000円			
事業コスト		事業費		人件費(2.20 人役)		計	
決 算 額		71,449 千円		15,514 千円		86,963 千円	
市民1人当たり(38,455 人)		1,858 円		403 円		2,261 円	
利用者一人当たり(98,258 人)		727 円		158 円		885 円	
事業の目的および内容							
誰もが身近で安心、安全にスポーツができるよう、市内体育施設の維持管理に努めます。							
事業の実績							
(1) 指定管理者に社会体育施設の管理運営を委託しました。							
①山東グラウンド、市民体育館：NPO法人カモンスポーツクラブ				3,126,000 円			
グラウンド		5,761 人	(令和元年度 12,286 人 対前年度 ▲ 53.1 %)				
体育館		8,726 人	(令和元年度 13,227 人 対前年度 ▲ 34.0 %)				
②すばーく米原、米原野球場、息郷体育館：NPO法人MOSスポーツクラブ				9,174,000 円			
すばーく米原		10,589 人	(令和元年度 13,193 人 対前年度 ▲ 19.7 %)				
野球場		2,704 人	(令和元年度 3,116 人 対前年度 ▲ 13.2 %)				
体育館		1,227 人	(令和元年度 909 人 対前年度 35.0 %)				
③近江グラウンド：NPO法人おうみ地域人権・文化・スポーツ振興会				1,042,000 円			
グラウンド		4,266 人	(令和元年度 5,739 人 対前年度 ▲ 25.7 %)				
④双葉総合体育館：一般社団法人近江スポーツクラブ				12,488,000 円			
体育館		17,229 人	(令和元年度 18,393 人 対前年度 ▲ 6.3 %)				
⑤山東B&G海洋センター：株式会社スポーツプラザ報徳				16,245,000 円			
プール		24,665 人	(令和元年度 34,452 人 対前年度 ▲ 28.4 %)				
体育館		7,197 人	(令和元年度 7,740 人 対前年度 ▲ 7.0 %)				
⑥伊吹B&G海洋センター、伊吹第1・第2グラウンド、伊吹テニスコート ：公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団				15,043,000 円			
プール		621 人	(令和元年度 3,188 人 対前年度 ▲ 80.5 %)				
第1グラウンド		11,058 人	(令和元年度 29,839 人 対前年度 ▲ 62.9 %)				
第2グラウンド		2,893 人	(令和元年度 10,844 人 対前年度 ▲ 73.3 %)				
テニスコート		1,322 人	(令和元年度 1,968 人 対前年度 ▲ 32.8 %)				

事業番号		28	
款	10 教育費	項	6 保健体育費
目	2 体育施設費		
事業名		継続	体育施設管理運営事業
主管課		教育委員会 スポーツ推進課	
事業の実績			
<p>(2) 社会体育施設の維持管理に必要な業務を行いました。</p> <p>施設維持管理委託料（河南中グラウンド、番場多目的広場等） 2,350,920 円</p> <p>修繕費（番場多目的広場エンジンポンプ修理、山東B&G海洋センタープールシート修繕ほか） 721,023 円</p> <p>(3) 社会体育施設の改修に必要な業務および工事を行いました。</p> <p>山東グラウンドシェルター設計監理委託 478,500 円</p> <p>山東グラウンドシェルター設置工事 2,915,000 円</p> <p>市民体育館改修設計委託 2,115,300 円</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染症対策備品購入</p> <p>サーモグラフィー発熱測定器（5台） 2,508,000 円</p>			
			
【山東グラウンドシェルター】		【サーモグラフィー発熱測定器】	
事業の成果			
<p>(1) 指定管理者による体育施設の適切な維持管理を行い、多様な市民ニーズに対応したスポーツ活動の場を提供することができました。</p> <p>(2) サーモグラフィー発熱測定器を購入し、より徹底した新型コロナウイルス感染症の対策を講じることにより、コロナ禍でも利用者に安心安全なスポーツ活動の場を提供することができました。</p> <p>(3) 必要に応じた施設の修繕を行い、市民が安心安全にスポーツや運動に親しむ環境づくりに努めました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値（3年度）	現状値（3年度）
第2期米原市教育振興基本計画	米原市市民意識調査「スポーツの推進」の満足度	85%	令和2年度 — 令和3年度 83.2%
評価	評価の理由		
C	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、市内体育施設にサーモグラフィー発熱測定器を設置しました。また、山東グラウンドにおいて、日差しや雨を防ぐシェルターを設置したことにより、急な悪天候時にも対応できるよう施設の利便性に努めたことから、評価を「C」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>施設の老朽化が進んでおり、誰もが安心安全にスポーツを楽しむ環境を維持するため、計画的な改修を行い、施設の長寿命化に努めます。</p>			

事業番号		29					
款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	3 体育振興費	主管課	教育委員会
事業名	継続	スポーツ推進事業					スポーツ推進課
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度
予算額	36,886,000		39,425,000		国 費	0	0
うち繰越	0		0		県 費	0	0
決算額	31,597,485		37,921,948		市 債	0	0
うち繰越	0		0		そ の 他	2,371,000	6,507,000
執行率(%) / 増減率(%)	85.7	▲ 16.7	96.2		一般財源	29,226,485	31,414,948
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)			
				地域の絆でまちづくり基金繰入金 2,371,000円			
事業コスト		事業費		人件費(1.50 人 役)		計	
決 算 額		31,597 千円		10,578 千円		42,175 千円	
市民1人当たり(38,455 人)		822 円		275 円		1,097 円	
事業の目的および内容							
<p>(1) 多様化する市民のスポーツニーズを踏まえ、生涯スポーツおよび競技スポーツの推進を図るとともに、2025年に開催される国民スポーツ大会に向け、選手や指導者の育成を行い、スポーツを通じたコミュニティを形成し、「元気と希望あふれるまちづくり」に取り組みます。</p> <p>(2) 2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、ニュージーランド国との交流を進めるとともに、スポーツ国際交流員(SEA)を配置し、英語とスポーツを通じた国際交流を図ります。</p>							
事業の実績							
<p>コロナ禍により、地域での出前講座や市内スポーツイベントが中止となる中、スポーツ推進委員が中心となって新たなスポーツイベントの企画検討を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ市民のスポーツ活動を推進するため、各総合型地域スポーツクラブや市スポーツ協会、市スポーツ少年団等の活動を支援しました。</p> <p>(1) スポーツ推進委員を中心として、若者から高齢者まで多くの市民が気軽に参加できるスポーツイベントの企画立案を行いました。また、資質向上のため、各種研修会に参加いただきました。</p> <p>スポーツ推進委員報酬(委員数:34人 / 退任1人、新規3人) 1,292,000円</p> <p>【主な活動内容】</p> <p>①スポーツイベント企画会議(年9回開催)</p> <p>②県スポーツ推進委員初任者研修会</p> <p>③県スポーツ推進委員第2地区研修会</p> <p>④全国、近畿スポーツ推進委員研究協議会(コロナ禍により中止)</p> <p>⑤その他団体との調整および協議</p> <p>(2) 市民のスポーツ推進を図るため、各種スポーツ団体へ補助金を交付し、活動支援を行いました。</p> <p>①市スポーツ協会(加盟競技団体数:18団体、加盟構成人数:1,959人) 1,572,705円</p> <p>②市スポーツ少年団(加盟数:16単位団、団員:446人、指導者:98人) 1,599,330円</p> <p>③総合型地域スポーツクラブ(市内4クラブ) 1,942,000円</p> <p>④公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 15,500,000円</p>							
名称		令和2年度		令和元年度			
		事業数	参加者(人)	事業数	参加者(人)		
いぶきスポーツクラブ		14	3,560	32	5,159		
カモンスポーツクラブ		16	6,708	30	8,327		
MOSスポーツクラブ		10	3,452	23	4,016		
近江スポーツクラブ		18	4,269	18	4,345		
(公財)伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団		18	2,979	28	3,348		

事業番号		29					
款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	3 体育振興費	主管課	教育委員会
事業名	継続	スポーツ推進事業					スポーツ推進課
事業の実績							
(3) スポーツ国際交流員（SEA）を小学校や総合型地域スポーツクラブに派遣し、スポーツ活動のアシスタントのほか、子どもたちが英会話に親しむ機会を創出しました。							
スポーツ国際交流員報酬						4,096,523円	
(4) 東京2020オリンピックにおけるニュージーランド国のホストタウンとして、ホッケー代表男子チームの事前合宿や交流に向けて次の事業を行いました。							
330,552円							
① 国の新型コロナウイルス感染症対策調整会議で示される感染対策方針に基づき、事前合宿受入れの準備に向けて、ニュージーランドホッケー代表男子チームの代表者と、メール、WEB会議で情報共有・情報交換を行いました。							
							
【田宴アート】							
② 田宴アートin高番 ニュージーランド国ホッケー代表チームをモチーフにした田んぼアートを制作しました。 ※田植えイベントはコロナ禍により中止							
③ 国内のニュージーランド国ホストタウン自治体と連携し、ニュージーランド国内イベント「Japan Festival of Wellington」におけるホストタウンPRブースの出店準備を行いました。 ※ニュージーランド国内の感染状況によりJapan Festival of Wellingtonは中止							
							
【リレーソング動画収録】							
④ 国内のニュージーランド国ホストタウン自治体と連携し、児童が参画するリレーソング動画や、各自治体の首長によるリレーメッセージ動画を作成し、2月に開催されたWEB上でのホストタウンサミット等で披露しました。							
(5) 2025年国民スポーツ大会ホッケー競技開催を見据えて、ホッケーの普及や認知度向上に取り組みました。							
① ホッケー競技普及推進事業委託料							
小学校のクラブ活動でのホッケースクール						429,000円	
スポーツクラブと連携したホッケー教室						27回	
未経験者等を対象にしたホッケー教室						1回	
スキルアップスクール						37回	
						27回	
② ホッケーアカデミー滋賀補助金							
ホッケー競技力向上に関する事業						1,000,000円	
日本リーグ出場、強化練習							
ホッケー競技普及に関する事業							
市内スーパー等でのホッケー体験イベントの開催							
ラジオ、テレビ出演による普及活動							
SNSを活用したホッケーの写真や動画の紹介							
							
【ホッケースクール】							
							
【BlueSticks SHIGAホッケーイベント】							

事業番号		29	
款	10 教育費	項	6 保健体育費
		目	3 体育振興費
事業名		継続	スポーツ推進事業
事業の成果		<p>(1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、スポーツイベントなどが中止となる中、総合型地域スポーツクラブや市スポーツ協会、市スポーツ少年団の活動を支援し、各団体がコロナ禍でも活動を継続できるよう対策や工夫を行うことで、スポーツを楽しむ機会を確保することができました。</p> <p>(2) 本市をホームタウンとするホッケーチーム「BlueSticks SHIGA」によるホッケー普及活動を通じて、市民がホッケーを知る、見る、体験する機会が増え、認知度向上につながりました。</p>	
指標を示している資料名	成果指標名	目標値(3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育振興基本計画	地域スポーツクラブ会員数	1500人	1056人
第2期米原市教育振興基本計画	体育協会加盟人数	3100人	1959人
評価	評価の理由		
C	<p>コロナ禍による影響がある中、各スポーツ団体の工夫や感染予防により、スポーツをする機会を確保することができました。</p> <p>米原市をホームタウンとする地元チームおよび米原市ホッケー協会の普及活動により、新たにホッケーを始めた人が31人になりました。このようなことから、評価を「C」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>市民意識調査の結果では、特に子育て世代や働き盛り世代などの若い世代で、週1回以上の運動・スポーツを行っていないという結果であり、健康づくりの面からも総合型スポーツクラブ等と連携し、親子や家族など誰もが運動・スポーツに親しむ機会づくりに努めます。</p>			

事業番号		30	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	2 青少年育成費		
事業名		次代を担う青少年育成事業	
継続		主管課	
		教育委員会 子育て支援課	
事業費(円)	2 年度	元年度	財源内訳(円)
予算額	4,466,000	2,121,000	国 費
うち繰越	0	0	県 費
決算額	3,415,108	1,641,698	市 債
うち繰越	0	0	そ の 他
執行率(%) / 増減率(%)	76.5 +108.0	77.4	一般財源
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)		その他の内訳(2年度)	
① 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、主要事業が中止となったため。 ② 会計年度任用職員に係る人件費の予算計上による事業費の変更のため。			
事業コスト		事業費	人件費(0.30 人 役)
決 算 額		3,415 千円	2,116 千円
市民1人当たり(38,455 人)		89 円	55 円
計			
5,531 千円			
144 円			
事業の目的および内容			
子どもが心豊かに伸び伸びと育つまちづくりを進めるため、青少年の健全育成や地域で子どもを育てる環境づくり、子どもの成長の基幹となる家庭の教育力向上のため、関係団体への活動助成を行います。 (1) 青少年育成市民会議では、定期的にあいさつ運動やパトロールを行い、子どもの見守り、安全確保、青少年の健全育成や非行防止に努めます。 (2) 子ども会育成連合会では、創作体験事業や支部事業など、各種団体と連携しながら地域での異年齢交流や体験の場を提供します。また、小学校5・6年生を対象にしたジュニアリーダー養成講習会を実施し、地域に愛着を持った次代を担うリーダーの育成に努めます。 (3) PTA連絡協議会では、家庭の教育力向上や学校、家庭、地域の連携の強化を図ります。			
事業の実績			
(1) 青少年育成市民会議 補助金 867,816円 青少年健全育成、子どもの安全確保、非行防止・環境浄化、家庭教育・子育て支援等の活動支援 ①あいさつ運動の実施：年間8回 毎回約250人参加 ②青少年育成大会：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 ③巡回パトロールの実施：年間30回以上 ④支部ごとの事業（軽スポーツ事業、創作体験事業等）を行い、体験や異世代交流の場を提供			
(2) 子ども会育成連合会 補助金 442,977円 ①ふれあいの里フェスティバル（創作体験事業） 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 ②各単位子ども会（68団体）への助成（令和元年度 73団体） ※支部事業（3支部）については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 ③ジュニアリーダー養成講習会：年間6回、延べ33人参加 ④子ども会活動実践記録「ほたる第16集」の発行 ⑤会員数：1,677人（令和元年度 1,833人）			
(3) PTA連絡協議会 市内のPTA会員の家庭の教育力向上および教育啓発事業等への活動助成 ①教育講演会：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 ②会員数：3,286人（令和元年度 3,370人）			

事業番号		30	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目		2 青少年育成費	
事業名		次代を担う青少年育成事業	
継続		主管課	
		教育委員会 子育て支援課	
事業の成果			
<p>(1) 青少年育成市民会議では、あいさつ運動や巡回パトロールを定期的を実施し、青少年の健全育成と非行防止を図ることができました。</p> <p>(2) 子ども会育成連合会では、ジュニアリーダー養成講習会を実施することで子どもの自主性と協調性を伸ばすとともに、地域への愛着心を育み、子どもたちの地域に根差したリーダーとしての自覚を高めました。</p>			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値 (3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育振興基本計画	子どもをテーマにした講演会の参加者数	300人	新型コロナウイルス感染症対応のため中止
第2期米原市教育振興基本計画	子ども会事業への参加数	500人	33人
第2期米原市教育振興基本計画	「子ども110番のおうち」設置数	350か所	328か所
第2期米原市教育振興基本計画	「子ども110番のくるま」設置数	110台	85台
第2期米原市教育振興基本計画	あいさつ運動実施率	100%	88.90%
評価	評価の理由		
C	<p>コロナ禍により、青少年育成大会・PTA教育講演会を中止しました。他の青少年育成事業については工夫をしながらおおむね実施できたことから、評価を「C」としました。</p>		
事業の課題と今後の取組			
<p>今後、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、リモートで開催するなど、講演会の手法を考える必要があります。</p>			

事業番号		31	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	2 青少年育成費		
事業名		継続	少年センター事業
主管課		教育委員会 子育て支援課	
事業費(円)	2年度	元年度	財源内訳(円)
予算額	5,361,000	2,860,000	国 費
うち繰越	0	0	県 費
決算額	5,199,823	2,514,970	市 債
うち繰越	0	0	そ の 他
執行率(%) / 増減率(%)	97.0 / +106.8	87.9 /	一般財源
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)		その他の内訳(2年度)	
② 会計年度任用職員に係る人件費の予算計上による事業費の変更のため。			
事業コスト		事業費	人件費(1.20 人 役)
決 算 額		5,200 千円	8,462 千円
市民1人当たり (38,455 人)		135 円	220 円
計			
13,662 千円			
355 円			
事業の目的および内容			
<p>(1) 青少年の非行防止および犯罪の未然防止のため、少年補導委員や関係機関との連携の下、日常的な補導活動や有害環境浄化活動を実施します。</p> <p>(2) 不登校、非行、無職少年やニート、ひきこもりの青少年およびその家族からの相談を受け、自立へ向けた支援を実施します。</p>			
事業の実績			
<p>(1) 補導活動</p> <p>①街頭補導、深夜パトロール、登下校指導、声かけ活動を定期的に行いました。</p> <p>主な街頭補導：県内一斉補導活動、挨拶運動、長浜市・彦根市との合同パトロール（延べ143回実施）</p> <p>②職員および少年補導委員による補導活動を実施しました。</p> <p>(2) 相談活動</p> <p>少年およびその家族等からの不登校、いじめ、問題行動に関わる相談を実施しました。</p> <p>※就労相談については、若者自立ルームあおぞらと連携して実施しました。</p> <p>(3) 環境浄化活動</p> <p>有害図書等立入調査、白ポスト、有害図書回収活動を実施しました。（月2回定期回収）</p> <p>(4) 啓発活動</p> <p>①少年の主張作文集を作成し、発行しました。（年1回、180部）</p> <p>②薬物乱用防止啓発活動として、薬物乱用防止セミナーおよび薬物乱用防止教室を実施しました。（年6回）</p> <p>(5) 研修および情報交換</p> <p>①無職少年対策指導員や少年補導委員の研修を実施しました。（年6回）</p> <p>②小中学校や警察、保護司会等との情報交換を実施しました。（訪問校数延べ34校）</p> <p>【主な経費】</p> <p>無職少年対策指導員報酬等(1人) 2,241,235円 少年補導委員報償費(37人) 555,000円</p> <p>少年センター事務職員報酬等(1人) 1,843,674円</p>			

事業番号		31	
款	10 教育費	項	5 社会教育費
		目	2 青少年育成費
事業名	継続	少年センター事業	
事業の成果		市教育委員会、米原警察署、少年補導委員等と連携し、パトロールや啓発活動、補導・指導活動を行うことで、青少年の非行防止等の健全育成を図ることができました。	
指標を示している 指標名	成果指標名	目標値 (3年度)	現状値(2年度)
第2期米原市教育 振興基本計画	少年補導委員街頭補導活動回数	900回	812回
評価	評価の理由		
C	コロナ禍で、補導活動や相談活動、環境浄化活動や啓発活動等は工夫しながらおおむね実施できたことから、評価を「C」としました。		
事業の課題と今後の取組			
コロナ禍における対面型の事業については、実施方法について検討が必要です。			

事業番号		32						
款	10 教育費	項	4 幼稚園費	目	1 幼稚園管理費	主管課	教育委員会	
事業名	継続	幼稚園管理運営事業					保育幼稚園課	
事業費(円)	2 年度		元年度		財源内訳(円)	2 年度	元年度	
予算額	23,749,000		26,806,000		国 費	636,400	48,450	
うち繰越	0		0		県 費	360,700	74,925	
決算額	22,476,714		24,709,048		市 債	0	0	
うち繰越	0		0		そ の 他	6,758,354	1,568,718	
執行率(%) / 増減率(%)	94.6	▲ 9.0	92.2		一般財源	14,721,260	23,016,955	
①執行率80%以下 / ②増減率±50%以上の理由(2年度)				その他の内訳(2年度)				
				共済掛金負担金 6,318 円				
				一時預かり利用料 35,250 円				
				教育施設整備基金繰入金 5,800,000 円				
				通園バス利用負担金 158,566 円				
				教育実習生受入金 119,000 円				
				特定教育・保育施設給食費負担金 64,300 円				
				広域入園負担金 574,920 円				
事業コスト			事業費		人件費(1.47 人 役)	計		
決 算 額			22,477 千円		10,366 千円	32,843 千円		
市民1人当たり(38,455 人)			585 円		270 円	855 円		
事業の目的および内容								
(1) 保護者との連携の下、幼児教育およびチーム保育の充実を図り、地域に根差した特色ある園づくりを進めます。								
(2) 幼児教育・保育の無償化で幼稚園在園児の保育料は無料となりました。園利用保護者や無償化対象事業(幼稚園型一時預かり等)についても、対象となる要件や手続等の丁寧な制度周知を行います。								
(3) 保育業務支援システムを本格稼働し、保育・教育の充実と保護者の利便性を高めていきます。								
(4) 山東幼稚園で実施している幼稚園型一時預かり事業について、令和2年7月1日から平日も利用できるよう拡充します。								
事業の実績								
(1) 市内特定教育・保育施設利用子ども数(令和3年3月31日現在)								
(単位:人)								
施設名	3歳児	4歳児	5歳児	合計	うち市外の園児	利用定員	定員充足率	子ども数前年度比
山東幼稚園	5	16	18	39	1	110	35.5 %	▲ 20
(2) 園内研究会および研修会								
保育者の資質向上を目指して、次のとおり園内研究会等を開催しました。								
施設名	研究会	研修会	令和2年度研究主題					
山東幼稚園	8回	5回	異年齢の友だちと自然にかかわれる保育をめざして 異年齢の交流を意識した教師の連携を探る					
(3) 幼稚園型一時預かり事業								
				利用者延べ人数 1,479人 (前年度実績241人)				
これまでから実施している長期休業期間中に加え、平日午後2時以降の一時預かりを始めました。								
(4) 天狗の丘公園四阿等改修工事								
				5,812,400円				
山東幼稚園とともに整備された天狗の丘公園について、四阿(あずまや)および木製柵が経年劣化により腐食が進み、危険性が高いと判断し改修を行いました。また、木製アスレチックのある築山についても、土砂の流出が著しいため、再成形と芝の種子吹き付けを併せて行いました。								

事業番号		32	
款	10 教育費	項	4 幼稚園費
目	1 幼稚園管理費		
事業名	継続	幼稚園管理運営事業	
事業の成果		教育委員会 保育幼稚園課	
(1) 計画的な園内研究会および園内研修会を開催することで保育者の資質向上に努め、幼児教育の充実を図りました。 (2) 平日の一時預かり事業を始めたことで、保護者の多様な保育ニーズに対応することができました。また、前年度に導入した保育業務支援システムを本格稼働させ、保育者の働き方の見直しと保護者の利便性向上に取り組みました。			
指標を示している資料名	成果指標名	目標値(3年度)	現状値(2年度)
第2次米原市総合計画アクションプラン	幼稚園学校評議員による園経営全体に関する評価点	3.2	3.6
第2期米原市教育振興基本計画	待機児童発生数	0人	0人
第2期米原市教育振興基本計画	園運営員・学校評議員活動平均回数	3回	3.5回
評価	評価の理由		
C	計画的な園内研究会および園内研修会を開催することで保育者の資質向上に努め、幼児教育の充実を図りました。また、一時預かり事業について、これまでから実施している長期休業期間中に加え、平日午後2時以降の預かりを始めたことで、保護者の多様な保育ニーズに対応することができたことから、評価を「C」としました。		
事業の課題と今後の取組			
近年の社会の変化に伴い、保育の利用を希望する保護者が増加していますが、山東幼稚園の就園児数は減少しており、集団の形成が難しくなっています。また、園舎は建築後18年が経過しており老朽化の進行が課題となっています。このため、令和3年度において現状と課題を踏まえた今後の山東幼稚園の在り方について検討委員会を立ち上げ、検討を行っているところです。			

(3) 学校等の評価

「令和2年度米原市学校教育の指針」および「米原市保育の指針」の取組内容に関わる評価のため、以下の項目を各保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校ともに共通項目とします。校園における自己評価の結果や校園長の説明、保育や授業、行事の参観等を基に、評価と御意見をとりまとめました。

なお、評価の方法は、それぞれの項目について評価していただきました。

認定こども園運営委員・幼稚園評議員による園評価

【公立認定こども園および幼稚園 集計結果】

「米原市学校教育の指針」および「米原市保育の指針」の取組内容に関わる評価のため、以下の項目を認定こども園・幼稚園（以下「園」という。）共通項目とした。園における自己評価の結果や園長の説明、保育や行事の参観等を基に、評価と御意見をいただいた。

評価の方法は、それぞれの項目の評価の欄に次の記号（4：よくできている、3：できている、2：あまりできていない、1：できていない）で評価を記入していただき、御意見を求めた。

4：よくできている 3：できている 2：あまりできていない 1：できていない

1 園経営全体に関わること・・・・・・・・・・評価

平均 3.7

視点① 園の目指す園経営の基本や子ども像は、地域の子どもたちの実態に合っている。

- ・こども像、園目標は今の時代にはとても大切なことだと思う。
- ・季節や自然の中で遊ぶことや体験を通して育成を考える保育目標は、米原市にふさわしいと考える。遊びこむことがよく体験できる地域であると思う。

視点② 園の教育（保育）目標、教育（保育）推進の基本、園の様子等を保護者や地域に分かりやすく説明するなど、積極的に情報発信に努め、地域に開かれた信頼される園づくりに取り組んでいる。

- ・それぞれの取組について、保護者が実感できるようもっと、アピールしても良いと思う。
- ・今後少子化がさらに進んでいく中で、5年後、10年後の園経営の計画の策定と開示をしていただければと思う。
- ・園だよりは、毎月わかりやすくまとめられており、園の様子、行事など園の取組の内容を知ることができ、良かった。

視点③ 園長のリーダーシップの下、教職員が課題を共有し、園の教育（保育）目標達成に向け、一丸となって取り組んでいる。

- ・園全体が一丸となり取り組んでいることについては、職員自身も一丸となり取り組んできた認識があるが、職員各個人の意識高揚が大切で、個人差があるように感じ取れた。

- ・園長のリーダーシップのもと、園の課題を掘り下げ園内研究の柱とし研鑽を重ねている。
- ・指導者の意気を合わせることが課題になり、一人一人がよしとした指導も全体ではどうかという視点が必要であると思われる。
- ・先生方が一貫した信念のもと、子どもたちを支え保育をされていることが伝わる。
- ・今年度は、コロナ禍で実施を見合わせた行事もあったが、行われた行事については、細心の注意を払い、実施の可否、実施方法を検討し、子どもの発達や充実した園生活が考えられたものだった。
- ・小規模園の中で園長のリーダーシップが良く、教職員が一丸となって教育・保育に取り組んでいる姿が見られ、園児たちの落ち着いた様子が印象的だ。

視点④ 特別支援保育推進に向け、障がいのある子どもの視点に立ち、子どものニーズを把握し、管理職およびコーディネーターを中心に、園ぐるみできめ細かな支援の充実を図っている。

- ・特別支援保育について、園内委員会が年2回では少ないという意見があるため、会議の持ち方等検討が必要であると思われる。

視点⑤ 園の諸活動を応援する組織づくり等、保護者や地域との連携を図り、地域の教育力を生かした取組を積極的に推進している。

- ・コロナ禍で、子どもたちや保護者全員が安全に過ごせるように、毎日の検温やマスクの着用など、徹底できていた。
- ・コロナ禍で行事等規模の縮小は仕方ない。やるべき園児教育、保護者との連携もできており、また状況に合わせた工夫もみられ良い。

視点⑥ 教育・福祉・保健等関係機関との連携を図り、子どもの育ちをつなぎ、ともに支える取組を行っている。

- ・小学校との5・5交流や小学校の半日入学などの時、小学校への期待感も十分図られており、5年生からも「今年の年長さん、元気いいよな」などの話も聞かれた。

視点⑦ 未就園児家庭を含めた全ての子育て家庭に対する支援の取組を積極的に行っている。

- ・支援センターを開所してくださっているので、家で閉じこもりがちだが、他の子どもたちとや保護者の皆さんとの情報共有、交換ができていて良い場になっていた。

2 基本的な生活習慣の形成・・・・・・・・・・評価

平均 3.7

視点① あいさつをはじめとして、基本的な生活習慣の定着を図るために、生活に必要な習慣や態度が生活体験を通して養われるよう生活指導の工夫に努めている。

- ・先生方や子どもたちが明るく元気に挨拶ができる雰囲気がある。
- ・園での生活習慣はわかりやすく工夫されていて、よく身についていると感じる。
- ・今年は感染症などで園を休む子が少ないと聞き、手洗い、うがい指導のたまものだと感じる。家でも歌を歌いながら丁寧に楽しく手洗いをしている。
- ・コロナ禍で特に生活の中の指導や環境をととても慎重に考えていくことが必要だった一年だと

思うが、看護師の先生の専門性を活かし、子どもたちに定着していけるよう、職員が連携しておられることを感じた。

- ・明るく元気のよい挨拶を子どもたちがしてくれた。家庭での教育力があまり期待できない現状で、園での教育は子どもたちの成長に大きな影響を与えると思う。

視点② 社会の決まりや集団生活のルールの習得に向け、教職員の共通理解の下に取り組めている。

- ・門での送り迎えもあり、朝、先生方が元気よく迎えてくださり、子どもたちも元気に登園できている。
- ・子どもたちから行事の時間を伝えてくれるので、毎日の集いを通して、生活する中で身についていると感じる。
- ・先生方から教わったことは、大切な絶対の社会のルールだと認識しているようだ。「先生が言っただけだから守らなアカんで」とよく聞く。それを友達同士で注意し合ったり、共有したりする様子をよく見る。

視点③ 子どもたちの望ましい食習慣の形成に園全体で取り組んでいる。

- ・給食も、地域性や季節感等、食育につながっていると思う。
- ・生活習慣の中の食習慣は、幼い時に育まれるものが多いと思う。その点、園の取組は大変素晴らしい、いつ見てもびっくりさせられる。さらに、クッキングを取り入れたことにも、意義を感じる。

3 豊かな感性や表現力の育成・・・・・・・・・・評価

平均 3.7

視点① 全身（五感）を働かせた活動を展開している。

- ・豊かな自然環境の中で、環境づくり、言葉かけ、四季折々の体験活動の工夫など、職員が一人となり、意欲的に取り組まれている。（水遊び、どろんこ遊び、泡遊び、絵の具遊びなど）
- ・豊かな自然に直接ふれあう体験活動や五感を働かせることができるような活動を大切にされている。コロナ禍での制限はあるが、様々な配慮において最大限に活動されている。子どもたちはいかに遊ぶか誰と遊ぶかを考え行動する。このような営みを大切に、感動できる活動をお願いしたい。
- ・豊かな自然、恵まれた広い園舎、園庭を活かし子どもたちがのびのびと五感を使って様々な体験ができていると感じる。ザリガニ釣り、どろんこ畑、伊吹山登山、三島池など自然と触れ合う経験を取り入れ、幼児期に大切な豊かな感性が磨かれている。
- ・園庭での遊びを見ていると、教職員・園児が一体となって楽しんでいる姿を見せていただき、まさに、豊かな感性や表現力が育てられていると思った。
- ・発達年齢に応じて、しっかり取り組まれていると思う。

視点② 子どもたちが喜んで話したり、聞いたりすることができるよう、教職員がきめ細かな対応を心掛けている。

- ・行事等の取組においても子どもたちがわくわくドキドキするような工夫がされていて子ども

たちの意欲をさらに高めていることを感じる。

- ・やりたいことを満足するまで付き合ってください先生方のおかげで、楽しい園生活を送れている。園での出来事を毎日たくさん話してくれている。
- ・一人一人の気持ちや希望に先生が耳を傾け、主体的に活動できている。

視点③ 一人一人の子どもの主体性を大切にし、満足感・充実感を味わえるような環境の構成および活動を展開している。

- ・たよりの様子から、すくすく元気に育ち、楽しく園生活を送れていると感じる。
- ・たよりから、子どもの主体性を大切にした保育がされていることが読み取れる。
- ・物的に人的に環境を構成して、子どもたちの主体的な活動を生み出すという幼稚園教育の基本を大切にしたい、教育・保育が推進されていることが良かった。

4 健やかな体と豊かな心の育成・・・・・・・・・・・・・評価

平均 3.8

視点① 心身ともに健康で安全な生活が行われるよう環境づくりを工夫している。

- ・コロナウイルス感染症拡大防止のための様々な取組を子どもたちは見ている。手洗い、うがいなど様々な場所で展開されている。このような新しい生活様式のもととなる活動は、園の生活で培ってほしい。子どもの言葉から「消毒」という言葉が聞かれるほど子どもの新しい生活様式になるだろう。常に子どもたちに寄り添ってほしい。
- ・すごく工夫をされていて感心した。
- ・この1年間、健康に過ごすことができたことが何よりありがたい。
- ・命を本当に大切だと思う1年になった。登園から降園まで力の抜けない毎日だったと思う。世界中のみんなが健康・安全を考えたが、子どもたちは園の力が大きかったと思う。
- ・全職員が子どもたちに愛情を持って関わり把握している姿が、子どもの豊かな心や体の育成につながると思う。

視点② 自然や動植物、絵本や物語等に親しむ機会を個々や集団に合わせて取り入れている。

- ・絵本に親しむ機会、ウサギとの触れ合う機会など、先生方からの声掛けのおかげで子どもたちが前向きに意欲を持って取組んでいる。
- ・畑やプランターに野菜、花が育ち子どもたちが生き物や植物に出会う環境作りがされている。

視点③ 自然環境に関わり動植物などの飼育・栽培を通して、自然の不思議さや命の大切さに気付く取組をしている。

- ・自然を取り入れた保育、自然に触れる体験など、生きた身近な素材をうまく活用されていると思う。動植物の飼育、栽培活動・クッキング・園周辺の散歩・園庭での遊び・虫や植物など自然に触れる体験・絵本や物語等に親しむ・年齢に応じた食育指導など、どの学年も発達に応じた取組がされている。
- ・育てた野菜を食べたりしたことを楽しく話してくれる。
- ・生き物に対して、すごく優しい態度やつぶやきをしてくれるようになった。
- ・動植物の飼育栽培を通じて、自然へ興味をもって観察できるようになっている。

視点④ 身近な大人や友達と一緒に、調理したり食べたりする楽しい食体験の工夫に取り組んでいる。

- ・自分たちで育てた野菜を使って食べることで、食に興味や関心が持てている。
- ・園での調理方法も簡単で、子どもが作り方を教えてくれるので、普段進んで食べないものも良く食べていたのでよかった。
- ・機会を逃さず、クッキングを実施してもらえてうれしく思う。
- ・自分で収穫した作物を食べる体験から、食べる楽しみや食べ物への関心が深まっている。

5 人と関わる力の育成・・・・・・・・・・・・・評価

平均 3.6

視点① 一人一人の子どもが安心して自己表出できるような保育者との信頼関係作りに努めている。

- ・園は、子どもたちにとって小さな社会生活の一步を踏み出す貴重な場とも言える。園には、担任の先生、その他の先生、同年齢や異年齢の子どもたちなど、人と関わるコミュニケーションの場が設定されている。そのため、園に通うことができるだけでも、人と関わる力は大なり小なり育成されてくるものでしょう。それに加えて、園の先生方の御指導が加わることでより質の高い「人と関わる力」が形成されているように感じる。

視点② 子どもが生活や遊びに主体的に取り組み、繰り返して体験できるような環境作りに取り組んでいる。

- ・あそびの中で、考えながら成長しているように思う。
- ・細心の注意を持って対応されているとうれしく感じた。

視点③ 子ども同士と一緒に活動する中で、友達の良さや自分との違いに気付いたり、互いに認め合ったりする支援を行っている。

- ・一人一人の個性を大切にその子の思いに添った保育をしていることに感謝する。そのような先生の姿を見て子どもたちは友達の良さや違いに気づき認め合える仲間作りをしていくのだと思う。
- ・特別支援の子どもに寄り添い、丁寧に関わる先生の姿を見て周りの子どもも育っているように思う。
- ・いろいろな友達がいることを子どもも自然にフラットに認識している。0～5歳児まで縦割の交流が増えるとよい刺激になるのではないかと思います。
- ・ときには失敗したり喧嘩をしたり、わがままを言ったり、この時期だからこそ許されると思うし、そういった経験ができる場を提供されていると思う。
- ・園では、子どもたちが自分の気持ちを出したり、自分の気持ちを抑えたり、ほかの子の気持ちに気づく手立てとして、多くの先生との交流・自分の思いを表現できる環境づくり・言葉かけ・共感する・励ますなどの援助に力を入れ、成果を得ている。
- ・子ども同士で話し合い、物事を決める体験の中で、自分では思い至らなかったことを友達の中から発見したり、自分の考えを伝えられた喜びを感じることができるよう、先生がサポートできている。
- ・異年齢児交流は、子どもたちにとって良い刺激になっている。

小・中学校学校運営協議会委員・学校評議員 による学校評価 【小学校・中学校集計結果】

4：よくできている 3：できている 2：あまりできていない 1：できていない

1 学校経営全体に関わること・・・・・・・・・・評価

小学校	平均 3.6
中学校	平均 3.6

視点① 学校の目指す学校像・子ども像は、地域や子どもたちの実態に合っている。

〔小学校〕

- ・学校運営協議会では、校長の積極的な学校経営へのビジョンや理念を詳しく説明していただき、よく理解することができました。それにより、小中学校相互の協力体制や教職員間の共通理解がうまく図られていたと思います。
- ・小規模校の利点を生かして、教職員が児童生徒と近い距離感で指導・支援をしていただいていると感じました。指導したり教えたりするばかりでなく、見守ることや待つことも大切にしておられる様子が伺えました。
- ・地域の自然や文化・伝統を活用した教育活動が積極的に教育課程に仕組まれており、大変嬉しく思いました。コロナ禍でありましたが、学校の教育活動を計画的に実施していただいていたと思います。

〔中学校〕

- ・目指す学校像や生徒像の実現に向け、様々な取組の成果が出てきていると感じます。地域の力を借りて、生徒がかけがえのない力を身に付けてくれるのがうれしいですね。学校と地域社会、職員と生徒、また職員同士が互いに敬意をもって接しているように感じられ、健全な経営ができているように感じます。
- ・地域の子どもの実態で、何が最も課題なのか、焦点を絞る事が必要だと感じました。あれもこれもと外部から求められることもあり、生徒も教員も課題を意識化することが困難になり、結果として何をしてきたのかが分かりにくくなっているように感じています。
- ・挨拶運動が、挨拶をさせる活動になっていないかと心配しています。挨拶をしたくなるような楽しい雰囲気や言い方を工夫してもらえたらと思います。挨拶をする表情により、その子の気持ちに配慮しながら接することができるようになればと思います。
- ・先生方の指導の下、生徒一人一人が自分の頑張りを地域に発信するエネルギーが地域住民に伝わっています。このことが、地域住民が学校に協力する姿勢につながっているのだと思います。歴史と伝統ある中学校の益々の発展に期待します。

視点② 学校の教育目標、重点目標、学校の様子等を、学校だより等により保護者や地域に分かりやすく説明するなど、積極的に情報発信に努め、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組んでいる。

〔小学校〕

- ・学校運営協議会やPTAを通じて、学校教育目標や学校経営方針、子どもたちの様子等を詳しく伝えていただいています。学校だよりやCSだよりで地域にも発信していただきました。今後、更に地域に開かれた学校になるように、きめ細かな情報発信を今後も続けていただきたいと思います。ただ、学校ホームページでの情報発信が弱いように感じます。
- ・学校運営協議会に参加させていただいていることで、学校の様子、教育目標等をよく知ることができますが、保護者や地域の方には学校の方針やどんな強み（特色）があるのか、また、先生方の頑張りがうまく伝わっていないように思います。先生方の、学校を良くしたいという熱意を感じるだけに、もっとたくさんの方に学校に関心を持ち、関わっていただけるよう、情報発信していけるとよいと思います。

〔中学校〕

- ・コロナ禍で、学校生活にも制約が多い中、ホームページを開設したり、学校だよりで学校の様子を発信したりすることは、地域の人々との相互信頼関係を築いていく大切な方法の一つになっています。
- ・学校だよりが地域の回覧板を通じて発信され、地域の住民が学校の様子や情報を把握しやすくしていただいています。学校教育目標の認知度も高く、目標を合言葉にして常に意識することが、次への行動に繋がるのではないかと思います。
- ・学校目標や目指す学校像など、保護者にはあまり周知できていないようです。このことが、教職員の自己評価にも現れており、一層の努力が必要だと考えます。

視点③ 校長のリーダーシップの下、教職員が課題を共有し、学校の教育目標達成に向け、一丸となって取り組んでいる。

〔小学校〕

- ・感染症対策等で本当に大変な一年でした。先生方の御苦労は計り知れないものだったと思います。このような中で、最大限の努力をしてくださり感謝申し上げます。いつも子どもたちに笑顔で接しておられる様子を嬉しく拝見しました。
- ・特別支援教育に関して、教職員全体で共通理解を図り、様々な先生方が関わっておられることは良いことだと思いました。今後も、支援学級の子どもの相互理解を深める取組が、より一層進んでいくことを期待します。
- ・山東小学校統合10年を迎え、これまでの両校の伝統を脈々と受け継ぎ、学校経営が展開されてきた。山室湿原をテーマにした学習や保全活動、ホタル学習、ホタルパレード、学校林の活用、緑の少年団等、魅力ある教育活動が展開されていることに感謝したい。
- ・学習参観で授業を見学させていただき、「考えさせる」、「伸ばす」といった指導には、まだまだ課題がある先生も多いと感じました。教職員の間で、課題を十分に共有するための意思疎通があるか少し疑問が残ります。

〔中学校〕

- ・コロナ禍の中で学校運営が大変困難を極めていたのに、安全に健康な学校生活が送れたことは素晴らしいと思います。そのような中で、先生方が一丸となって「生徒たちに今、何ができるのか、どこまでできるのか。」を考え、実践してくださったことに感謝しています。
- ・校長先生のリーダーシップの下で、具体的な方策を立て、計画的に、生徒一人一人の力を伸ばす取組を実践していただいていると思います。今後も、生徒の聞く力、書く力、理解する力を伸ばし、目標の達成に向けて取り組んでいただきたいと思います。
- ・タブレットを活用した授業のメリット・デメリットを考えて欲しい。字を書くことや辞書を引いて調べるなど、手間を掛けて指導しなければならないことがあるのではないかと思います。同時に、タブレットをうまく使えない子どもの補助もお願いしたい。

2 自立した人間として生きていくための総合的な力「人間力」を育む教育の充実

・・・・・・・・ 評 価

小学校	平均 3.4
中学校	平均 3.4

視点① 学校は、挨拶運動の推進や道德教育の推進、命・人権を大切にする心の教育の推進および「いじめのない学校づくり」に向けていじめの未然防止・早期発見・早期解決に積極的に取り組んでいる。

〔小学校〕

- ・校内の掲示物を見て、人権やいじめ問題に対する意識の高さが良く分かりました。
- ・恵まれた教育環境の拡充はもっともなことです、そのことが子どもの甘えにつながっては意味がありません。どんなに苦しくても困難に立ち向かい、弱音を吐かない強い心と体をつくる総合教育であって欲しいと願っています。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行により、今後も、制限の多い学校生活になると思いますが、挨拶をする、ルールを守るなどの基本的な生活習慣に加えて、いじめをしない等、思いやりのある心を育て欲しいと願います。
- ・感染した人に対する差別や偏見につながらないように、子どもの頃から感染症に対する正しい知識を身に付け、理解しておくことが大切です。学校での指導と、また家庭に向けた発信をしていただけたらと願います。

〔中学校〕

- ・コロナ禍で登校日数も減少する状況でも、学校関係者の皆さんの知恵と努力で子どもたちの教育について工夫され、尽力されたと思います。生徒の皆さんの朝の挨拶や礼儀正しさを垣間見る機会がたくさんありました。
- ・コロナ禍の中、様々な制約がある中でも、「学校で、毎日楽しく過ごすことができる。」「友だちと助け合い、協力して学校生活ができています。」のポイントが高いことは大変素晴らしいと思います。みんなで励まし助け合いながら、前向きに頑張って欲しいと思います。
- ・学校運営協議会で、校長先生からいじめがあったとの報告をいただきました。見過ごさず、早期解決されたということで感心しました。生徒および教職員のアンケートでも、いじめ等の対応について良い評価となっています。しかし、保護者のアンケートでは不満を示す数値が出て

いるのが気になります。

視点② 学校は、児童生徒が社会性や規範意識を身に付け、望ましい勤労観や職業観を育てる系統的なキャリア教育に努めるなど、自己指導力を培う教育に積極的に取り組んでいる。

〔小学校〕

- ・子どもたちの規範意識が低いと感じています。小学校段階から、ルールを守れる子どもに育てたいと願います。その中には、それぞれの子どもに応じたきめ細かな支援が必要です。子どもの将来にも関わる大切なことですので、粘り強い指導と支援をお願いします。
- ・集団登校での子どもたちの課題に気付いた校長先生が学校だよりで取り上げたところ、保護者の意識が向上した。その結果、登校班の課題が改善し、集団登校がスムーズになった。やはり、校長先生の迅速な対応・地域への発信が大切だと感じた。

〔中学校〕

- ・夏休みに生徒会本部の生徒たちと連合自治会とで行った交流会では、地域社会や目指す人間像などいろいろな思いを皆さんと共有できたと実感できました。今の生徒たちを見ていると、基本的なルールを守ることにはできていると思います。しかし、そこから一步踏み出すことは難しくなっているのではないかと危惧します。
- ・SNSに関わる問題では、保護者が子どもと約束やルールについて話し合っていくことが必要だと思います。子どもの行動には見えるところと見えないところがあるので難しいですが、嫌な思いをしている子どもがいなくなればよいと思います。
- ・登下校中の子どもたちは気持ちの良い挨拶をしてくれ、こちらの背筋もシャキッとします。しかし、職員室の先生の挨拶はありません。残念です。

視点③ 学校は、児童生徒が運動やスポーツに親しみ、体力の向上を目指す教育の推進に取り組んでいる。

〔小学校〕

- ・系統的なキャリア教育の推進は、毎年大きな成果が得られていると感じています。小学校で行う伝統的な取組により、中学校でのキャリア教育の素地が培われていると思います。
- ・教科の学習に外部講師を招聘するなどの工夫した取組がなされています。地域の人材を活用することで、地域の方々と触れ合う機会が得られ、社会性や地域愛が育まれるため、今後も継続した取組にしていきたいと思います。
- ・マラソン大会や休み時間に縄跳びを使って体を動かす取組は、体力や精神力、体幹が鍛えられて集中力を高めたり学習姿勢のバランス保持にもつながったりします。先生方も、「子どもの人間関係づくりにつながる。」と話しておられたので、続けていきたいと思います。
- ・運動会では、「少人数でもこれだけのことができるんだ。」という子どもの意欲を感じた。やはり先生方の指導力の成果だと思います。
- ・子どもの自立心を育むためには、子どもたちを信頼し、子どもが困難に直面する場面を設定し、自分で判断させる指導を繰り返していくことが必要ではないか。

〔中学校〕

- ・中体連の大会が中止になり、体力向上を目指す取組もできない中、部活動ごとに市内で交流会を考え、実施されたことは生徒にとってよかったと思います。次年度も予断を許さない状況が続きます。心配ですが、生徒が活動できる場をつくっていただきますようお願いします。
- ・臨時休業や7時間授業と業務厳しい中で、地域でのボランティア活動、一部の課外活動を中止されましたが、命の授業、豊かな心、健やかな体の育成のためにできることを工夫し、各学年の特性や課題を踏まえた活動に絞って実施されたことは、生徒全員の心に残る活動であったと思います。先生方の思いに感謝します。
- ・生徒数の減少により、子どもが入部したい部活動がない状態があります。部活動で、他校へ入学する子どもが今後も増えるのではないのでしょうか。授業後に、他校の部活動に参加できる仕組み作りが必要だと思います。また、一部のスポーツに限定しない総合型地域スポーツクラブの拡充を望みます。

3 個性を生かしつつ一人一人に確かな学力を育む教育の充実 ・・・・・・・・ 評 価

小学校	平均 3.3
中学校	平均 3.3

視点① 学校は、市や全国の学力学習状況調査の結果を分析し、児童生徒の実態に応じた学力向上策を立て、新学習指導要領の実施に向けて、児童生徒の思考力・判断力・表現力を育むため、「話す」「聞く」「読む」「書く」活動を大切にしたい取組を行うなど授業改善に学校全体で取り組んでいる。

〔小学校〕

- ・子どもたちが将来何をを目指すにしても、基礎学力の獲得は必須です。そのためには、様々な経験から得られる感受性が重要になります。その上で、子どもに生きる喜びとやり抜くことの大切さを伝えることが大切になると思います。
- ・自分で考え、相手に自分の思いが正しく伝わるような取組は今後も大切にしていきたいと考えます。中学年からのスピーチの取組等も必要だと考えます。今後は、電子黒板を活用していくことで、個々の児童の表現力を高める指導が実現できるのではないかと期待します。
- ・授業を参観し、大変落ち着いた雰囲気の中で授業が進められていて感心しました。若い先生が多いようですが、どの先生も自信を持って指導に当たっている様子が伺えます。学校内に「教職員が互いに学び、高め合う」雰囲気があるのだと思います。
- ・今後、高学年については教科の専門性を生かした専科指導が導入されていくようです。子どもの個性を伸張させていくことはもちろん重要ですが、教職員の専門性や個性、持ち味を生かした学校経営を模索していくことが大切になってくるものと考えます。

〔中学校〕

- ・小規模校の利点を生かして、先生方が子どもとの距離が近いところで指導・支援をしてくださっていると感じました。教えるばかりでなく、見守ることや待つことも大切にしておられる様子も伺えました。
- ・校長先生の作文指導は大変だと思いますが、生徒の作文能力やプレゼン能力の育成につながる取組です。

- ・コロナ禍の中で、計画通り授業ができないことによる影響を懸念しましたが、遅れを取り戻すための7時間授業の実施など工夫され、遅れが解消されているとの報告を受け安心しました。家庭教育の格差が心配されます。

視点② 学校は、英語教育に力を入れ、児童・生徒のコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に積極的に取り組んでいる。

〔小学校〕

- ・なぜ、子どもたちは英語の授業が楽しいのか、そこに、子どもが嫌いな勉強が嫌いでなくなるヒントがあるのではないかと思います。多種多様な人々とコミュニケーションをうまくとれる人となるような学習の仕組みを工夫されたい。
- ・英語教育は、特例校としての工夫が見られ、先生方も力を入れておられると感じます。語学は子どもの頃からの継続した学習が必要です。継続できる環境づくりをお願いします。

〔中学校〕

- ・英語の授業だけでなく、生活の中で英語で話す・英語を聞く場面があればいいと思います。状況が許せば、海外の学校との交流、ホームステイの受入れ、地域の外国人との交流等の機会をつくってみてはどうでしょうか。
- ・小中連携の取組に英語教育を取り入れられており、中学校入学時の英語の授業に対する不安も減少するのではないかと期待しています。

視点③ 学校は、特別支援教育推進のため、管理職およびコーディネーターを中心に、組織的に取り組み、生活や学習上の困難を克服するための適切な個別の教育的支援を行い、個々の能力を最大限に伸ばす指導を行っている。

〔小学校〕

- ・特別支援教育を推進していく中で、全体で共通理解を図り、先生方が工夫され、いい関わりをされておられると思います。担任に限らず、スクールサポートスタッフや学習アシスタント等、いろいろな先生方が関わっておられるのはよいことだと思います。
- ・特別支援学級のお子さんについて、通常学級の子どものように捉えているのか気になっています。支援学級のお子さんや保護者の希望を踏まえて、相互理解を深める取組が一層必要なのではないかと感じています。

〔中学校〕

- ・地域住民が、不登校生徒への関わりや働き掛けに協力できる仕組みづくりができれば良いと思います。
- ・一人一人の個性や特性を理解し、地域や関係機関などと連携して個性や力を伸ばす取組等、柔軟に対応されていることはとても大切なことだと思います。

4 地域に根ざし地域に開かれた信頼される学校の創造・・・評価

小学校	平均 3.5
中学校	平均 3.4

視点① 学校は、地域の人材を生かした学校運営と学習活動の工夫に積極的に取り組み、郷土の自然や文化・伝統を生かした教育活動の推進など特色ある学校づくりを推進している。

〔小学校〕

- ・学校を支援する体制づくりが進んでおり、地域の人材を生かした教育など特色ある学校づくりが進んでいます。地域の人材活用は、コミュニティ・スクール推進事業との連携もあり充実しています。
- ・地域の歴史探訪、遺跡の発掘等を積極的に行っていただき、子どもたちも地域の歴史・文化を実感できる機会になったと思います。
- ・学校と地域の連携を目指す方法として、学校支援ボランティアの活用・充実は効果的だと思います。子どもたちにとっても、地域の人たちにとっても手応えが感じられ、価値ある活動となっています。ただ、マネジメント力の向上が是非とも必要です。

〔中学校〕

- ・小規模校の利点を生かして、少人数でのきめ細かな指導・支援が行われています。しかし、数年後の生徒数を考えると、小規模校としてのメリットよりも、勉学や課外活動での切磋琢磨する機会や多様性のある人間関係を結ぶ機会が減少するなどの懸念があります。今後は、特色ある部活動（例えば、地域特性を生かし、地域が担い手となれる福祉・伝統文化・伝統工芸等をテーマに活動できる活動）を新設するなどして、他学区から入学し、小規模校ならではの教育が受けられる生徒が増えることを期待しています。
- ・コミュニティ・スクールの活動をまとめたチラシを学校運営協議会委員の尽力で作成し、全戸配布しました。消毒ボランティアへの申込みもあったようです。少しずつではありますが、プランター交流会への参加、ふれあい広場、図書ボランティア、除草剤作業等への協力が得られるよう期待します。
- ・学校と地域が双方向で参画できる仕組みが考えていければ良いと考えています。地域が学校の経営方針を理解し、学校も地域との関わりを積極的に行い、子どもたちに郷土愛を深められるように関係者が連携できたらと思います。

視点② 学校は、安全・安心な学校づくりに向け、職員研修の実施や家庭・地域・PTAとの連携による取組により、児童生徒の安全を確保している。

〔小学校〕

- ・感染症対策として、早々に「教育活動ガイドライン」を明示し、保護者の信頼と高い評価（親善・安心）を得ている。

〔中学校〕

- ・消毒ボランティアの活動は、学校の安全・安心につながっています。
- ・校長のリーダーシップの下、教職員が一体となって子どもたちの安全・安心を確保していただき感謝申し上げます。いつ収束するか分かりませんが、気を緩めることなく、充実した教育を

推進していただきますようお願いいたします。

- ・今年度は活動に制限がある中で、公民館や市施設での生徒作品の展示等、地域への発信に努力しておられたと思います。

視点③ 学校は、学校支援地域本部事業、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用し、地域コーディネーターを中心に学校を支援する体制づくりに努め、積極的に地域に働き掛け、創意工夫があり実りのある教育フォーラムを開催するなどしている。

〔小学校〕

- ・コミュニティ・スクールだよりで実施した活動を紹介し、更なる協力や今後の在り方をともに考えようと様々な情報を発信されている。
- ・学校支援ボランティアを受入れることが学校の負担になってはいけなないので、地域にボランティアグループができ、一定のメンバーが計画的に、継続して学校支援に関わっていただけるとよいと思います。
- ・学校運営協議会に対する保護者や地域の認識は薄いと思います。保護者や地域の代表の方々との意見交換の場も必要と考えます。
- ・学校運営協議会の活動が自主的なものになっていないことは反省すべきところである。今後は、研修等自己研鑽に努めたいと思います。

〔中学校〕

- ・学校が地域に求めること、地域が学校に求めていることをまとめ、助け合っていけるよう具体的に検討していけたらと思います。
- ・生徒の皆さんが、思いのほか地元の行事に関心を持ってくれていたことを学校での生徒さんとの話し合いで知りました。地元の住民として、このような思いを生かす活動を工夫したいと思います。

【図書館内部評価】

この内部評価は、米原市図書館サービス基本計画に基づき図書館運営を行った実績について、その成果と課題を見出し、サービスの向上に努めるため、図書館協議会で評価をしていただいたものです。

※目標値の赤字は新型コロナウイルス感染症を考慮して変更した数値

1 市民の多様な資料要求に応える図書館

指標	現状 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	実績 (R2)	目標 (R3)
(1) 市民一人当たり図書館貸出冊数 (当該年度の年間個人貸出冊数÷米原市の人口)	11.5冊/年	10.9冊/年	10.5冊/年	10.1冊/年	9.7冊/年	6.7冊/年	8冊/年
(2) 蔵書更新率 (更新(受入+除籍)された冊数÷蔵書冊数×100)	3.9%	3.4%	4.6%	8.3%	3.2%	4.6%	4.7%
(3) レファレンス満足度 (レファレンスサービスについてどう思いますか 「満足している」÷(「合計」－「尋ねたことがない」)×100)	40.5%	37.0%	42.5%	39.1%	35.0%	43.1%	50.0%
(4) 市民の実利用率率 (自治体内の有効登録者数÷米原市の人口×100)	16.1%	15.4%	15.2%	15.2%	14.7%	11.1%	11.4%
(5) 受入雑誌タイトル	216誌	225誌	232誌	200誌	204誌	209誌	220誌
(6) 県内外図書館との相互貸借件数(借受数)	1,547冊	1,687冊	1,531冊	1,363冊	1,254冊	1,177冊	1,200冊

内部評価	(A～E 5段階評価)	C	(参考 前年度)	D
------	-------------	---	----------	---

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・選書会議を年間51回開催し、両図書館で魅力ある蔵書の構築に努めました。 ・計画的な資料の購入と除籍を行い、利用者にとって魅力のある蔵書を構築することができました。 ・内部研修等の実施により職員のレファレンススキルの向上に努めたことや、気軽にレファレンスサービスを利用してもらえるように館内ポスターやウェブサイトでのPRや調べ方ガイドの作成等を行い、誠実なカウンター対応・レファレンス対応に力を入れたことで、レファレンス満足度を向上させることができました。 ・雑誌スポンサー制度により55者・80誌の雑誌を支援していただいたことや、寄贈していただいた雑誌が増えたことで、受入雑誌タイトル数が増加しました。 ・週3回程度の図書館間物流を維持し、伊吹薬草の里文化センター、米原公民館とも連携し、市内全域サービスに努めました。 ・新型コロナウイルス感染症に対しては、図書消毒機とサーモグラフィー発熱測定器の設置や、返却本の消毒、定期的な館内の消毒など、より安全に利用していただけるよう対策を講じました。
----	---

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館や利用の制限を行ったことで、貸出冊数や利用人数が減少しました。一度に多くの人が集まらないように、おはなし会等の1日限りのイベントだけでなく、福本袋や福本くじ、ハロウィンやクリスマスの時期に10冊以上借りたらプレゼントがもらえる企画など、長期間にわたるイベントを行う等工夫して取り組みましたが、今後も状況に応じた取組を工夫し、市民に図書館を利用してもらえるよう努める必要があります。
----	--

2 市民の生活に密着し、地域の課題解決に役立つ図書館

指標	現状 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	実績 (R2)	目標 (R3)
(7) 郷土資料・行政資料の受入れ件数	206冊	413冊	386冊	343冊	285冊	315冊	250冊
(8) まちづくりに関する資料の貸出冊数	— 冊	530冊	423冊	230冊	169冊	181冊	200冊

内部評価	(A～E 5段階評価)	B	(参考 前年度)	C
------	-------------	---	----------	---

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化財保護課等と連携して積極的に郷土資料・行政資料を収集・登録し、市民に提供することができました。 ・郷土資料や行政資料の受入れ件数は昨年度より増加し、目標値を上回ることができました。 ・両図書館において、地域に関する新聞記事を収集・保存しました。 ・利用者が調べやすいように『近江町史』・『坂田郡史』の語句索引・時代別索引・字名(地名)別索引を作成しました。 ・はにわ館の企画と連携し、滋賀の伝統工芸に関するブックガイドと特集を作成しました。 ・まちづくりに関する資料について、新しく購入した資料や市民が関心を持ちそうな資料を表紙見せするなど、展示を工夫したことで昨年度より貸出冊数が増加しました。
----	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料・行政資料を受入れて保存することは公共図書館の大切な役割のため、引き続き多くの資料を受入れられるよう積極的な収集が必要です。
----	---

3 だれもが進んで利用できる安心・安全・便利な図書館

指標	現状 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	実績 (R2)	目標 (R3)
(9) インターネットからの予約件数	12,207件	13,679件	12,864件	13,207件	13,072件	13,866冊	13,000件
(10) 大活字本の貸出冊数	1,356冊	1,227冊	1,282冊	1,243冊	1,611冊	1,156冊	1,300冊
(11) 高齢者福祉施設への貸出冊数	1,624冊	1,780冊	1,074冊	868冊	654冊	443冊	850冊

内部評価	(A～E 5段階評価)	C	(参考 前年度)	C
------	-------------	---	----------	---

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館システムの更新により、より安全に蔵書や利用者情報等を管理することができるようになりました。また、ウェブサイトの機能を更新し、インターネットサービスについて周知したことでインターネットからの予約件数や本の延長件数が増加しました。 ・週3回程度の図書館間物流を維持し、伊吹薬草の里文化センター、米原公民館とも連携し、市内全域サービスに努めました。(再掲) ・新型コロナウイルス感染症に対しては、図書消毒機とサーモグラフィ発熱測定器の設置や、返却本の消毒、定期的な館内の消毒など、より安全に利用していただけるよう対策を講じました。(再掲) ・また、臨時休館中のインターネット予約資料の貸出や、返却ポストの24時間利用可、電話での延長可など、感染症の状況に応じ、少しでも安心して利用してもらえるよう取り組みました。
----	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き市内全域サービスについてPRが必要です。 ・図書館利用にハンディキャップを持つ人や高齢者、日本語を母語としない人へのサービスについて、関係機関と連携を密にして計画的に取り組むとともに、継続的に資料収集していく必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症の状況に応じて図書館サービスを工夫し、安心して利用できる環境を保つ必要があります。
----	--

4 子どもたちの読書活動を見守り、支援する図書館

指標	現状 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	実績 (R2)	目標 (R3)
(12) 出前講座実施回数	18回	18回	18回	19回	13回	7回	20回
(13) 児童書個人貸出冊数	170,031冊	166,459冊	163,707冊	164,108冊	158,913冊	99,975冊	105,000冊
(14) 児童書団体貸出冊数	14,382冊	12,206冊	17,172冊	14,928冊	13,100冊	12,445冊	13,500冊

内部評価	(A～E 5段階評価)	C	(参考 前年度)	C
------	-------------	---	----------	---

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度も新小学1年生へ図書館利用カードを配布することができました。希望する児童に利用カードを発行することで、利用カード所持率が上がり、夏休み以降の図書館利用促進につなげることができました。 ・出前講座として施設見学を7校、職場体験を1校受け入れることができました。 ・コロナ禍のため中止や縮小したイベントもありますが、おはなし会や親子絵本づくり教室、年齢別おすすめ本冊子の作成・配布など、子どもたちの読書意欲を高める取組を行い、短時間の滞在でも本を選んでいただけるよう特集展示を工夫し、おうちでの読書の推進に努めました。 ・新型コロナウイルスへの対策を講じながら、学校図書館研修を行いました。 ・学校図書館を整備するため、中学校1校の学校図書館リニューアルを支援しました。 ・学校・園への団体貸出について、これまで図書館に来てもらい団体カードの年度ごとの更新を行っていたものを、カードを年度末に回収し年度初めに更新して学校・園に送付する等、全ての学校・園が利用しやすいように運用方法を見直しました。
----	---

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「まいばら読書の日」について周知するとともに、家族みんなで本に親しめるような取組を行い、児童サービスを更に充実させる必要があります。 ・学校教育課と連携して研修や情報交流の場を持つなど、図書主任・学校司書との連携を密にし、子どもの読書活動を推進していく必要があります。また、地域や他自治体との連携も課題です。
----	--

5 地域の人たちとの協力・協働でめざす、交流の場となる図書館

指標	現状 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	実績 (R2)	目標 (R3)
(15) ボランティアと活動した回数	79回	78回	84回	80回	66回	12回	90回
(16) 図書館を活用した講座等の開催回数	5回	6回	5回	6回	1回	3回	6回

内部評価	(A～E 5段階評価)	C	(参考 前年度)	C
------	-------------	---	----------	---

成果	<ul style="list-style-type: none"> 雑誌スポンサー制度について継続して実施し、市民に多種多様な雑誌を提供することができました。 図書館の環境整備やイベント準備などをボランティアの皆様にご協力いただき実施することができました。 地域の方々に御協力いただき、図書館を活用した講座などを3回実施することができました。
----	---

課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人たちの交流の場となれるよう、利用者の声を大切にし、工夫を重ね、市民との連携・協力により今後も継続して市民力のある図書館運営に努めていく必要があります。 新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、対策を講じながらおはなし会や図書の修理等の事業をボランティアと連携して行っていくことが課題です。
----	--

6 専門性を持った職員によるサービスが保障される図書館

指標	現状 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	実績 (R2)	目標 (R3)
(17) 職員の研修等参加回数	20回	9回	18回	26回	34回	22回	20回
(18) 職員対応満足度	82.5%	78.7%	77.5%	79.9%	77.8%	67.1%	90%

内部評価	(A～E 5段階評価)	C	(参考 前年度)	C
------	-------------	---	----------	---

成果	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県立図書館で開催された、「専門分野実務研修」「専門講座」などの司書専門講座に参加し、復命研修を行うことでその内容を全職員で共有することができました。また、中止になった外部研修についても、同様の内容の内部研修を実施し、スキルアップを図りました。 おはなしグループとPRグループに分かれて実践的な研修を年間を通じて実施し、ナツヨミ冊子などの成果物を作成することができました。
----	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> 個人のスキルアップと組織としてのスキルアップの両方をバランスよく進め、職員対応満足度を向上させていくことが課題です。 職員が変わっても毎年同じレベルのサービスを維持できるように研修を行っていく必要があります。
----	---

7 山東・近江2館の個性を生かす図書館

指標	現状 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	実績 (R2)	目標 (R3)
(19) 市民が1年間に読んだ本の冊数	20.4冊	—	—	15.6冊	—	14.4冊	24.0冊
(20) テーマ特集展示回数	330テーマ	357テーマ	346テーマ	396テーマ	401テーマ	285テーマ	330テーマ
(21) 若年層の貸出冊数	109,899冊	100,060冊	87,732冊	85,219冊	80,073冊	57,887冊	62,000冊

内部評価	(A～E 5段階評価)	C	(参考 前年度)	C
------	-------------	---	----------	---

成果	<ul style="list-style-type: none"> 短時間の滞在でも本を選べるように工夫し、おうち時間を楽しむための本や季節感や話題性のある本など、山東・近江2館で読書提案をするテーマ特集に取り組むことができました。 一杯のコーヒーに似合う本を紹介した「珈琲と本」の冊子を発行し、配布することができました。 ルッチプラザでの落語会や、はにわ館での教育講演会、エントランス展示と連動した特集を組み、本やCDの紹介を行いました。 若年層への取組として、新成人におすすめの本や図書館の利用案内を掲載したリーフレット『お祝い』を発行し、配布することができました。
----	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> 図書館について知ってもらうため、ホームページなどSNSをはじめ、図書館だよりなど様々な情報ツールを用いた情報発信を続けていく必要があります。 若年層の利用を促進するため情報収集するとともに、施設内のスペースを有効活用して利用者の利便性を向上させる必要があります。
----	--

米原市教育振興基本計画（目標指標）

基本目標１ 心豊かでたくましく生きる力を育む教育を実現します

施 策	指 標 名	計画策定時現状値 (平成 27 年度)	現状値 (令和元年度)	現状値 (令和 2 年度)	目標値 (令和 3 年度)
1 就学前の教育・保育の充実	待機児童発生数	0 人	0 人	0 人	0 人
2 確かな学力の向上	総合学力調査「読む能力」の正答率	小学校：68.7% 中学校：63.8%	小学校：78.9% 中学校：70.9%	小学校： 無 中学校： 無	小学校：70% 中学校：65%
	図書館の児童書貸出冊数	170,031 冊	158,913 冊	99,975 冊	171,000 冊
3 豊かな心の育成	長期（年間 30 日以上）欠席率 （小学校・中学校）	小学校：0.58% 中学校：2.57%	小学校：0.87% 中学校：2.77%	小学校：0.77% 中学校：3.33%	小学校：0.5% 中学校：2.4%
	学力・学習状況調査「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」児童生徒の割合	小学校：96.7% 中学校：93.2%	小学校：98.1% 中学校：96.4%	小学校：96.9% 中学校：97.0%	小学校：100% 中学校：100%
4 健やかな体の育成	子ども（小学 5 年生）の体力・運動能力テストの体力合計点	男子：51.56 女子：53.82	男子：52.84 女子：54.07	男子： 無 女子： 無	全国平均を上回る
	体力・運動能力調査「持久走」の県平均を上回った学年数（中学校）	全学年	男子 4 学年 女子 6 学年 (18 学年の内)	男子： 無 女子： 無	全学年
	体力・運動能力調査「50m走」の県平均を上回った学年数（小学校）	男子：2 学年 女子：4 学年 (6 学年の内)	男子：1 学年 女子：4 学年 (6 学年の内)	男子： 無 女子： 無	男子：4 学年 女子：4 学年
5 地域の良さを生かした特色ある教育の推進	「ふるさと 3 事業」実施校園率	76%	76.3%	63.0%	100%
	学校給食に地場産物を使用する割合（食材数ベース）	34.4%	39.0 %	39.0%	35%
	総合学力調査「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」児童生徒の割合	小学校：42.5% 中学校：34.8%	小学校：55.4% 中学校：43.8%	小学校：49.4% 中学校：35.7%	小学校：45% 中学校：35%

※令和 2 年度に新型コロナウイルスの影響により実施していない項目については、「無」と記載しています。

基本目標２ 学校・家庭・地域がつながり、協働して地域全体の教育力を高めます

施 策	指 標 名	計画策定時現状値 (平成 27 年度)	現状値 (令和元年度)	現状値 (令和 2 年度)	目標値 (令和 3 年度)
1 子育て支援と家庭の教育力の向上	家庭児童相談対応ケース数	356 件	262 件 (100%)	250 件 (100%)	対応率 100%
	子育てをテーマにした講演会の参加者数	265 人	205 人	無 人	300 人
2 子どもの育ちを支えるコミュニティづくり	学力・学習状況調査「地域の行事に参加している」児童生徒の割合	小学校：85.3% 中学校：60.4%	小学校：86.5% 中学校：65.5%	小学校：78.6% 中学校：56.8%	小学校：88% 中学校：65%
	冒険遊び場の設置数	2 か所	2 か所	3 か所	5 か所

施 策	指 標 名	計画策定時現状値 (平成 27 年度)	現状値 (令和元年度)	現状値 (令和 2 年度)	目標値 (令和 3 年度)
3 青少年の健全育成	子ども会事業への参加数	493 人	371 人	33 人	500 人
	放課後児童クラブの設置数	9 か所	9 か所	9 か所	10 か所
	あいさつ運動実施率	100%	100%	88.9%	100%
	少年補導委員街頭補導活動回数	861 回	1,108 回	812 回	900 回
4 学校支援活動や地域活動の担い手の確保	学校地域支援本部事業設置率	33%	100%	100%	100%
	学校地域支援本部登録ボランティア数	330 人	338 人	794 人	500 人
	まなびサポーター登録者数	135 人	164 人	164 人	145 人
5 地域に開かれた学校園づくり	園運営委員・学校評議員活動平均回数	2 回	2 回(園)	3.5 回	3 回

基本目標 3 一人一人が大切にされ、安全・安心で質の高い教育が受けられる環境をつくります

施 策	指 標 名	計画策定時現状値 (平成 27 年度)	現状値 (令和元年度)	現状値 (令和 2 年度)	目標値 (令和 3 年度)
1 多様なニーズに対応した教育の推進	児童発達支援事業 親子通園開設回数	355 回	486 回	476 回	370 回
	子どもケアサポーター派遣人数	42 人	20 人	26 人	50 人
2 教育相談・教育支援の充実と学校支援体制の構築	不登校児童生徒数	小学校：10 人 中学校：27 人	小学校：18 人 中学校：28 人	小学校：16 人 中学校：33 人	2 割以上削減 (小学校 8 人) (中学校 21 人)
	スクールソーシャルワーカー活用実績	8 校 (拠点校を除く)	13 校	13 校	14 校
	学力・学習状況調査「学校に行くのは楽しいと思う」児童生徒の割合	小学校：77.0% 中学校：82.1%	小学校：91.2% 中学校：85.0%	小学校： 無 中学校： 無	小学校：88% 中学校：93%
3 安全・安心な教育環境の整備	スクールガード登録者数	870 人	851 人	842 人	1,000 人
	「子ども 110 番のおうち」、「子ども 110 番のくるま」設置数	おうち：326 か所 くるま：103 台	おうち：329 か所 くるま：89 台	おうち：328 か所 くるま：85 台	おうち：350 か所 くるま：110 台
4 適切な教育環境の整備	米原市市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度	75.6%	84.4%	無 %	78%
5 教職員の資質や指導力の向上	教育センター開講講座・研修会延べ受講人数	979 人	1,003 人	426 人	1,000 人

※総合学力調査および学力・学習状況調査の現状値については、総合学力調査が縮小傾向にあることから、全国調査である学力・学習状況調査に統一しています。

・基本目標4 生涯にわたって豊かに学び合い、いきいきと活動できる環境をつくります

施 策	指 標 名	計画策定時現状値 (平成 27 年度)	現状値 (令和元年度)	現状値 (令和 2 年度)	目標値 (令和 3 年度)
1 生涯学習機会の 充実	米原市市民意識調査「生涯学習の 推進」の満足度	82.5%	85.0%	無 %	85%
	公民館・生涯学習センター利用者 数	166,075 人	146,225 人	83,302 人	166,500 人
2 人権文化の確立	地域人権リーダー研修会の参加 者数	241 人	263 人	174 人	250 人
	ハートフル・フォーラムの実施 率	80.4%	76.6%	48.6%	85%以上
3 地域で活躍する 人材の育成	まなびサポーター登録者数(再 掲)	135 人	164 人	164 人	145 人
	生涯学習まちづくり出前講座年 間実施回数	269 回	236 回	110 回	300 回
4 図書館を活用し た読書活動の推 進	市民一人当たり図書館貸出冊数	11.5 冊	9.7 冊	6.7 冊	12 冊
5 生涯スポーツの 振興	地域スポーツクラブ会員数(延べ 人数)	1,085 人	1,207 人	1,056 人	1,500 人
	体育協会加盟人数	3,000 人	2,052 人	1,959 人	3,100 人
6 生涯学習環境や スポーツ環境の 整備	米原市市民意識調査「スポーツの 推進」の満足度	83% (H25)	85.9%	無 %	85%

基本目標5 米原の自然・歴史・文化の保存・活用を進め、地域文化を育みます

施 策	指 標 名	計画策定時現状値 (平成 27 年度)	現状値 (令和元年度)	現状値 (令和 2 年度)	目標値 (令和 3 年度)
1 自然環境保全の 意識向上	給食センターにおける収穫体験 実施校数	0 校	3 校	3 校	3 校
	いきいき健康ウォークの参加者 数	153 人	128 人	無 人	300 人
2 市民の文化・芸 術活動の促進	米原市芸術展覧会への市民作品 数	195 点	83 点	52 点	220 点
	米原市文化協会事業への参加団 体数(累計)	159 団体	123 団体	58 団体	165 団体
	文化協会員数	1,219 人	896 人	896 人	1,500 人
3 歴史・文化財の 保存と活用	文化財補助事業申請件数	25 件	28 件	28 件	25 件
	米原市市民意識調査「歴史・文化 の継承と活用」の満足度	86.3%	86.9%	無 %	88%
4 歴史・文化に親 しむ機会の充実	歴史講座受講者数	51 人	72 人	48 人	70 人
	歴史イベント開催回数	11 回	15 回	9 回	15 回